

326
31



始



326-31

326
31

漁港及魚市場調查

農商務省水產局

漁港及魚市場調査

目次

一 和蘭アモイデン漁港	遠洋漁業 春日信市
第一章 港	一頁
第二章 漁業並漁船	八
第三章 經營ト金融	一七
第四章 市場ノ構造	二四
第五章 浮船渠	二六
第六章 漁船	二八

魚市場切斷面圖

附アモイデン漁港圖

一九一二年度工事略圖

二 英國漁港及魚市場

農商務技師 北原多作

大正
1.11.25.
内交

(ハ)(ロ)(イ)

セント、アイビス魚市場	三二
ブリクサム魚市場	三三
ヤーマウス魚市場	三三
ヤーマウス港及魚市場略圖	
グレートヤーマウス魚埠頭及軌道法	三五
同施行規則	四一
ピリングスグレート魚市場	四二
ピリングスグレート魚市場實景	
ピリングスグレート魚市場取締規則	四四
同追加取締規則	五六
ローウエストフト魚市場	五八
ローウエストフト漁港及魚市場略圖並魚市場實景	
ローウエストフト漁港取締規則	五九
同課税表	六二
同船渠規則	八〇
同魚市場取締規則	八三

(ニ)

(ホ)

(ヘ)

ローウエストフト港取締規則	八六
グリムスビー魚市場	九六
グリムスビー漁港及魚市場略圖	
グリムスビー築港ニ於テグレートセントラル鐵道會社 ニ支拂フヘキ港税及貨物取扱料ニ關スル規則、細則	九八
同細則	九九
一八七五年爆發物條例ノ附則	一〇六
同細別	一〇八
入庫貨物證書及讓渡ニ關スル規則	一一二
重量證明書、陸揚證書引渡證書ニ關スル規則	一一四
料金支拂ニ關スル規則	一一四
埠頭使用料ニ關スル規則	一一五
石炭積込ノ爲メ入港スル船舶及コールドロップス使用ニ 關スル規則	一一五
フィッシュドックニ關スル規則	一一七
ローヤル築港第一號船渠ニ關スル規則	一一八

漁船船渠ニ關スル規則	一二〇
假船渠使用ニ關スル規則	一二〇
アレキサンドラ築港上ノ旋開橋ニ關スル規則	一二一
アレキサンドラ築港信號規則	一二二
信號機ニ關スル規則	一二七
家畜ニ關スル規則	一二八
グリムスビー築港魚市場附則	一三〇
グリムスビー築港内魚市場細則	一三五
ノースシールズ魚市場	一三九
(ト) アバーデン魚市場	一四〇
(チ) アバーデン漁港及魚市場略圖並魚市場實景	一四二
アバーデン魚市場取締規則	一四二
(リ) プリマス、サットン魚市場	一四七
プリマス、サットン港及魚市場略圖	一四七
サットン港法	一四九
附屬稅表	一八九

三 英國常設市場及定期市場法規

サットン港魚市場取締規則	一九六
常設市場及定期市場ニ關スル一八四七年法律	二〇三
釋義	二〇四
市場ヲ組織スル方法	二〇七
市場ノ設置	二〇八
市場ノ開場	二一一
屠殺所	二一四
貨物及車輛ノ斤量測定	二一六
税金	二二〇
附則	二二三
收支決算	二二七
刑罰	二二八
特別法ノ適用	二三二
違法ノ定期市場開場豫防ニ關スル一八六八年法律	二三三

定期市場ニ關スル一八七一年法律	二三四
定期市場ニ關スル一八七三年法律	二三六
常設市場及定期市場(畜類ノ斤量測定)ニ關スル一八八七年法律	二三九
畜類ノ斤量測定ニ關スル一八九一年法律	二四三
同上一八八七年法律ヲ修正スル法律	二四三
四 獨逸ハムブルヒ市定週市場ノ賣買ニ關スル市場規則	二四八

市場ヲ開クヘキ場所	第一條	二四九
市場ヲ開クヘキ日時	第二條	二五〇
販賣品	第三條	二五〇
販賣場所	第四條	二五一
市場ノ賣買	第六條	二五二
卓子及架臺ノ使用	第七條	二五四
販賣場所掃除及撤去	第八條	二五五

犬ノ携帯	第九條	二五五
遺留品	第十條	二五五
市場警察	第十一條	二五六
處罰規定	第十二條	二五六

目次畢

漁港及魚市場調査

和蘭アモイデン漁港(明治四十五年一月調査)

遠洋漁業練習生 春日信市

第一章 港

本港ハ歐洲中最モ新シキ漁港ニシテ英、獨其他ニ於ケル漁港ノ長短ヲ斟酌シテ築カレタルモノナリト云フ和國政府ハ北海漁場ト歐洲大陸トノ連絡關係ヨリ推シ本港ニ期待スル所大ナルカ如ク各年其ノ發展ヲ企テツ、アリ

本港ハ其ノ歴史新シキ丈ニ魚類水揚高ニ於テハハル、グリムスビー、アバーデン、ゲーステムユンデ港等ニハ劣ルト雖モ漁港トシテ簡且ツ要ヲ得タルモノナリトノ定評ナルカ如シ

本港ハ繫船地トシテノ歴史稍古キカ如キモ漁港トシテ改築サレ市場ヲ公開サレタルハ一九〇二年ニ始マル後六年前ニハ市場ヲ二倍ニ擴張シ三年前ニハ浮船渠ヲ建設シ本年度ニ於テハ鐵道設備ヲ擴張シ同時ニ市場ノ建増ヲナスト聞ケリ

余ハ専門家ナラサルカ爲メ本港ニ關シ其ノ長短ヲ批評スルノ能ナシト雖余ノ實見シタル範圍内ニ有リテモ尙參考トスヘキモノ尠シトセス

本港ハ全部和蘭國政府ノ所有ニシテ其ノ經營並ニ改築ハ總テ政府ノ方針ニ出ツ
 和蘭政府ハ現今迄ニアリテハ直接水産獎勵ニ資金ヲ投セシコト無シト雖運河並ニ漁港築造等ニヨリ關
 接ニ水産獎勵ヲ行ヒツ、アリ營業者ノ意見ニ聞クモ彼等ハ政府ヨリ漁船或ハ漁業獎勵ヲ受クルノ必要
 ヲ認メ居ラサルカ如シ其ハ諸種ノ理由ニ基ケル結果ナラムモ主トシテ當國ノ金融甚タ緩漫ニシテ金利
 ハ屢々英地ヨリモ低キコトアルカ爲メナルヘシ即營業者ハ資金ニ苦シムコト比較的少ナク要ハ唯漁業
 經營如何ニアルヲ以テ敢テ政府ヨリ金錢上ノ補助ヲ要求スルコト切ナラサルカ爲メナルヘシ
 政府ハ本港ニ下ノ官吏ヲ置キ一切ノ事務ヲ取扱ハシム

- 港 務 長 一人
 二等港務長 二人
 競賣官主任 一人
 競 賣 官 三人
 事 務 員(中三人ハ臨時雇) 五人
 支 拂 官 一人
 小 使 五人
 機 關 技 師 一人

- 浮船渠主任 一人
 特派巡查 一人

市場、(市場ノ構造ニ關シテハ後章之ヲ述フ)本市場ハ一八九九年幅約八間四尺長約七十三間ノ煉瓦製
 小市場ヲ起シ一九〇二年ヨリ市場ヲ開キ後一九〇五年ニ至リ幅約十三間二尺長八十二間ノ鐵骨大市場
 ヲ建造シ更ニ一九〇九年先ノ小市場ヲ鐵骨市場ト一見同様ナルモノニ改築シタル結果現在ニアリテハ
 事實幅十三間四尺長百六十五間ノ一棟ナル大市場ヲ有ス而モ尙ホ近年其ノ狹隘ヲ感スルヲ以テ一九〇
 二年度起工シ幅十三間二尺長サ九十二間ノ鐵「セメント」製市場ヲ増築スト聞ケリ
 地下室、市場ノ床下ハ之ヲ利用シテ地下室トナシ圖ニ示セルカ如ク其ノ各側ヲ「コンクリート」壁トナ
 スコノ地下室ハ管ニ四壁ヲ「コンクリート」張(約一尺二寸)トナシタルノミニシテ何等ノ貯藏設備ヲ
 施シタルモノニ在ラスト雖魚類殊ニ鯀魚ノ一鹽樽漬ヲ貯藏スルニハ大ニ効果アリト聞ケリ
 船主乃至商人ニシテ市場ノ模様惡ク爲メニ一時ノ投機ヲナシ市價ノ恢復ヲ待タムトスルモノ本地下室
 ヲ借受ケ以テ魚類ヲ保存スルナリ
 地下室料金ハ一坪四方一日使用料六十五錢トス
 地下室利用ニ關シ今後鮮魚ノ短期貯藏法ヲ試驗セムトスルノ旨ヲ聞ケリ兎ニ角魚市場附帶事業トシテ
 其ノ利用如何ニヨリテハ大ナル効果ヲ收メ得ヘキモノト信セラル
 運送、運搬ハ各地ニ運河ノ便アリト雖鮮魚ハ總テ汽車使ヲ以テ各地ニ供給セラル

汽車設備ハ客車停車場トハ全ク離レ市場ノ背後ニ魚類貨車停車場アリト雖現在ハ只三條ノ線路ヲ有スルノミニシテ甚タシク不足ヲ告クルヲ以テ一九〇二年度ニ於テ別圖ノ如ク七條ニ増線ス

魚揚場ト漁船荷役所、市場ノ全長ヲ通シ約二間ノ石竝ニ煉瓦敷空地ヲ有シ其ノ先端ニ約三間宛ノ間隔ヲ置キテ繫柱ヲ備フ漁船入港スルヤ總テコノ魚揚場ニ繫留シ翌朝ノ競賣期ニ及テ水揚ヲナス各船ハ其ノ水揚ヲ終ルトキハ港ノ對岸ナル長約二百二十五間ノ荷役所ニ行キ此所ニテ出帆全部ノ準備ヲ整フ斯ク市場ト荷役場トハ全ク對岸ナルヲ以テ港内漁船ノ混雜ヲ來スコト甚タ尠キカ如シ

浮船渠、下圖ニ示セル位置ニ於テ船底塗竝ニ小修繕ノ爲メ八百噸即總噸數約三百五六十噸用浮船渠ヲ設備ス(浮船渠ニ關シテハ後章ニ述フ)

クレン、荷役場ノ尖端圖ニ示セル位置ニ於テ電力二十噸用「クレン」ヲ設クコハ船ノ機關並ニ「ボイラ」等ノ揚降ニ供スルモノニテ電氣操縦ナルヲ以テ甚タ簡便ナリ然レトモ本「クレン」ハ單ニ回轉動作ヲナスノミニシテ左右ノ運動ヲナス隨テ英地一般ニ使用サレツ、アルカ如ク陸上ニ鐵軌ヲ敷キ「クレン」カ回轉動作ヲナスト共ニ右左運動ヲナシ得ルモノニ比シ其ノ效果劣レルヤニ見受タリ

工場、本港ニハ獨立經營ニ係カル造船或ハ修繕工場ナク唯大船主カ各自ニ小修繕工場ヲ有シ船體機關ノ備品一切ヲ豫備シ居ルニ過キスシテ工場ト認ムヘキモノナシコレ大修繕ノ際ハ總テ運河ヲ通シ如何ナル期節ト雖安全ニアムステルダムニ送り得未タ本港ニハ獨立工場ヲ要セサルカ爲メナルヘシ然レトモ船主ニハ既ニ其ノ要アリト主張スルモノヲ耳ニセリ

製氷、製氷會社ハ目下三會社ニシテ其ノ製力氷二十噸二臺、三十噸二臺ナリ尙不足ヲ告クルヲ以テ本年度ニ於テ他ニ三十噸ノ製氷會社設立セラル

當地ニ於ケル氷代價ハ一噸平均六圓二十錢ナリ

製氷機ハ總テ「アンモニヤ」式ヲ使用ス

氷ハ歐洲一般ノ如ク陸上ニテ一寸角以下大ニ粉碎シテ漁船ニ積ム内地ノ如ク海上粉碎ト比シ其ノ利害疑ナキヲ得ス

港ノ大サ潮差其他、本港ノ大サハ別圖ニ明ナルカ如シ即チ漁港ノ幅約七十九間與行約三百七十間港ノ入口幅約三十間ナリ

本港ハ本港ノ爲メ特ニ築カレタル埠頭ヲ有セス埠頭ハ寧ロ當地トアムステルダム間ニ通スル運河ニ屬ス地質ハ硬砂ニシテ築港ニハ好良ノ向ナリ

港ノ深サハ市場前側ニテ十六尺五寸ノ設計ナレトモ港ノ中央部ハ約二十尺以上ナリト云フ潮差ハ五尺乃至六尺ヲ普通トス

本港ニ取り最モ害多キハ北西風ナリト雖モ其ノ潮差ニ及ホセル影響一尺内外ニ過キス

本港ハ土砂ノ堆積甚タ尠ナク爲メニ三四年毎ニ一度宛ノ浚渫ヲ以テ足ルト云フ

建設費、本港建設費(起工費)トシテ計上サレタル總額ハ百九十二萬五千餘圓ナリ内各年ニ於ケル償却額ヲ除去シ本港現在資金トシテ計上サレシハ一、七八八、七〇〇圓ナリ

茲ニ建設費中主要項目ノ内譯ヲ掲ク

總建設資金

内譯 築港費

小譯 水部工事一般用

同上商用

埠頭

新セメント製埠頭

港底

其他十二項目

市場

小譯 東部市場

西部市場

地下室

其他十四項

給水工事

小譯 建築

一、九二五、〇〇〇^円

一、〇八五、〇〇〇

一四八、五〇〇

二三五、〇〇〇

一四三、〇〇〇

二〇七、〇〇〇

一一二、〇〇〇

.....

五三五、〇〇〇

二〇五、〇〇〇

一一八、〇〇〇

一五六、〇〇〇

.....

五八、〇〇〇

一九、〇〇〇

パイプ配置

其他八項目

電燈工事

小譯 七項目

敷地

小譯 工場其他向貸地

排水工事

其他二項目

鐵道用敷地

小譯 二項目

浮船渠

小譯 繫柱

浮船渠用港部浚渫

浮船渠

電線等

機械類

一四、七〇〇

.....

一三、九〇〇

.....

八八、五〇〇

.....

七五、〇〇〇

.....

一一、六〇〇

.....

四三、八〇〇

.....

一〇〇、八〇〇

.....

六、五〇〇

.....

四、一三〇

.....

六八、六〇〇

.....

二、三七〇

.....

四、九五〇

排水及電氣操縦室一切

一三、五〇〇

其他二項目

.....

合計

一、九二五、〇〇〇

第二章 漁業並ニ漁船

船數、本港内ノ船數ハ附近小港ヨリ來ルモノアリテ一定セスト雖現在和國船ニシテ本港ヲ根據トナスノ次ノ如シ

- 汽船トロール 百二十艘餘
- 帆船ヲツタートロール 二十艘
- 帆船ビームトロール 三艘
- 汽船鯨流網船 三艘
- 帆船鯨流網船 四艘
- 汽船延繩船(トロール兼用)
- 帆船延繩船 二十五艘
- 其他小漁船

其ノ中汽船「トロール」ハ船主ノ意向ニヨリ期節ニ準シテ鯨流網船又ハ延繩漁ニ使用サル近岸用即北海

用汽船「トロール」ハ船長普通百五十尺(龍骨)ニシテ氷島行其他遠距離用ノモノハ船長(龍骨長)百二十尺ヨリ百三十尺内外トス之等漁船「トロール」船ハ普通英地ノ三四年古時ニハ新造船ヲ購入シテ使用ス帆船「オッタートロール」ハ内地漁業ニ取り稍ヤ興味アルカ如キヲ以テ別項ヲ設ケテ之ヲ述フ

帆船鯨流網船ハ總テ沖合處理即沖合ニ於テ鯨ヲ樽内ニ鹽漬トナシ英地ノ如ク陸上ニテ鹽漬ヲナス只汽船ニシテ鮮魚ノ目的トナスモノ市價ノ變動ニヨリ臨時陸上鹽漬ヲナスコトアリ之ノ帆船流網船中専門ノモノハ四艘ニ過キスシテ他ハ「トロール」漁ヲ兼ヌ即七月ヨリ十一月迄ハ鯨流網ヲナシ他ハ「トロール」業ニ従事ス船長(龍骨)ハ普通八十尺内外ニシテ過半ハ鋼船ナリ

鯨漁船ハ其ノ船内ヲ十區ニ區劃シ全體ニテ鹽漬樽六百個ヲ運搬セシム

帆船延繩船ハ總テ活魚船ヲ設ケ各地ニ使用サル、モノト同様ナリ

漁船利益分配、當地漁船ノ利益分配ハ左ノ如シ

汽船「トロール」船ニアリテハ其ノ水揚高ヨリ市場費並ニ商人拂戻金トシテ四分ヲ引キ去リ殘額ヲ基トシテ

船長	四パーセント	俸給ナシ
運轉士	一ヶ月 給料	五十圓 配當
機關長	〃	六十五圓 〃
二等機關士	〃	五十圓 〃
		四分ノ三パーセント

漁夫 // // 五十圓 配當 六分ノ一パーセント (六人ナルヲ以テ全體ニテ一パーセント)

料理人 // // 四十圓 無配當

此ノ「トロール」船ハ普通九日間ヲ以テ一漁週期トナス(水島行ハ二週間ヲ要ス)而シテ其ノ水揚高ハ一定セサルハ勿論ナレトモ余ノ見タル當日ノ水揚高ハ最高二千百圓餘最低千五十圓ニシテ普通ノ漁獲高ナリト聞ケリ

船ノ検査、漁船ノ検査ハ總テ政府ノ検査官之ヲ行ヒ時ニハ保險會社亦検査ヲ爲スコトアリ船ノ検査ニハ一定ノ期間ナク検査官ノ勝手ニ之ヲ行フ船主ハ管ニ各三ヶ月毎ニ海事官ヨリ検査濟證ヲ受取ルヲ要スルノミ最モ検査ニ便セムカ爲メ「ドック」ニ入リシ中並ニ修繕ヲ行フトキハ一々海事局ニ通知スルコトヲ要ス

検査ニ一定ノ期間無キ爲メ信用ナキ船主ノ持船ハ再三検査ヲ受クルニ反シ信用深キ船主ノ持船ハ久シク検査ヲ受ケサルノ差ヲ生ス

保險、船體保險ハ船主相互保險ニシテ「ロイド」及「サンダーランド」會社等船主ノ好メル所ニ契約ス普通一ケ年間ノ保險率ハ汽船三分五厘帆船二分五厘ナリトス

造船、本國ノ造船業ハ盛ナラス且ツ英地ヨリ購入スル方安價ニシテ亦信用多キヲ以テ本國ノ汽船ノ總テハ英國製ト認メテ可ナリ時ニ獨逸製ヲ使用スルコト有ルモ甚タ稀ナリ

其ニ反シ帆船ハ木製ナルト鋼製ナルトヲ問ハス一般ニ當國ニテ製造サル主ナル造船地ハアムステルダ

ムニシテ運河ヲ通シテ當港ニ廻港ス當港ニハ造船所ナシ

六十尺以上ノ帆船ハ鐵製多ク木船尠ナシコハ營業費並ニ經常費ヨリ來ル經濟上ノ結果ナルヘシト信セラル

鹽、當國ハ鹽ニ税金ヲ懸クルト雖モ漁船用ニハ之ヲ徵セス食鹽ト魚藏鹽トハ其ノ品質ヲ異ニスルヲ以テ反則者取締ニハ何等ノ困難ナキカ如シ即船ノ出入ノ都度船長ハ港長ニ鹽現在搭載高ヲ報告シ官吏ハ屢々之ヲ臨檢スルニ止マル反則者ハ鹽使用ヲ禁スル規定ナルヲ以テ危險ヲ冒シテ反則スルモノナシト云フ

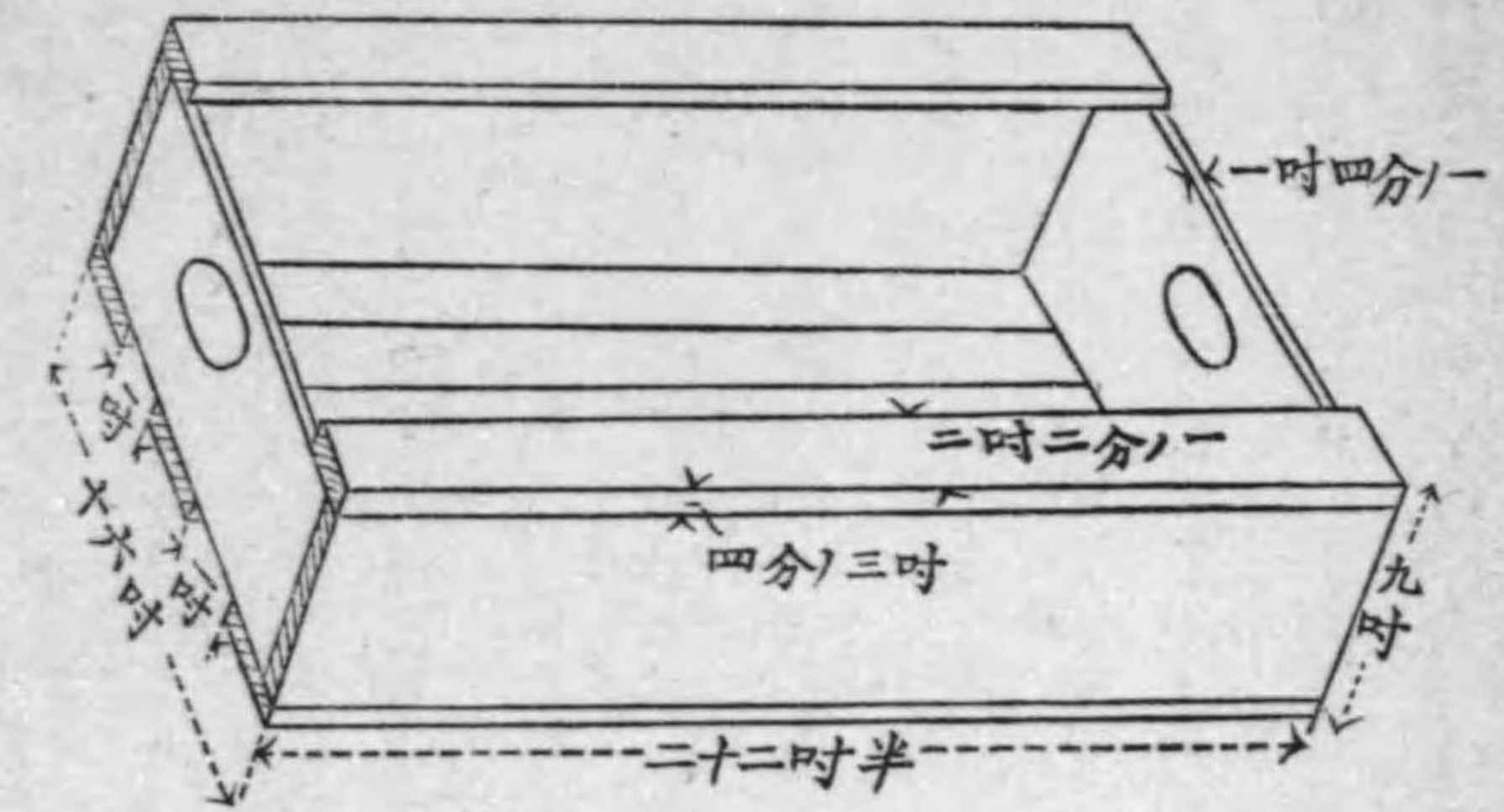
給水、水ハ當市場ヨリ供給ヲ受ク一石四錢五厘但シ自己ノ「ホース」ヲ使用スルトキハ石三錢宛ヲ支拂フ入港船、參考ノ爲メ當港一ケ年ノ入港船數ヲ掲ク

船名	一九一〇年度	一九〇五年度	一九〇〇年度
汽船	三、五八三	二、九〇八	八七
帆船	一、七八一、二五一	一、四八六、七〇五	一、一八三
帆船	二八八	一七二	一、一八三
帆船	四、二七五	二、五五二	七、〇五
帆船	六六五	七五〇	七、〇五
帆船	一、三三三、三六〇	一、七六、二七四	七、〇五
帆船	六〇〇一	四、六七二	七、〇八
帆船	一、五八、六〇〇	七、五、四〇〇	七、〇八
帆船	一、六	一、三九	一、四一
帆船	二、三六一	二、〇、三四八	一、四一

競賣者、競賣者ハ總テ市場付キノ官吏ニシテ商行爲ヲナスヲ得ス隨テ競賣ハ公平ニ行ハレ弊害尠ナキカ如シ

競賣者ハ主任一人助手三人書記三人乃至五人ニシテコノ競賣者ハ三人宛ヲ以テ一組トナシ一人ハ呼賣ヲナシ他ノ二人ハ書記ノ任ヲ取ル

普通ハ毎朝二組ノ競賣者ニヨリ市場ノ兩端ヨリ競賣ヲ始ム準備ノ整ヒタルモノヲ追テ競賣ヲナス



魚商人ハ期節ニヨリテ數ヲ異ニスルハ勿論ナルモ普通二三十人ニテ時ニ五十人ニ達スルコトアリ競賣後買取リタル商人ハ各々市場ヨリ借受ケアル市場ノ後側即鐵道線ニ面シタル荷造室ニ魚類ヲ運搬シ茲ニ再ビ商人ノ意向ニ應ジテ魚ノ大小分類別ヲナス而シテ後長二尺三寸幅一尺六寸深一尺三寸五分内外ナル太サ五ミリ乃至十ミリノ柳製籠ニ入レ汽車積トナス之ノ籠ハ五十基入トシテ取扱ハル

荷造、荷造ハコノ籠ノ内部ヲ約二三尺四方ノ「アンペラ」二枚ニテ被ヒ其ノ上ニ同大白紙二枚ヲ敷キ後魚ト碎氷トヲ交代ニ詰ム最後ニコノ白紙並ニ「アンペラ」ニテ其ノ上部ヲ被ヒ後同柳製蓋ヲ附シ「ツツイン」ヲ以テ綴ジ合セ木製荷札ヲ附シテ終ル

荷造室及物置室、上述ノ荷造室トハ市場構造圖ニ明ナリコノ荷造室ハ商人ノ商賣高ニ應シ適宜ノ大サ

ヲ市場ヨリ一ヶ年宛借リ受クルモノナリ料金ヲ定ムル爲メ建築物ノ柱ヲ以テ一區劃トナシアルモ商人ハ一人ニシテ四五區劃ヲ亦共同シテ一區劃ヲ借リ受クル等一定セス

一區劃ハ幅約三間ニシテ其ノ賃借料一ヶ年八十二圓五十錢ナリトス然レトモ各商人ノ求メニ應シ兼ルヲ以テ本年ヨリ一區劃十二圓五十錢ト改正スル由ナリ荷造室ニ伴ヒ籠ノ物置場ヲ要ス其ハ市場構造圖ニ示スカ如ク市場ノ二階全部ヲ以テ之ニ充ツ(最モ其ノ中商人用小事務室ヲ設クルモアリ)

其ノ料金ハ長約九間幅約三間ノモノヲ一區トナシ一ヶ年約二十一圓宛ヲ徵ス

貨車、荷造ヲ終リタル魚籠ハ短距離行ハ其ノ儘ニテ遠距離行ハ更ニ籠全部ヲ氷被トナシ貨車ニ納ム

貨車ハ普通ノ貨物貨車ヲ二重張トシタルニ過キスシテ何等ノ冷蔵裝置ヲ有セス曾テ貨車ニ通風法ヲ試

ミシ事アルモ効果ナク爲メニ從來ノ如ク専ラ氷冷蔵ニ依ルモ近キニ貨車防熱裝置ノ試驗ヲナス由ナリ

魚類製造、當港ニ來ル魚類ハ一般ニ製造サレズ總テ新鮮ノ儘各地ニ供給サル只氷島行「トロール」船並ニ帆船流網船ニシテ沖合鹽漬トナスモノ並ニ汽船流網船ニシテ鮮魚ヲ目的トナスモノ市價ノ下落ニ際シ臨時鹽藏トナスモノアルノミ鯧魚ハ英地ノ如ク陸上鹽漬トナスト當地ノ如ク沖合鹽漬トナストハ主トシテ漁場ト根據地トノ距離如何ノ結果ナルヘシ海上製造ハ陸上ノモノニ比シ粗雜ニシテ品質ヲ損フハ明ナリ隨テ價格廉ナリト言ヘトモ習慣ト當地ノ位置トハ沖合製造ニ利アリトナスカ如シ

魚類供給地、鮮魚ハ内地用ノ外ハ主トシテ獨逸國南部ニ輸出サル亦伯林、漢堡地方ニモ屢々發送サル

獨逸國ニ次クハ白耳義ニテ露西亞ニ送ルコトモアリ

佛國ハ魚類ノ輸入税ヲ課スルヲ以テ高價品ノ外ハ輸出セス大體當港ヨリノ輸出先ハ三割獨逸國、四割内國、二割白耳義他ハ佛露等ナリ

魚類陸上高、本港水揚高ノ一例ヲ掲クレバ (十二ギルドルハ我九圓九十錢ニ當ル)

魚種	一九一〇年		一九〇五年	
	總重量	公賣額	總重量	公賣額
北海トロール船魚	二二、九四〇、二〇〇	四、〇〇五、〇四六	一七、三三四、七〇〇	三、〇四四、四九八
北海延繩船魚	一、五二五	一、三七八、一〇〇	六、五二三	二、一二〇、四〇〇
北海鮫流網船魚	四、三二四、九〇〇	三、一四、〇六〇	一、六五八、二〇〇	二〇三、七四三
アイスランドトロール船魚	一、七二九、五〇〇	二、二二三、一五〇	一、〇八四、六〇〇	一三六、五三六
アイスランドトロール船魚	一七七、四一〇	一、一四八	一五、九四三	六、二八四
Peröeren Roall 島トロール船魚	九二、〇〇〇	八、〇二一	一七九、〇〇〇	二四、四三五
白海トロール船魚	六六、一〇〇	四、八五四		
大西洋トロール船魚	一三、六〇〇	三、九二五		
諸種委託魚	五四、一七三	五、二七〇、九九一	二一、三〇九	
總水揚重量	三一、五四四、四〇〇		二二、二七六、九〇〇	
同上 價額	約四百三十五萬圓		四、一二六、六一〇	
			約三百四十萬圓	

第三章 經營ト金融

本港現在資本額ハ約百七十九萬圓(建設費ハ一、九二五、〇〇〇圓)ニシテ一ヶ年平均魚取扱高ハ四百萬圓餘ナリトス

水揚高中ヨリ私賣品ヲ除去シ市場料トシテ得タルモノ一九一〇年ニアリテハ八萬三千圓餘其他市場及土地貸付料並ニ電氣飲料水等ヨリ相當ナル收入アリト雖尙一九一〇年度ニアリテハ一切ノ收支決算ノ

結果六千五百餘圓ノ缺損ヲ示セリ最モ本計算ハ政府事業ナル丈ニ償却金高ノ如キハ其ノ年ノ都合ニ依テ定ムルカ如シ一九一〇年度償却金高ハ極テ小ナルカ如シ例ハ浮「船渠」建設費八三、〇八六「ギユルドル」ニ對スル一九一〇年度償却ハ僅々八〇五「ギユルドル」ニシテ「ドック」ノ保存期限ヲ百年以上ニ見積アルカ如シコハ不當ノ甚タシキモノナルヘシ故ヲ以テ一般企業ノ償却法ニ從フトキハ各年ノ損失稍々大ナルモノアルヘキカ

市場料金、事務所ノ手ヲ經ス亦公賣ニ附セサルモノヲ私賣品ト稱ス私賣品モ尙本港ニ入り本港敷地ヲ使用スト雖市場ヲ使用セサルヲ以テ後述ノ如ク之ニ市場料ヲ賦課シ得ス本國ノ一般法トシテ運河並ニ港ハ總テ無稅トナリ居ルヲ以テ本港モ英地ノ如ク入港稅ヲ徵スルヲ得ニ爲メニ本港ハ市場料トシテ本市場ヲ使用スルモノニ限り其ノ賣上高ノ二分ヲ徵收スコノ二分ハ本港維持ノ主財源ナリ現狀二分ニテハ收支相償ハサルカ如キモ三分トナストキハ利益大ニ失スルカ如シ

船主側ニ取リテハ市場料トシテ二分ヲ政府ニ納ムルノ外本國在來ヨリノ慣習ニヨリ船主ハ買取商人ニ二分ノ拂戻ヲナスノ商規アリ結局船主ハ水揚高ヨリ四分ヲ減シタルモノヲ收得スルノ理ナリ信用法、魚仲賣人又ハ魚商人ト船主トノ金錢勘定ハ總テ本港事務所ヲ通シテ行ハルコレ船主殊ニ他地方ヨリ來レル船主ハ一樣ニ即金拂ヲ要求シ且ツ亦公賣ナルヲ以テ賣手ト買手ノ間ニハ何等ノ信用成立セス故ヲ以テ本港事務所ハ其ノ中間ニ立テ本港ノ銀行ト契約シ公賣額ノ四分ヲ控除シタルモノヲ船主ノ要求ニ應シ即座ニ支拂フ………

結果市場ハ各商人ニ對シ本銀行ニ預金ヲ開カシム市場ハ各商人ノ當日ニ於ケル購買高ヲ毎日銀行ニ通知シ銀行ハ其ニヨツテ其ノ商人ノ預金殘高ヲ事務所ニ通知ス若シ預金ノ盡クルトキハ市場ハ其ノ商人ノ購買權ヲ差シ止メ更ニ預金ヲ開カシム而シテ商人ノ購買額ハ購買當日ヨリ五日間以内ニ於テ事務所ニ拂込マシム

コノ方法ハ政府事業ナルヲ以テ何等カノ情實ニヨリ商人ノ信用以上ノ購買ヲ默許スルカ如キ弊無キカ如シ

收支決算、下ニ一九一〇年度ノ收支決算表中主ナルモノヲ掲ク

貸出金ノ部(損失高)

一、漁港費決算缺損	四九、四〇〇 ^円
支出經常費	一一、四〇〇
内 給 料	五、〇一〇
衣服費	二八二
市場電燈	六、〇四〇
市場經常費	四一五
其ノ他十項目	………
支出維持費(十四項目)	四、九七〇

〃 利 子	二六、二〇〇
〃 償却金(八項目)	六、三七〇
收入土地貸付收入	五四三
〃 他 一 項
二、鐵道用諸費	一、六五〇
三、浮「ドック」決算缺損	七五五
支出經常費	二、六八〇
内 給 料	一、八五五
電氣代	八一二
外六項目
〃 維持費(五項目)	九七
〃 利 子	二、六四五
〃 償却費	一、六五〇
内 「ポンプ」及電燈類	三四〇
「ドック」	六六五
機械類	二四八

繫船柱	二五九
電 線	七八
他 一 項
收入 「ドック」料金	六、三一三
以上一、二、三、缺損總高	五一、九〇〇
借入金ノ部(利益)	二八、〇〇〇
一、市場純益金	三五、二〇〇
支出經常費	一三、六五〇
内 給 料	一五、五〇〇
修繕費	一、七六〇
電力使用	二、九一〇
市場地下室給水
其他九項目
〃 維持費	四、六四〇
内 南部市場	一、五三〇
東部市場	九四三

魚入箱	一、五〇〇 ^円
他十項目
利子	一七、〇〇〇
償却金	七、二七〇
内 西部市場	二、二九〇
東部市場	一、九八〇
魚入箱	一、〇〇〇
他十二項目
收入 市場料金	八二、六〇〇
市場敷地	七、九〇〇
他七項目
二、給水工事収益	九、七四〇
支出經常費	三、六二〇
内 給料	二、六四〇
石油	七八五
他八項目

維持費	八六二
利子	一、四九〇
償却金	二、三六五
收入給水料金	一七、九〇〇
他三項目
三、電燈収益	四、五三〇
收入 二項目	一〇、〇二〇
支出 八項目	五、六七〇
四、土地及敷地収益	三、〇八〇
收入 三項目	七、三五〇
支出 八項目	四、二七〇
以上 一、二、三、収益高	四五、三五〇
差引一九一〇年度不足額	六、四五〇

以上大體本港經營情態ヲ窺ヒ得ベキト信ズ尙當地ニ於ケル事業ト其ニ要スル資金投資ノ鈞合ヲ知ラン
 ガ爲メ當地ノ貨幣價值ヲ掲グ
 當國ハ民間ニ遊金多ク爲メニ金融ハ一般緩漫ニシテ金利ハ時ニ英地以下ニ下落スルコトアリ

政府公債ハ三分五厘乃至四分ニシテ民間事業費借入金利ハ無論抵當物ニヨツテ差アリト雖漁船擔保ニテ五分乃至六分ヲ常トスト云フ

物價ハ 石 炭(船用) 一噸 七圓二十錢内外

魚藏鹽 // 十圓乃至十一圓

男子勞働者 一時間 二十錢 一週間十三圓位

女子 // 約男子ノ二分ノ一

會社事務員 一週間 八圓乃至二十圓

會社支配人 一ヶ年二千五百圓乃至四千圓

巡査 一週間 十三圓乃至十五圓

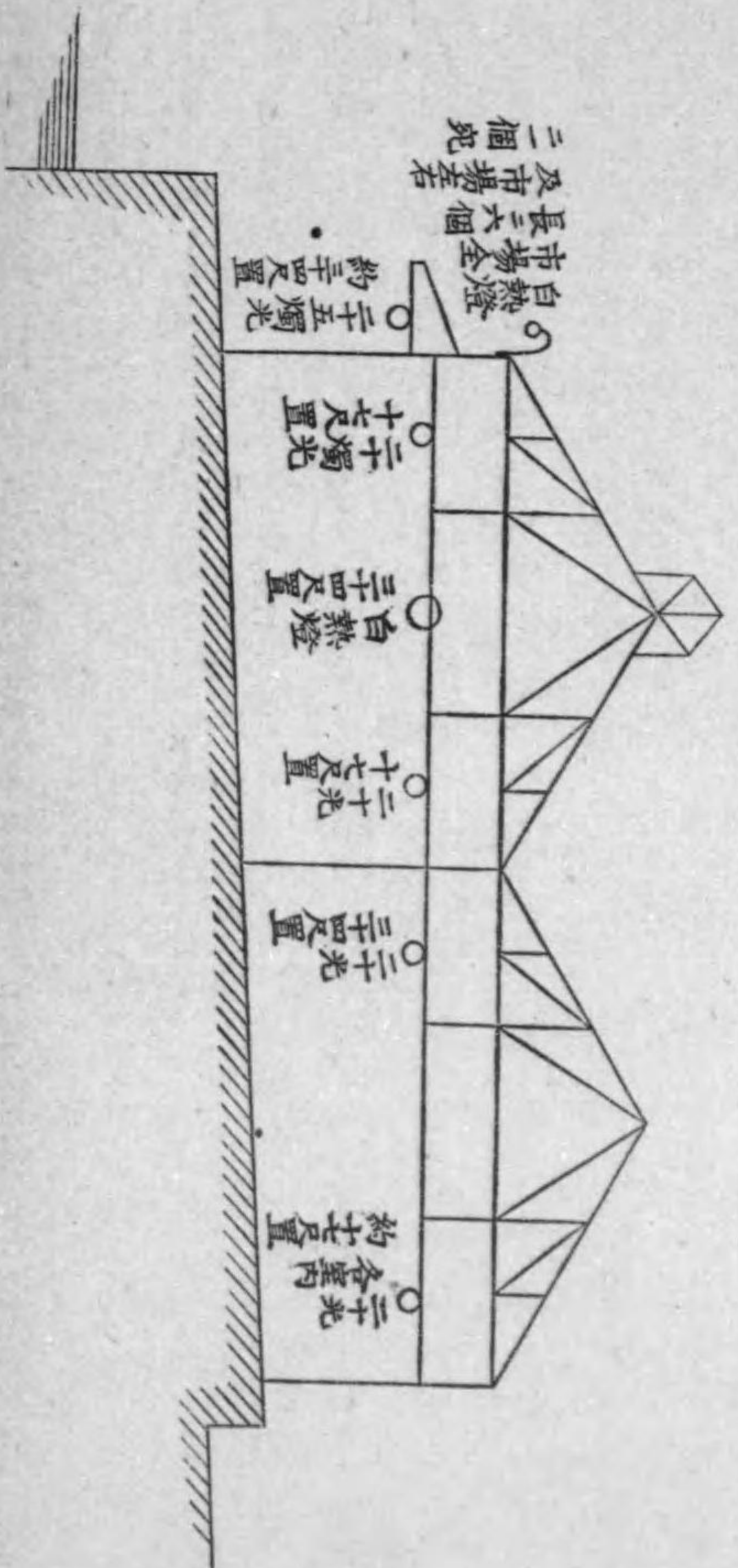
第四章 市場ノ構造

市場建築物ノ構造ハ第一章ニ於テ述ベシガ如ク一八九九年起工煉瓦造ヲ一九〇九年鐵骨建増ヲ行ヒタルモノト一九〇五年起工鐵骨建築トノ二種アレドモ前者ハ後者ノ不完全ナルモノト認メテ差支ナシ依テ今之ヲ略ス

鐵骨市場建築ハ別紙圖面ニヨリテ明ナルガ如ク魚競賣場ト荷造室トヲ大通路ヲ以テ境ス隨テ魚市場ノ混雜ヲ防グ上ニ於テ效果大ナルガ如シ英地市場ハ當市場ノ如ク別個ノ荷造室ヲ設ケズ市場ノ後部ニ於

テ荷造ヲナスノ設計ナレドモ事實ハ實行サレズシテ競賣所ニ於テ荷造ヲナスモノ多ク爲メニ市場ハ甚ダ亂雜ヲ極ム亦英地市場ノ各側全部又ハ大部ハ空放ナルニ反シ當市場ハ全長ヲ通シ前面ハ十六尺宛ノ縱滑リ戸ヲ後部ハ各荷造室ニ約二十尺宛ノ橫滑戸ヲ左右側ハ同ジク橫滑戸ヲ設ク隨テ魚揚ノ尠キ時亦市場競賣ノ結了スルニ連レ必要ナル部分ノミヲ開ケ放テ他ハ戸締ヲナスコトヲ得コハ内地ノ如ク寒氣甚ダシキ所殊ニ内地固有ノ服裝ニ取リテハ或ハ必要ナル設備カト考ラル勿論其ニ對スル費用ヲ増スハ止ヲ得ザレドモ市場經營ヨリ見テ甚ダ微額タルベシ

魚競賣場ト通路トノ間ハ何等ノ隔壁ナク只建築用柱アルノミ



地下室ハ四側「コンクリート」壁ニシテ市場繫船場前部並ニ荷造室ト荷造室トノ間ニ於ケル空地ニ鐵蓋設備ノ入り口ヲ有ス

市場點燈設備、市場ノ全長ヲ通ジ前圖ノ如キ點燈設備ヲ有ス

其ノ中魚市場中央上部並ニ市場前面屋上ニ設ケラレタルハ白熱燈ニシテ他ハ全部金線電燈ナリ魚競賣場上部ノ白熱燈ハ普通之ヲ使用セズ只各期朝全ク暗キ時並ニ霧深キ時ニノミ之ヲ使用ス説明者ハ魚類ノ品質ヲ識別スル上ニ於テ白熱燈光ハ電燈光ニ勝ルト曰フ

此ノ白熱燈並ニ電燈ノ光力數ハ不明ニシテ全ク余ノ實見セシ際ニ於ケル推定ニヨルモノナリ

第五章 浮船渠

本「ドック」ノ操縦動力並ニ點燈ハ總テ電氣ニシテ市ノ發電所ヨリ其ノ供給ヲ受ク

「ドック」ノ大サハ下圖ニ示セルガ如クニシテ排水八〇〇噸（約總噸數三百四五十噸用）ナリ

本「ドック」ハ二年前ニ完成サレタルモノニシテ全費用十萬餘圓内「ドック」丈ノ建設費約七萬圓ヲ要シタリ

市場ハ「ドック」使用者ニ下ノ料金ヲ課ス

一、船ノ大小ヲ問ハス使用許可料トシテ

一艘ニテ使用スルトキハ

十二圓四十錢

二艘ニテ使用スルトキハ 各艘 八圓二十五錢

三艘ニテ使用スルトキハ 各艘 六圓二十錢

二、「ドック」使用料トシテ

二十四時間以内ハ 船一噸ニツキ 五錢宛

次ノ十二時間毎ニ 二錢五厘宛

（噸數不明ノトキハ技師ノ認定ニ依ル）

三、「ドック」浮沈ニ際シ「ポンプ」使用代トシテ

使用中每一時間毎ニ 二圓六錢宛

四、「ポンプ」其他「ドック」使用ニ伴フ電氣使用代トシテ

電力一「キロワット」毎ニ 二十錢六厘

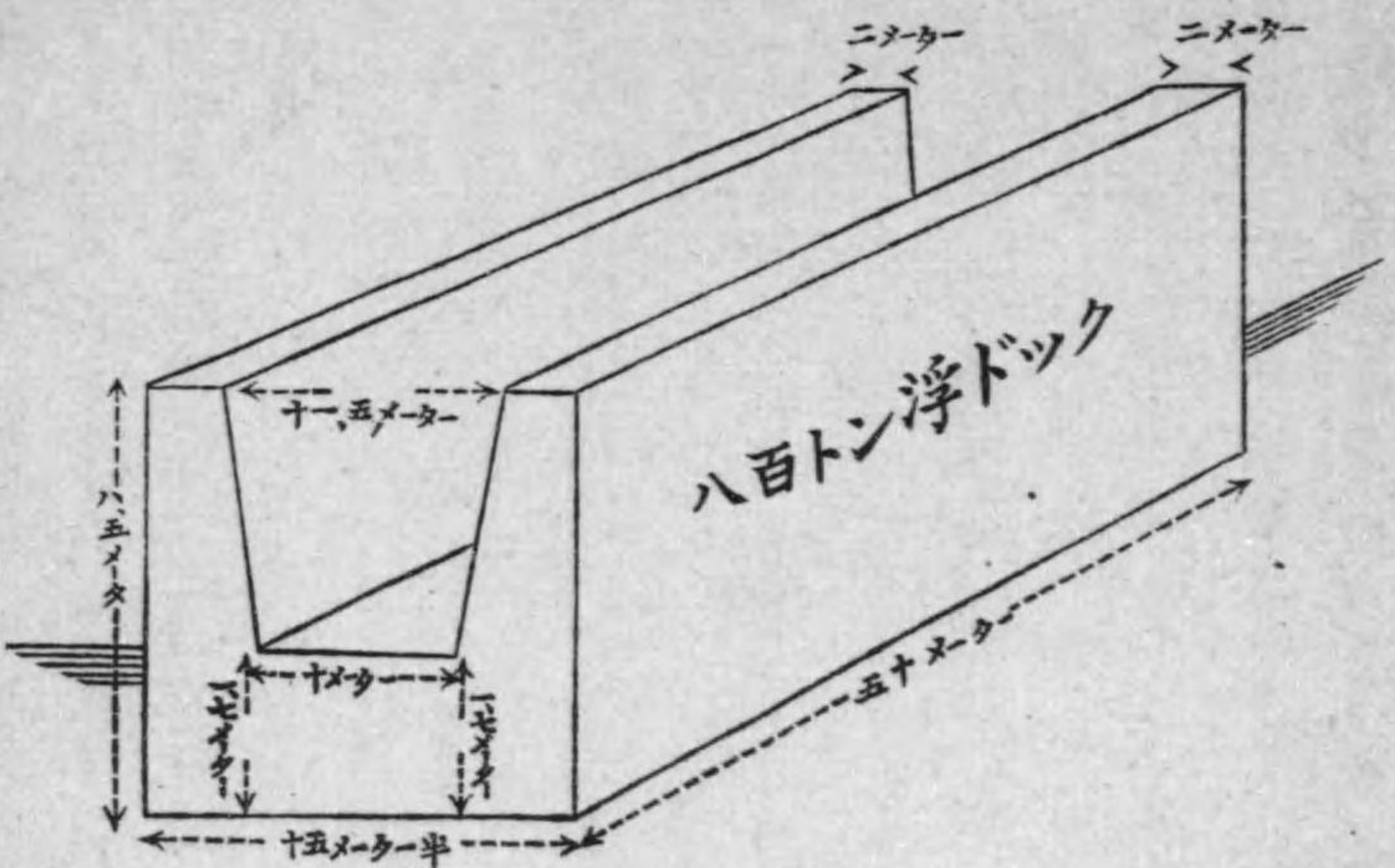
五、午後六時以後午前六時以前ノ使用ニハ電燈附加料ト

シテ 各日二圓六錢宛ヲ徴收ス

本「ドック」ハ現在船數ニ對シテハ到底收支相償ハサルカ

如シ英地アバーチン（市營）グリムスビー（鐵道營）

浮「ドック」ノ如キモ尙各年缺損ヲ生シツ、有ルニ鑑ムルトキハ本港浮「ドック」ハ近キニ其ノ償フノ期



來ラサルヘシ
何か故ニ曳揚船渠ヲ採用セサリシヤ余ノ質疑ニ應シテハ今後ニ於ケル本漁港發展範圍不明ニシテ曳揚船渠ヲ設クルトキハ之ヲ移動シ得サルカ爲メナリト而モ浮「ドック」ノ不經濟ナルニ顧ミ目下小漁船用曳揚船渠ノ建造計畫中ナリト云フニ至リテハ暗ニ本浮「ドック」ノ失敗ヲ自白シ居ルモノト認メテ可ナルヘキカ

第六章 漁 船

普通漁船ハ茲ニ記スルノ要ナキモ英地並ニ内地ニ無ク而モ當地ニ盛ナリトハ稱シ難キモ尙有利ニ二十艘餘使用サレツ、アル「オッターボード」鋼帆船「トロラー」ヲ略述ス

一艘ニ此ノ種漁船ハ七月ヨリ十一月迄ハ鯨流網ヲナシ十二月ヨリ六月迄ハ「トロール」業ヲナス只三艘程ノ「トロール」専門船アルノミ總テ別紙帆裝圖ニ示セル「タイプ」ナリ（圖略ス）

鯨漁兼帆船「トロール」船ハ普通

80'-0" P.P.; 22'-6" B.M.; 9'-4" D.M. ナリ

「トロール」専門ノモノニハ六十五尺ノ P.P. 小型船モアリ

當港ニ於テモ曾テハ英地「ローエストフト」スマック」船ニ用ヒ「ビームトロール」（内地愛知縣水産試験場船）使用サレシト言ヘトモ今ハ一般ニ「オッタートロール」使用ニ變シ只二三ノ「ビームトロール」

船殘レルノミ其ノ理由ヲ糺シタレトモ認メ得ヘキモノナク只試験ノ結果有利ナリシカ爲メナルヘシ（附記ス諾威地方ニハ發動機附小「オッタートロール」船澤山從業シツ、アリ）

此ノ種漁船カ内地ニ適スルヤ否ヤハ風力如何ヲ知ルノ要アリテ一概ニ判定スルヲ許サスト雖モ愛知水産試験場船ノ「ビームトロール」試験結果好良ナラサルノ際ハ代ルニ「オッタートロール」ノ試験ヲ試ムルモ亦無益ニアラサルヘシ本船設備ハ極メテ簡單ナルモノニシテ

「シリンダー」徑四吋、行長七吋半用「トロールウインチ」（全長六呎幅四呎六吋）

一〇〇尋用一臺

外側徑四呎高約八呎ノ「ドンキーボイラー」 一 個

三・五×二十二吋ノ「チャンネル」鐵材製ニシテ船ノ「レール」上四呎

内外ノ高サナル「ガロース」及ヒ其ニ準スル小「ブロック」

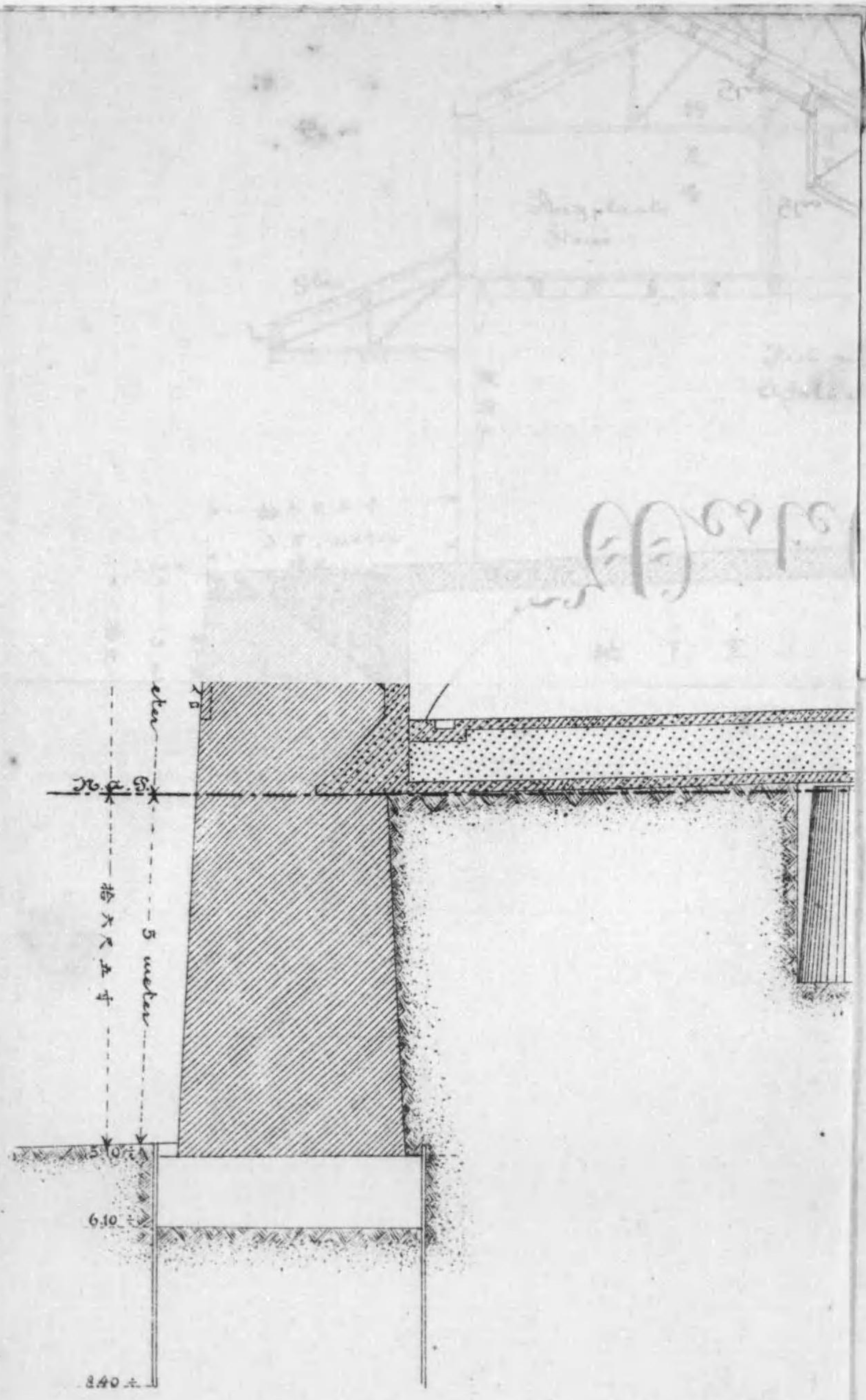
小ナル「セントラル」フエヤーリーダー」

等ヲ設備スルノミ

「ウキンチ」ハ船ノ約中央ニ据付ク

「ドンキーボイラー」ハ船艙内ニ据付ク

本船用「トロール」網ハ普通汽船「トロール」網ノ小型ナルモノニシテ何等ノ差ナシ「ヘッドライン」六十呎「グランドローブ」八十四呎ノ使用「ツワイン」ハ封度百八十「ヤード」三子撚ヲ使用ス



「オッターボード」ハ小型ナルハ長五呎幅三呎厚一時四分ノ一大型ナルハ長六呎六吋幅三呎六吋厚一時半等ニテ一定セス板ノ固メ方ハ普通汽船用ノモノト同一ナリ

「チエン」使用ト「ブラツケツト」使用トハ船主ノ意向ニヨル

引索ハ周二吋半鋼索ヲ使用ス

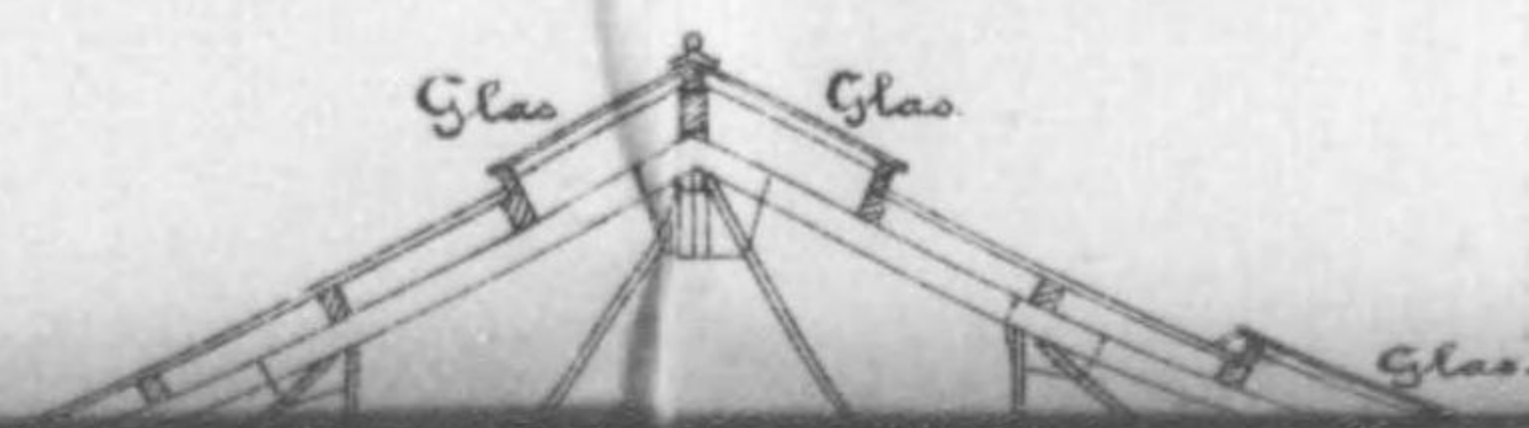
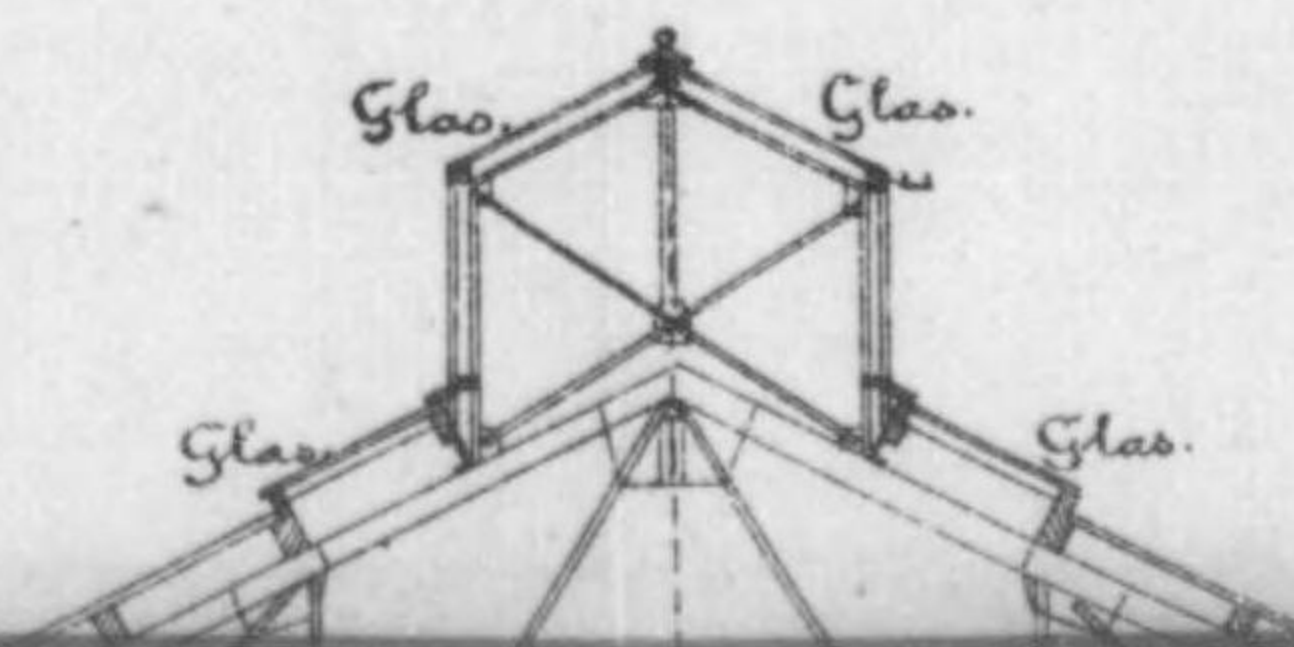
乗込員ハ五人ニシテ水揚高ノ四割ヲ得他ハ船主ノ收入トナス

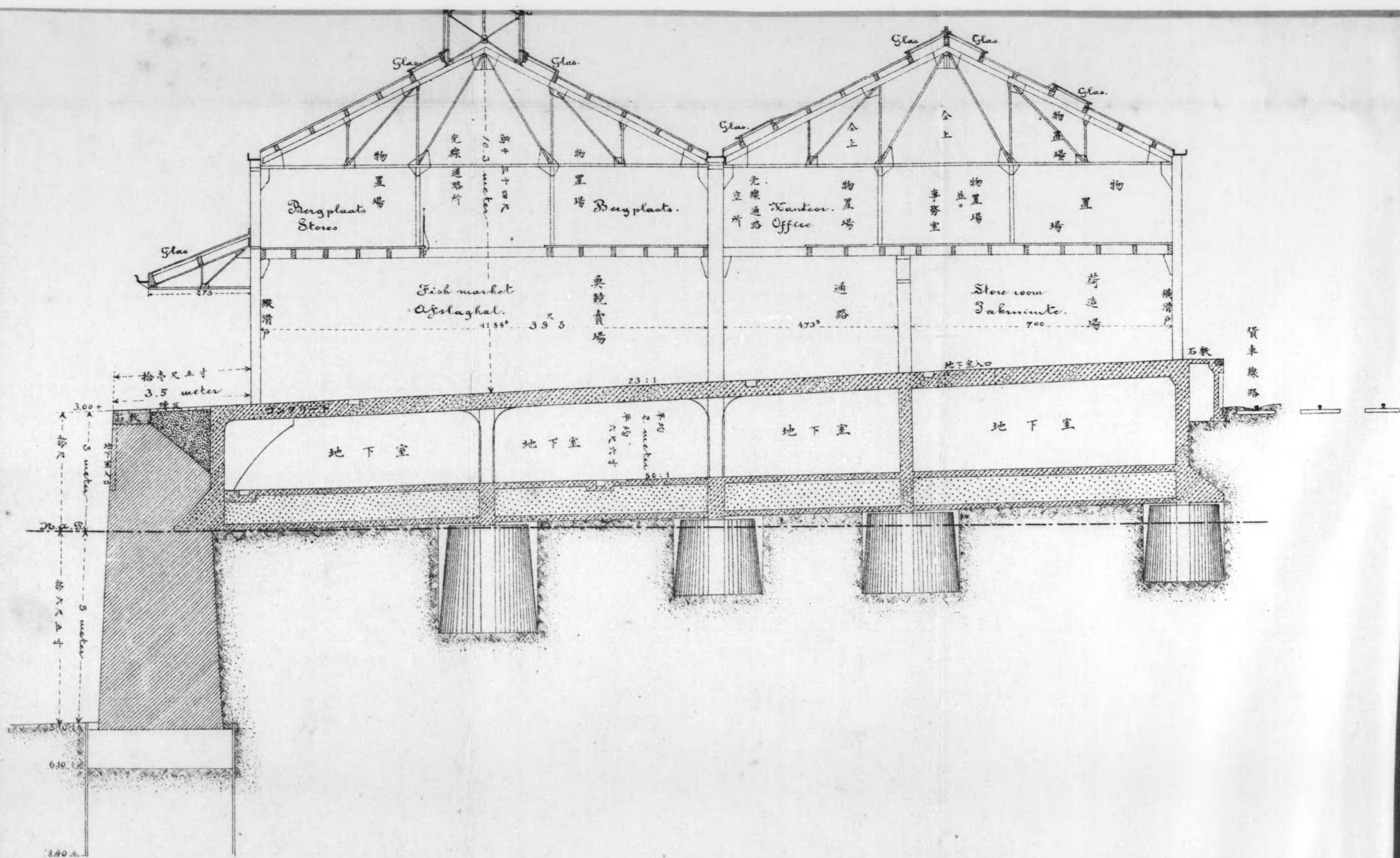
一航海期ハ普通八日間ニシテ出帆ノ際二噸ノ粉碎氷ヲ搭載シ魚類ヲ氷藏トナス

船ハ鋼製ニシテ（木製モアリ）當國規程（ロイドノ引寫）ヲ土臺トシ其ノ全部ヲ通シ約一割五分ノ寸法増加ヲナシテ製ス帆船ニシテ主橋ヲ倒スヲ以テ橋ノ前後ハ諸種ノ補強工事ヲ施セリ

Westelijke vischhal te Ymuiden.

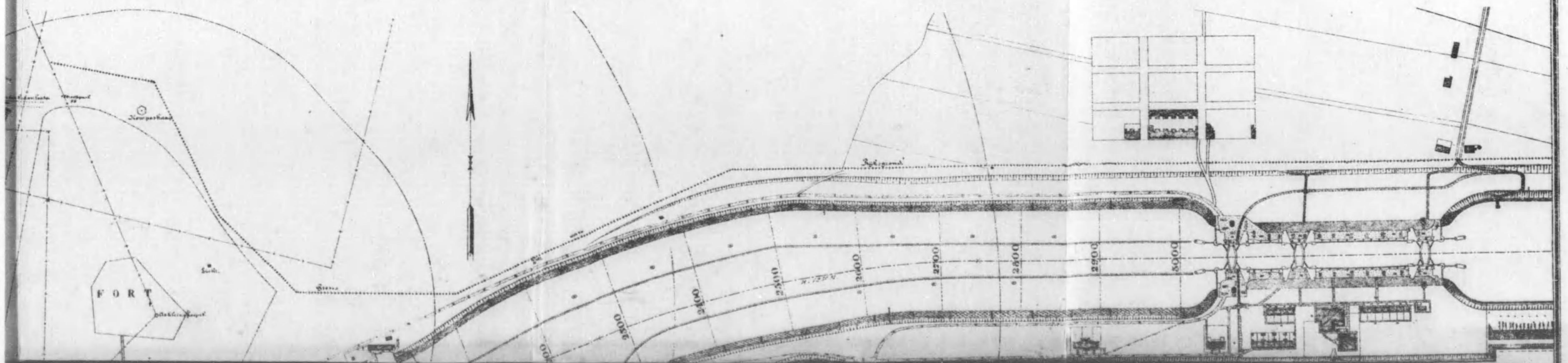
Schaal 1 à 500.



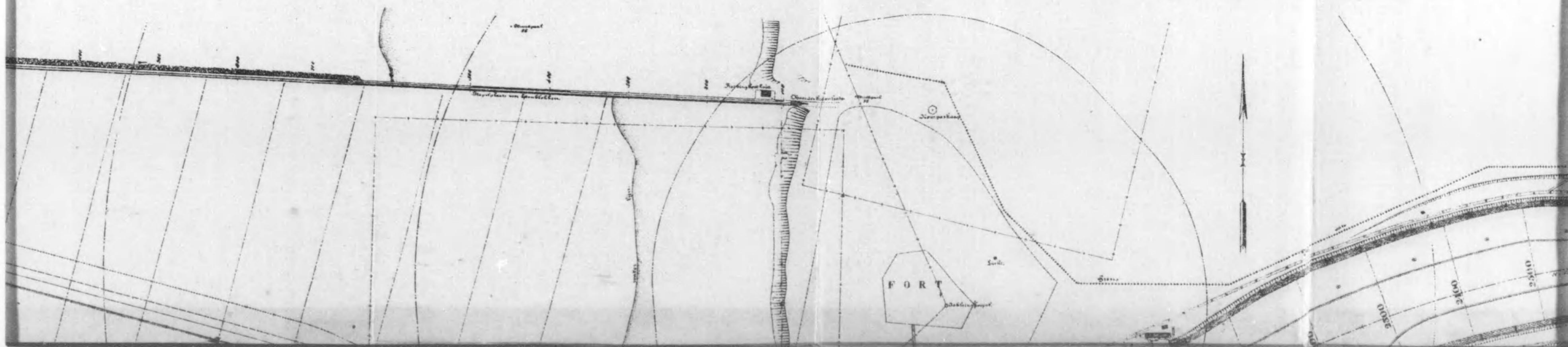


Bestek N^o 24 Dienst 1911-1916.

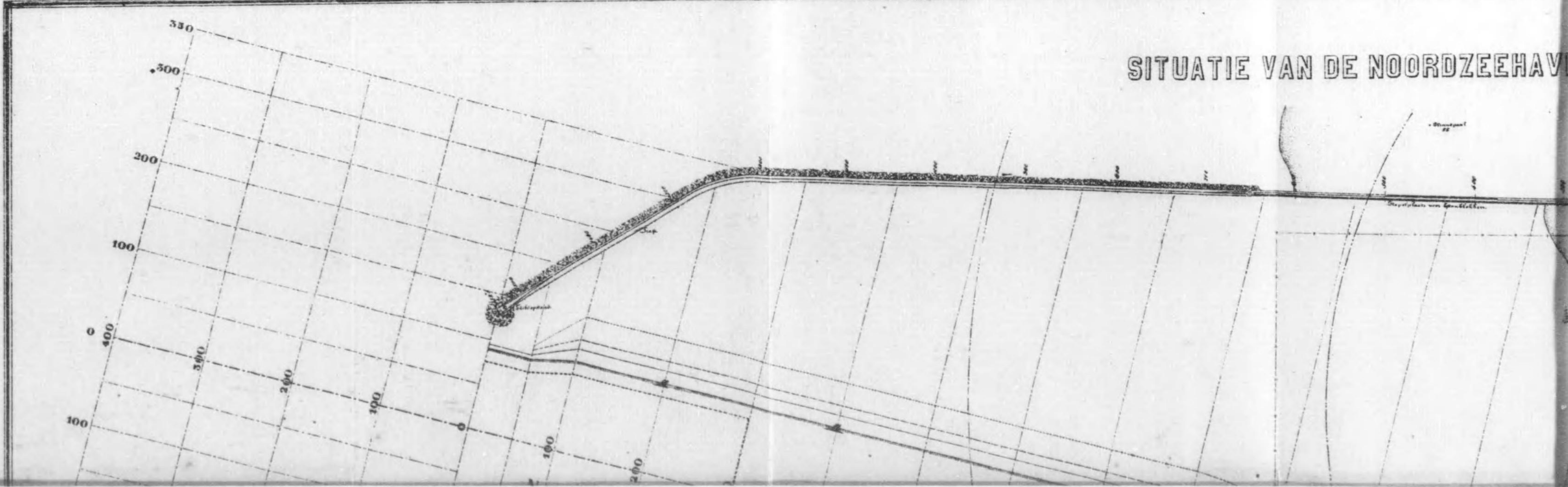
LEIDINGSKANALEN NAAR DE SLUIZEN TE IJMUIDEN.

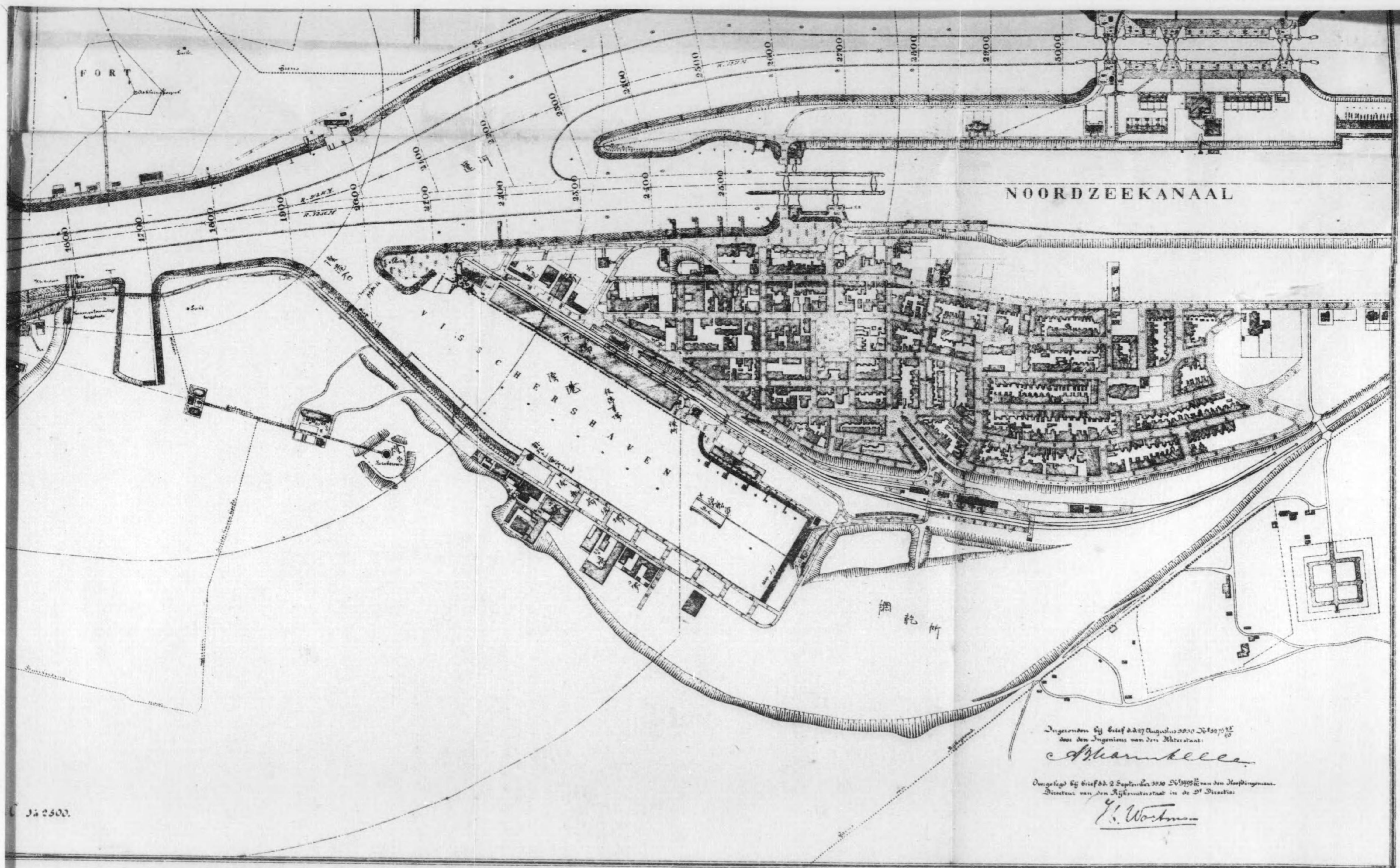


SITUATIE VAN DE NOORDZEEHAVEN MET DE TOELEIDINGSKANALEN NAAR DE SLUIZEN TE IJMUIDEN.



SITUATIE VAN DE NOORDZEEHAVEN





NOORDZEEKANAAL

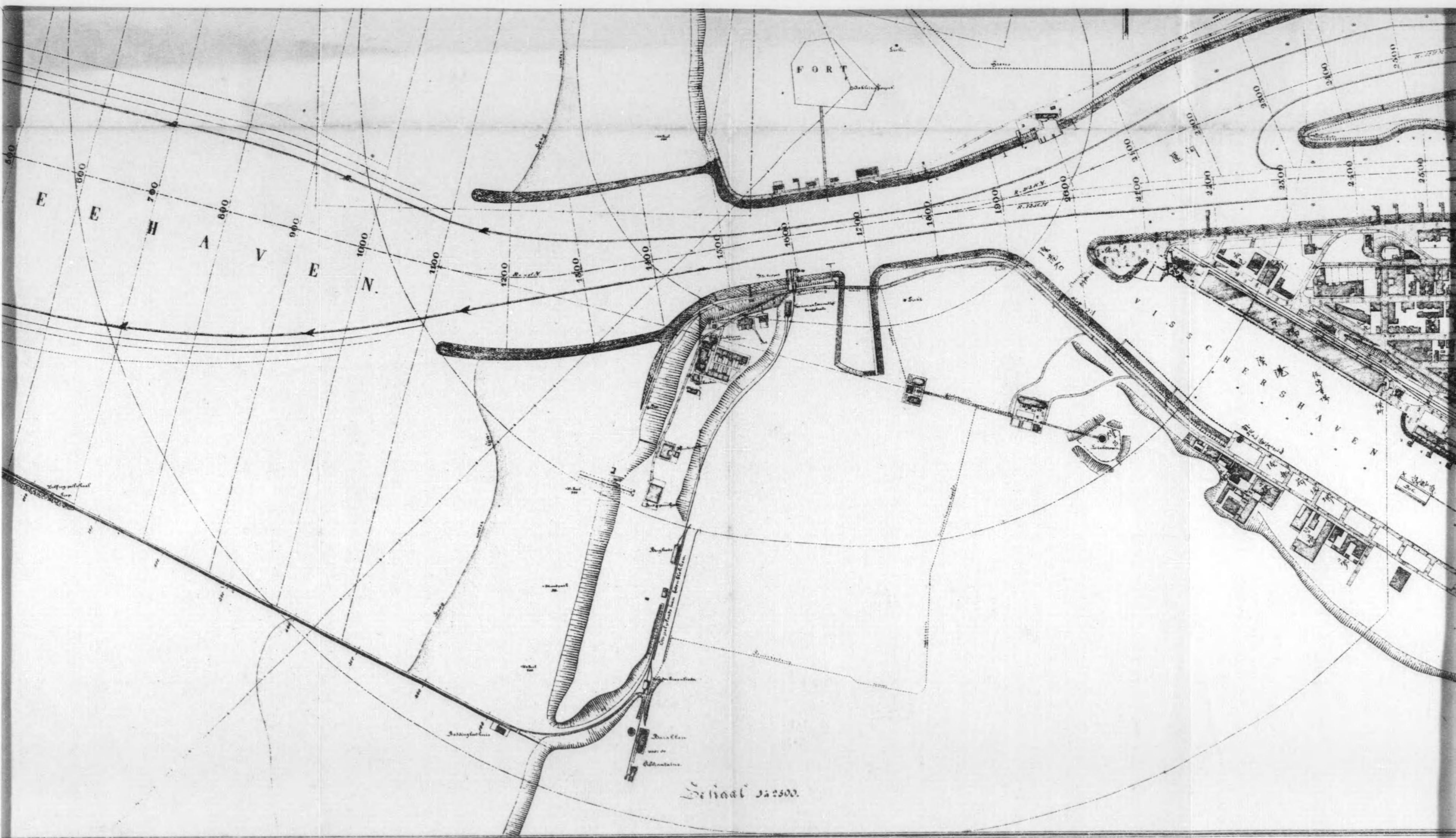
VISCHERS
HAVEN

酒 乾 所

Ingezonden bij brief dd. 27 Augustus 1850 N^o 1597/55
door den Ingenieur van den Waterstaat:
A. Hamblée

Omgeleed bij brief dd. 2 September 1850 N^o 1995/55 van den Hoofdingenieur
Directeur van den Rijkswaterstaat in de 2^e Divisie:
J. J. W. van der ...

Ja 2500.

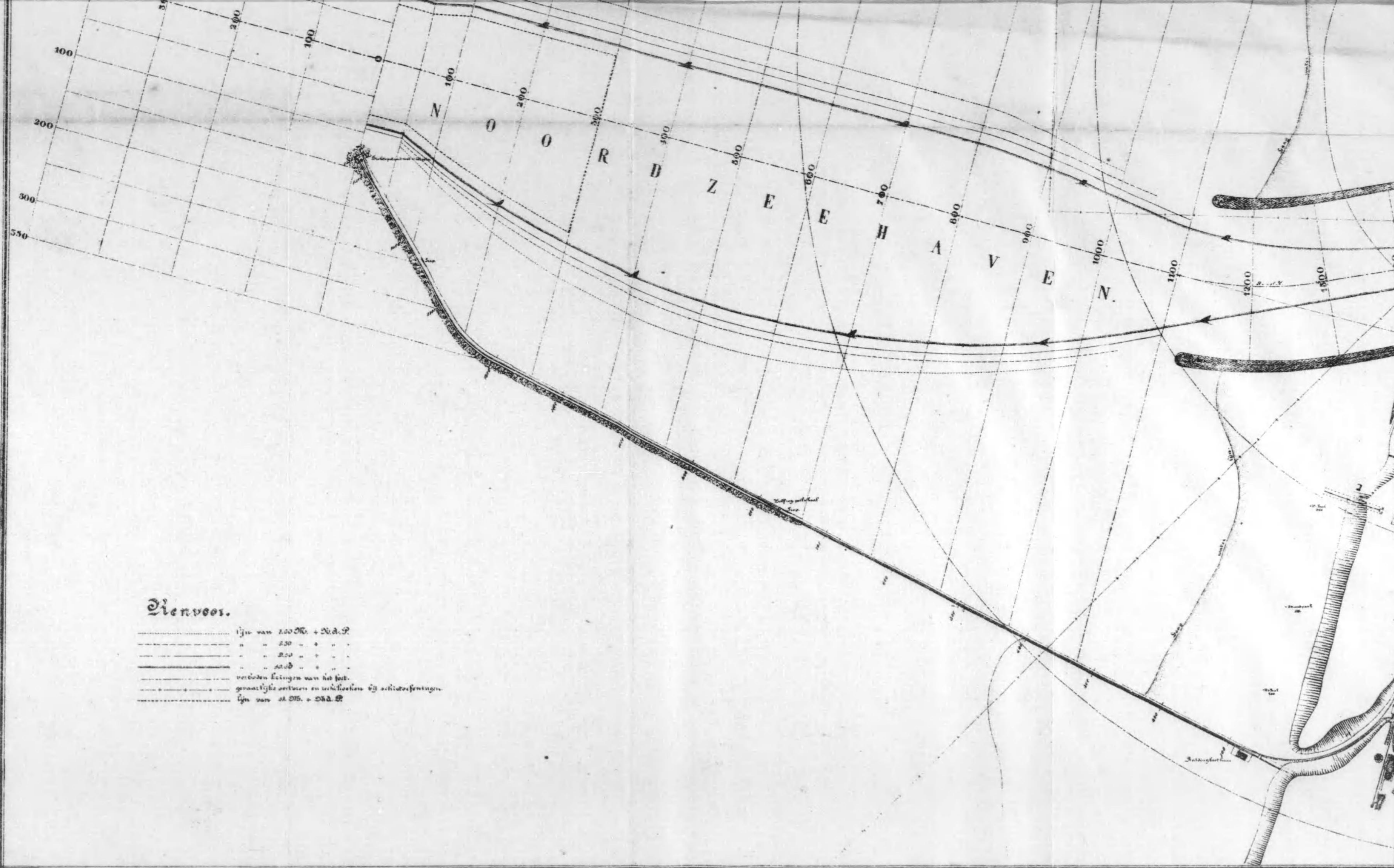


FORT

E
E
H
A
V
E
N

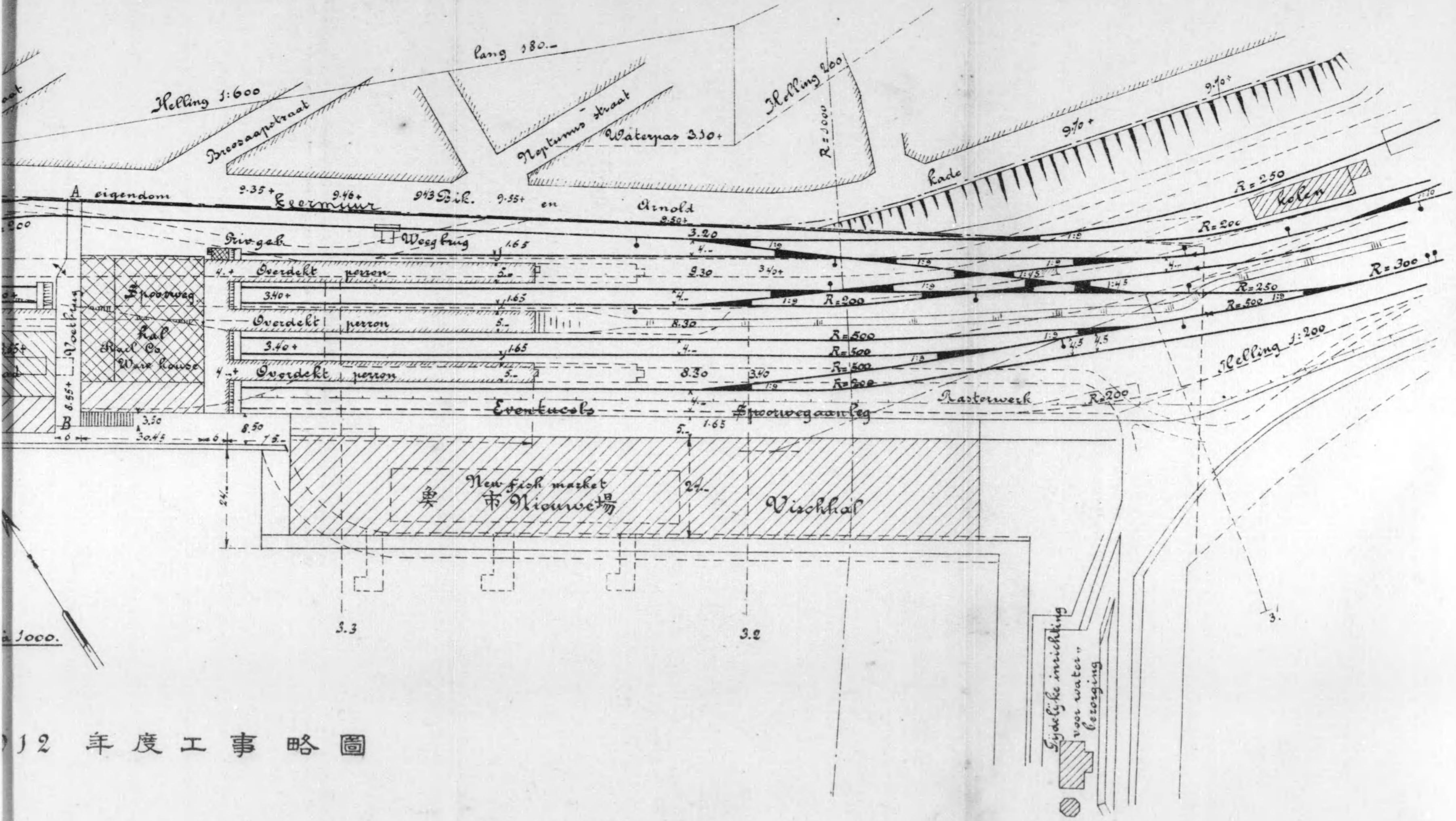
V
I
S
C
H
E
E
R
S
H
A
V
E
N

Schaal 22500.

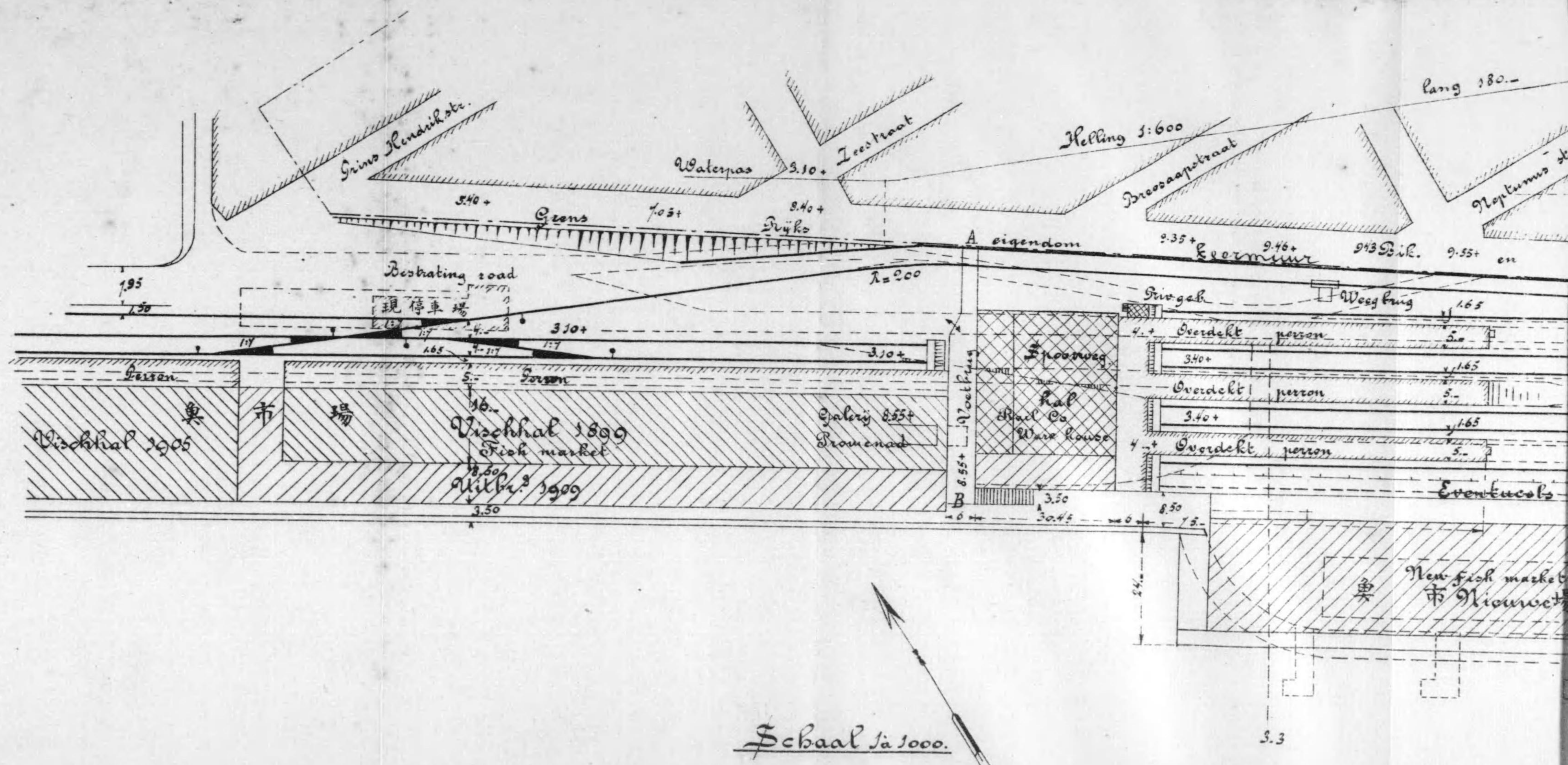


Kenveer.

- lijn van 200 Rk. + 20 A. P.
- " " 230 " " " "
- " " 250 " " " "
- " " 270 " " " "
- verboden lezingen van het voet-
- genaattijde oetwaren en verhoeken bij oelidatofentingen.
- lijn van 215. + 20 A. P.

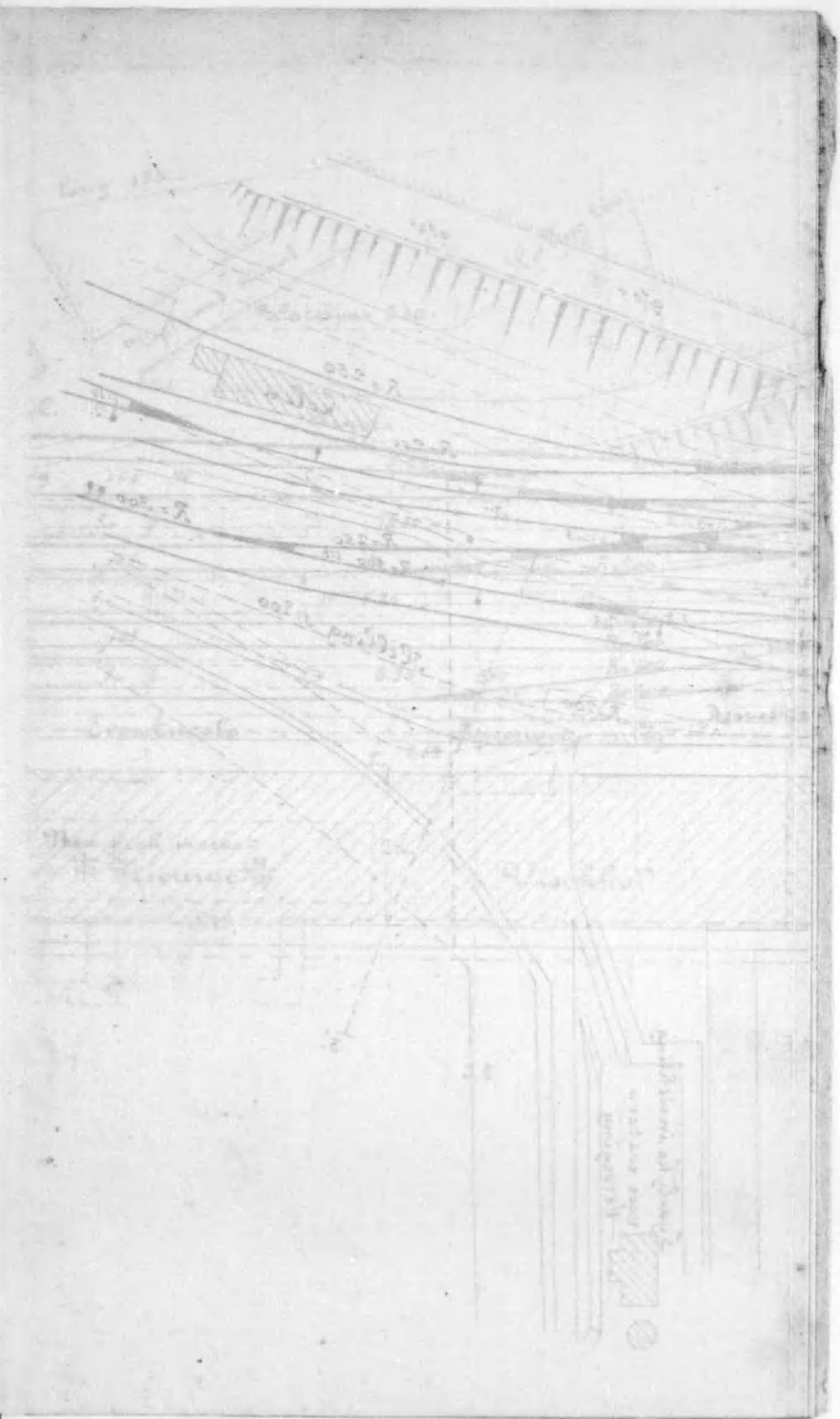


12 年度工事略圖



Schaal 1:1000.

1912 年度工事略圖



二 英國漁港及魚市場

(明治四十四年九月調査)

農商務技師 北原多作

(イ) セント、アイビス魚市場

セントアイビスハ英國ニ於ケル有名ナル鯧網漁村ナリコレウヲトル州ノ北岸ニ位シフリストル、チャネルニ臨メリ近年鯧魚群ノ來襲少キ爲メ漁況一般ニ不振ナルガ如シ其魚市場ハ港内ノ海岸ニ在リ雨蓋ノ備ヘ無シ其他何等設備ナシ唯魚商ノ倉庫及荷造場アルヲ見ルノミコレウヲトル州ハ一僻村ニ過キサレトモ鐵道ノ一支線ハ斷崖ニ沿ヒテ村ノ一端ニ來リ其停車場ハ魚市場ヲ距ルコト五六町ナリ魚荷ハ荷馬車ニテ停車場マテ運送ス道路甚平坦ナラス

競賣人トテ漁業者ト魚商人トノ間ニ立チテ魚荷ヲ取扱フ一種ノ商人アリ之レハ當州ノミナラス各州一般ニ見ル所ナルカ蓋シ漁業者ハ元來商業ニ暗ク而モ其漁獲物ハ可成速カニ處分シ次ノ航海ニ上ラサルヘカラサルカ故ニ信用アル仲人サヘアレハ之ニ其漁獲物ヲ依頼シテ賣却スルハ自然ノ情勢ナレハナリサレハ此仲人タル競賣人ハ何レモ地方ノ信用アル人又ハ漁業者間ニ於テ從來取引ノ關係アル人ニシテ魚商ノ狀況慣習ヲ知悉スル人ナラサルヘカラス他方面ヨリ新ニ來リテ競賣人タランコトヲ欲スルモ魚荷ヲ依頼スル漁業者ナキハ當然ノコトナリトス

セント、アイビス魚市場ニハ現今四人ノ競賣人アリ其數ノ制限アルコトナシ競賣人ハ賣上魚價一磅ニ付六片ヲ其手數料トシテ收得ス而シテ買手モ亦同上魚價一磅ニ付六片ヲ收得ス是レ頗ル奇ナル事ニシ

テ魚商ノ得手勝手ナル事ヲ爲シ漁業者ノ無智ニ乘スルノ情況ヲ見ルヲ得ベシ漁業者ハ前記ノ手数料ヲ拂フノ外ニ入港料トシテ更ニ六片ヲ村ニ拂ハサルヘカラス故ニ漁業者ハ結局一磅ノ漁獲物ヲ持テ來リテ十八志六片ヲ收得スルナリ此市場扱價格ハ一ケ年凡二萬乃至三萬磅ナリ

右入港料ハ築港費ノ方ヘ向ケラル、モノナリト云フ聞クトコロニ依レハ當セント、アイビス港ハ千八百八十九年政府ヨリ三萬二千磅ヲ借リテ築造シタルモノニシテ漁船其他ノ船舶ヨリ入港料ヲ徴シテ五十年間ニ返却スルノ見込ナリシモ爾來不漁ノ爲メ到底返濟ノ見込ナク村當局者ハ大ニ困却シ居レリ

(ロ) ブリクサム魚市場

フリクサムハ「トロール」漁業ノ母ト稱セラル、漁業専門ノ町ナリデボン州ニ在リ二個ノ高キ小山ノ間ニ插マレテ小灣ニ面セリ土地隨テ狹隘ニシテ田畝少ク漁業ヲ以テ重要ナル生計トセサルヘカラスナルノ狀況ナリ故ニ漁港ノ修築魚市場ノ整理等ハ往昔ヨリ不文律ニ依リテ正然タルモノアリ漁業者ハ皆自己ノ漁船ニ依リテ漁業ヲ爲シ他ノ漁村ノ如ク會社其他ノ資本家ノ船ヲ借リテ漁業ヲナスモノ殆ントナシト云フ

漁港並ニ魚市場ハ町有ニシテ（即チ漁業者ノ所有ニ屬スト云フモ可ナリ如何トナレハ漁業者ノ數多クレハナリ）各漁業者ハ賣上魚價一磅ニ付三片ヲ町ニ上納シツ、アリ之レハ漁港ノ修築費ニ當ツルモノニシテ已ニ二十五年前ヨリ實行セリ

競賣人ハ現今十二三人アリ資格數ニ制限アルコトナシ唯毎年十志ツ、町ニ上納スルノ義務アルノミナリ競賣人ノ收得スル手数料ハ賣上魚價一磅ニ對シ一志ナリサレハ漁業者ハ漁港費及手数料ヲ差引クトキハ魚價一磅ノ中十八志九片ヲ收得スル譯合トナルナリ

魚市場ハ内港岸ニ在リ其雨蓋ハ九十坪許アルヘシ此外陸揚場ハ其數倍モアリ敷石（砂岩ヲ用フ）ヲ布詰タリ雨蓋ノ柱ニ沿ヒテ水道口諸處ニ在リ市場終了後敷石洗滌ノ用ニ供セリ

鐵道ノ一支線當町ニ來ルモ其停車場ハ小山ノ上ニ在ルカ故ニ魚荷ハ荷馬車ニテ急坂ヲ上ラサルヘカラス其距離ハ三四町位ナラン何卒此鐵道トノ聯絡ヲ改良シタシトハ當町有志者ノ言ナリ漁港モ内港ノ分ハ干潮ノ際ニハ大部分干潟トナルカ故ニ漁船ノ過半ハ外港ニ碇泊シ其漁獲物ヲ小舟ニ積ミテ内港ニ運搬スルノ不便アリ

魚市場ノ取締規則トシテハ無シ此市場扱高ハ一ケ年凡三千噸位ナラント云フ

(ハ) ヤーマウス魚市場

ヤーマウスハノーフォーク州ヤール河口ニ在リ「ブロータリ」（燻製鰵ノ一種）ヲ以テ有名ナル所ナリ漁港ハ其河内ニ在リ魚市場ハ該漁港ノ一邊ニ位セリ從來漁港ハ漁港委員カ管理シ魚市場ハ市參事會ニテ管理シ來リシカ次年度ヨリハ新機關ヲ組織シ之ニ依リテ港ト市場ヲ同一ノ管理ニ屬セシメントスル筈ナリト云フ右新機關ノ委員ハ上流ノノーウィッチ町ヨリ河口ニ至ル間關係町村並ニ漁業主ヨリ三四

名ツ、ヲ選舉シテ之ニ當ツルコトニナレリ此主旨ハ同一機關ヲ以テ港ト市場ヲ管理スルトキハ双方トモ事務處理上ノ都合モ宜シカルヘク經費支出、港、市場ノ改善等ニモ都合宜シカラント云フニ在リ尙長千呎幅三百呎許ノ「ドック」(繫船場ノ意)ヲ新ニ穿タントノ計畫モアリ(此改革ハ隣接

エストフト漁港ト競争ノ氣味モアルカ如シ) 現今市場ノ雨蓋ハ長二百間許ニ亘リ幅十二三間アルモ秋期鯨ノ盛漁季ニハ其下流ノ沿岸沙濱一面ニ市場ト化スルナリ此鯨ノ鹽漬ハ汽船ヲ以テ直ニ輸出スルカ故ニ鐵道ノ便ヲ藉ルコト少シ鐵道ノ一支線ハ市場ノ傍ラニ來ルモ多クハ石炭食鹽其他漁船ニ必需品ヲ運搬スルニ過キスト云フ

競賣人ハ十數人アリ今年ハ十六人アリト云フ其許可手數料ハ十磅ニシテ雨蓋下ノ事務所貸賃ハ一ケ年十二磅乃至十五磅ナリ而シテ競賣人ハ賣上高ノ百分ノ五ヲ收得ス買手ハ二百人以上モアリ鯨ノ漁季ニハ露國人、獨逸人等モ來集ス競賣人中ニハ漁船製造ナトノ爲メニ漁業者ニ金ヲ融通シ其漁獲物ヲ取扱フノ約束ヲ爲スモノアリ

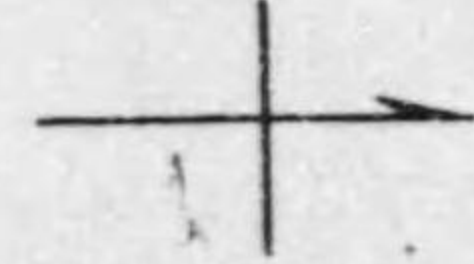
漁船主ハ一隻ニ付毎年一磅十志ヲ市ニ收メ且ツ漁獲物一「ラスト」(鯨一萬三千二百尾即チ二十籠)ニ付二志六片ヲ漁港委員ニ拂フ尙買手ハ市場ニテ鹽漬ナトナス場合ニハ二千平方呎ニ付一ケ年二十磅ヲ市ニ支拂ヘリ

此漁港及魚市場ハ他ニ比較シテ凡テノ料金高ク且ツ其割ニ設備完カラス其狀況近傍ノローウエストフトニ劣ル所アリ今回市當局者ニテ之レカ改善ヲ必要ト認メ管理方法ヲ改メントスルモ故ナキニアラサ

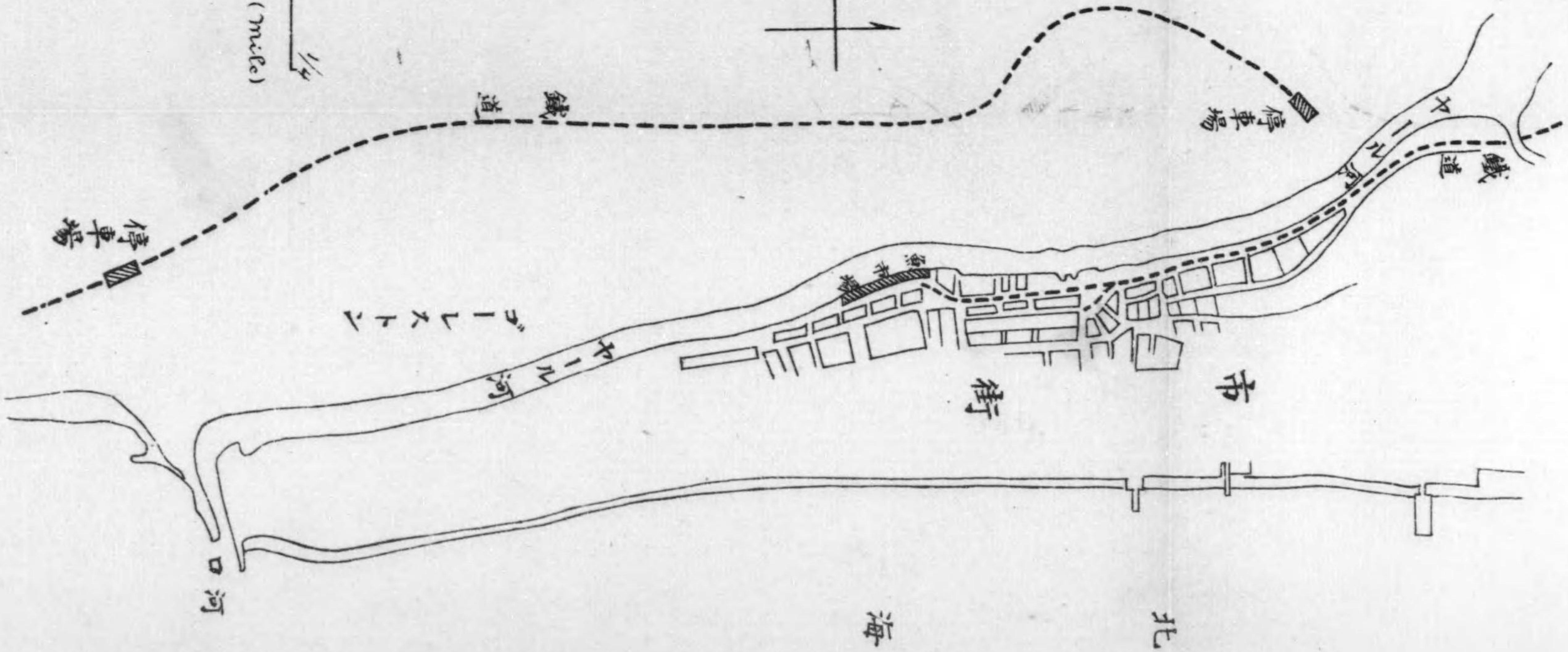
ロウエストフト魚市場地圖

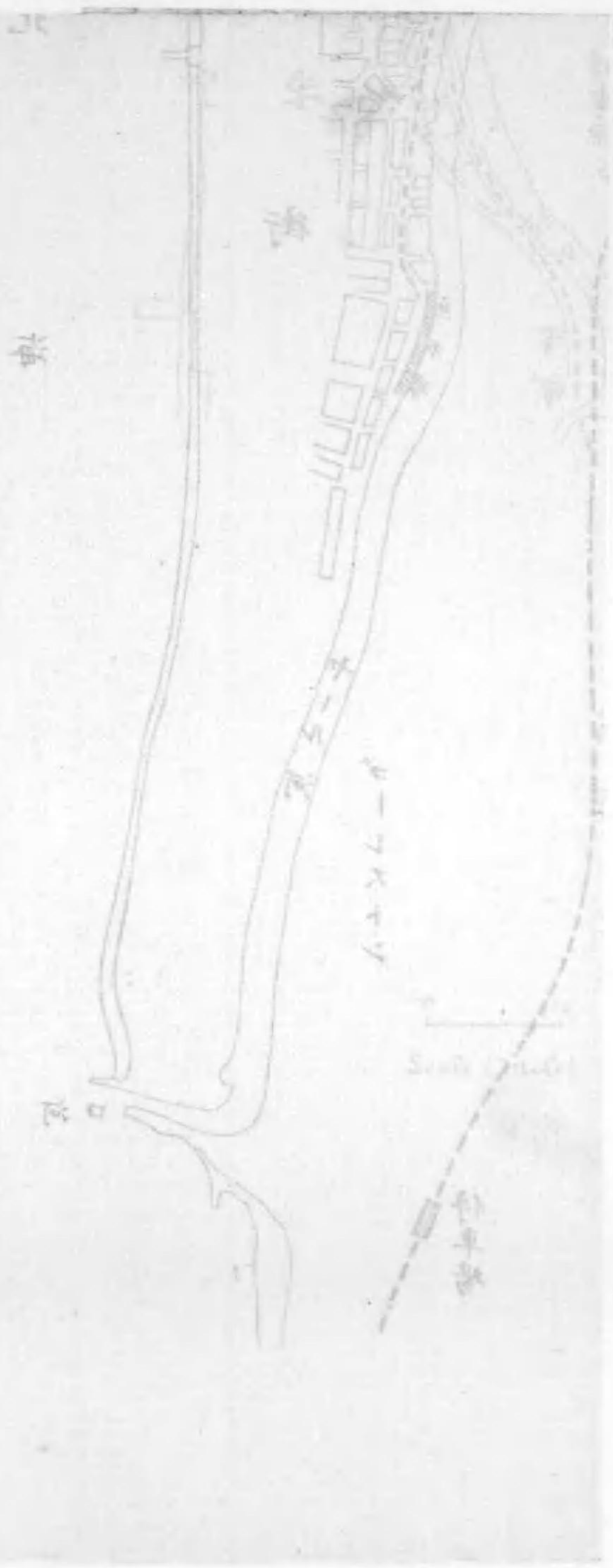


中ノノウノ港及魚市場略圖



Scale (miles)
0 1/4





ルナリ

魚市場取締規則アリ(左記ノ通)此魚市場扱高ハ鯨ノミニテモ一ケ年凡二萬五千噸ニ達シ日々ノ扱高最多ハ百三十噸ニ及フト云フ

グレート、ヤーマウス魚埠頭及軌道法 (一千八百六十六年)

(一千八百六十六年ノ法律及ヒ一千八百九十年ノ暫定命令ノ摘要(漁船ノ船長及ヒ水夫并ニ其ノ他ノ者ノ參考トシテ)及ヒ當該自治體ノ制定ニカ、ル施行規則)

一千八百六十六年ノ法律

第十九條 當該自治體ハ本法ニ基キテソノ時々設定シ取得シ及ヒ供給シタル魚埠頭軌道渡船場工場并ニ便益場ヲ時々維持シ管理シ及ヒ處辨スルコトヲ得又右ノ使用者ヲ管理シ又本法ノ規定ニ從ヒテ當該埠頭ニ於ケル魚ノ取引ヲ管理スルコトヲ得

第二十四條 埠頭長ハ左ノ目的ノ全部又ハ一部ニ對シテ指揮ヲナスコトヲ得

- (A) 魚貨物又ハ物品ノ荷上ヲナシ又ハ之レヲ積込ミタル船舶ヲ其權力内ニアル魚埠頭又ハ場所ヨリ撤去スルコト
- (B) 其權力内ニアル魚埠頭又ハ場所又ハ陸若クハ水ヨリ之レニ通スル入路ノ自由通行ヲ妨クル凡テノ物ヲ之レヨリ撤去スルコト

(C) 魚埠頭ニ又ハ之レヨリスル荷馬車ノ出入ヲ管理シ并ニ其場内ニ於ケル荷馬車ノ停留場ヲ管理スルコト

(D) 魚埠頭内ニ於ケル魚貨物、籠、網又ハ其他ノ物ノ置場及ヒ之レヲ魚埠頭内ニ留ムルコトヲ得ヘキ時間ヲ管理スルコト

第二十五條 本法ノ目的ニ對スル埠頭長ノ管轄區域ハ左ノ如シ

本法ニヨリテ認メラレタル魚埠頭及ヒ當該自治體カ港ノ東岸ニ付キテ指定スル部分及ヒ陸ヨリ之レニ通スル入路及ヒ魚埠頭ノ何レノ部分ヨリスルモ六十呎以内ニアル港内ノ凡テノ場所

第二十六條 埠頭長ノ有スル障碍物ノ撤去權ハ其管轄區域内ニアル魚埠頭及ヒ陸上并ニ港内ニ於ケル之レニ通スル入路ニ對スル障碍物ノ除去及ヒ本法又ハ本法ニ基キテ制定セラレタル取締規則ニヨリテ許容セラル、時間以上ニ魚埠頭又ハ之レニ通スル入路ニ於テ殘留スル魚貨物若クハ物品ノ除去ニ及フモノトス

第二十七條 埠頭長ノ管轄區域内ナル魚埠頭又ハ場所ニ於ケル各船舶ノ長及ヒ荷馬車ノ御者及ヒ魚貨物又ハ物品ノ所有者若クハ看守人ハ本法ニ從ヒテ埠頭長ノナス指揮ニ從フヘシ若シ之レニ反スル者ハ各々ノ侵犯ニ對シテ五磅以内ノ過料ニ處ス而シテ埠頭長ハ該船舶魚貨物若クハ物品ヲ撤去スルコトヲ得而シテ又ソノ撤去ノ費用ハ該侵犯者ヨリ埠頭長ニ支拂フヘキモノニシテ本法上過料取立ノ手續ニ準シテ之レヲ取立ツルコトヲ得

第二十八條 凡ソ船舶ハ魚貨物、網又ハ其他ノモノヲ陸上シ若クハ積込ム爲メニ必要ナル時間以上ニ魚埠頭ニ留マルコトヲ得ス若シ船舶ニシテ右ノ目的ノ爲メニ必要ナル時間以上ニ魚埠頭ニ留マリ若クハ魚貨物、網又ハ其他ノモノヲ荷上シ若クハ積込ムコトヲ爲サスシテ魚埠頭ニ繫留又ハ碇泊スル時ハ之レニ對シテ埠頭長ノ許諾アリタル場合ノ外船長又ハ所有者ハ其支拂フヘキ課税ノ外各々ノ侵犯ニ對シテ二磅以下ノ過料ニ處セラルヘシ而シテ尙ホソノ侵犯ノ繼續中ノ每一時間船舶ノ登簿噸數每一噸ニ對シテ一「ペンニー」ノ割ニテ過料ニ應セラルヘシ若シソノ侵犯ノ繼續時間ニシテ一時間未滿ナル時ハ右ノ比例ニヨリテ過料ニ處セラル、モノトス

第二十九條 凡ソ船舶ハ鯨ノ漁獲期中ニ限リ豫メ埠頭長ノ許諾アルニ非ラサレハ如何ナル事情ニヨルモ魚埠頭ニ於テ魚貨物、網又ハ其他ノ物ノ荷上若クハ積込ノ爲メニ十時間ノ勞働時間以上ニ留マルコトヲ得ス而シテ埠頭長ハ右ノ時間ノ經過後何時ニテモ船舶ヲ撤去スルコトヲ得但シ何人モ右ノ撤去ニヨリテ本法ニ基ク過料ヲ免カル、モノニ非ラス

第三十條 日曜日ニ於テ左ノ行爲ヲナシタルモノハ各々ノ背反行爲ニ對シテ其初犯ナル時ハ十「シリング」以下累犯ナル時ハ四十「シリング」ノ過料ニ處ス而シテ鯨荷馬車又ハ籠ノ所有者モ亦同シ而シテ其過料ハ之レヲ累積ス

(A) 當該市ニ於テ卸賣又ハ競賣ニヨリテ鯨ヲ販賣シ又ハ販賣ノ爲メニ陳列シ若クハ販賣セントスル時

- (B) 右ノ補助ヲナシタル時
- (C) 鯨又ハ籠ヲ運搬スル時
- (D) 右ノ補助ヲナシタル時

第三十一條 左ノ一ニ該當スル者ハ五磅以下ノ過料ニ處ス

- (A) 鯨ノ漁獲期中埠頭長ノ許諾ナクシテ漁業ニ使用セサル船舶ヲ魚埠頭ニ繫留スル者
- (B) 埠頭長ノ許諾ナクシテ水ヨリ魚埠頭ニ通スル入路ニ於テ又ハ之レニ對シテ筏又ハ其他ノ障碍物ヲ繫留シ若クハ設置シ以テ船舶ノ道路ヲ阻碍シタル者
- (C) 埠頭長ノ許諾ナクシテ船舶ノ繫纜ヲ切斷シ又ハ毀損シタル者及ヒ權限ナクシテ船舶ノ繫纜ヲ投棄シ又ハ弛緩スル者
- (D) 埠頭長ノ許諾ナクシテ脚荷ヲ魚埠頭ニ投棄シ又ハ置クモノ
- (E) 魚埠頭ニアル揭示板、規則又ハ告示ヲ取壞シ毀損シ又ハ塗抹スル者
- (F) 魚埠頭ニ於ケル船舶又ハ荷馬車ノ荷役ニ從事セルモノヲ故意ニ妨碍スル者

第四十八條 船主又ハ船長並ニ魚埠頭ニ移送セラレテ此處ニ於テ陸揚セラレ荷卸セラレ又ハ船積セラレ又ハ陸揚セラレントシ又ハ荷卸セラレントシ又ハ船積セラレントシ又ハ本法ニ基キテ課稅セラレヘキ魚若クハ貨物ノ所有者、販賣人又ハ看守人ハ收入役ノ請求アル時ハ之レニ對シテ其魚又ハ貨物ノ所有者販賣人若クハ看守人ノ氏名又ハ其魚又ハ貨物ノ交付セラレヘキ人若クハ船舶ノ氏名若クハ

船名及ヒ其魚又ハ貨物ノ分量、種類、數及ヒ重量ノ眞實ナル計算ヲ陳述スヘシ而シテ又收入役ニ對シテ凡テノ船荷證券、販賣帳、計算書及ヒ其魚若クハ貨物ノ荷揚、交付、分量、種類、數、重量及ヒ販賣ニ關スル書類ヲ呈出スヘシ若シ本條ノ規定ニ背反シ若クハ船荷證券、販賣帳、計算書又ハ書類ニ對スル收入役ノ適當ナル檢閲ヲ妨クル者ハ各々ノ侵犯ニ對シテ五磅以下ノ過料ニ處ス

第五十三條 本法ニ基キテ當該自治體ニ對シテ納稅義務ヲ有スル者納稅ヲ拒ミ若クハ之レヲ怠リタル時ハ收入役又ハ收稅ノ任ニアルソノ他ノ者ハ斯ノ納稅義務ヲ生スルニ至リタル船舶及ヒ其索具屬具器具並ニ糧食ノ全部又ハ一部及ヒ魚貨物又ハ其他ノ物ヲ其發見セラレタル場所ノ如何ヲ問ハス差押フルコトヲ得又右ノ納稅義務者ニ屬スル物ニシテ當該市内ニアル其他ノ魚貨物又ハ物品モ之レヲ差押フルコトヲ得而シテ該課稅並ニ差押及ヒ留置ノ費用ノ支拂アル迄差押物ヲ留置スルコト得右ノ船舶貨物又ハ物品ニシテ其差押アリタル後七日以内ニ請戻サレサル時又ハ右ノ魚ニシテ其差押アリタル後三時間内ニ請戻サレサル時ハ賣却セラル、モノトス而シテ收入役ハ其賣得金ヲ以テ未納稅及ヒ右ノ差押留置並ニ賣却ノ費用ニ充當スルコトヲ得若シ剩餘アル時ハ請求次第之レヲ右ノ船長又ハ魚貨物若クハ物品ノ所有者ニ返還スヘキモノトス

第五十四條 收入役ハ船舶又ハ其内ニアル魚若クハ貨物ニ關スル納稅額ヲ決定スルカ爲メニ單獨ニ又ハ他ノ者ト共ニ何レノ船舶ニモ立入ルコトヲ得

第六十條 本法ニ於テ其徵收ヲ認可セラレタル船舶稅ハ凡テ其納稅義務ノ發生スルニ至リタル船舶ノ

船長又ハ所有者之レヲ支拂フモノトス而シテ本法ニヨリテ其徴收ヲ認可セラレタル其他凡テノ課税ハ其納税義務ノ發生スルニ至リタル魚又ハ貨物ノ所有者販賣人又ハ看守人又ハ之レヲ積込ミ若クハ荷揚シタル船舶ノ船長又ハ所有者之レヲ支拂フモノトス

第六十二條 本法ニ基キテ當該自治體ニ對シテ支拂ハルヘキ課税及賦課ハ請求次第收入役又ハ當該自治體ニヨリテ時々任命セラル、其他ノ者ニソノ命スル方法ニ從ヒテ納付スヘキモノトス

第六十四條 本法ニ基キテ支拂ハルヘキ課税市場税又ハ賦課ノ支拂ヲ苟クモ逋脱シ又ハ逋脱ノ補助ヲナシ又ハ逋脱ヲ企テタル者又ハ之レヲ免除セラル、ノ權利ナクシテ之レカ免除ヲ請求シ又ハ適法ニ請求セラレタル時ニ於テ其支拂ヲ爲ササル者ハ各々ノ侵犯ニ對シテ二磅以下ノ過料ニ處シ尙該未納額又ハ逋脱額ノ二倍ヲ課スルモノトス

第七十七條 當該自治體ノ有スル魚埠頭軌道橋梁又ハ其他ノ工作物若クハ財産又ハ之レト關聯シ又ハ當該自治體ノ管理シ若クハ維持シ或ハ其賃借人ニヨリテ管理セラレ又ハ維持セラル、凡テノ工作物ニ對シテ毀害ヲ加ヘタルモノハソノ毀害ニヨリテ生シタル損失及ヒ其毀害又ハ其結果ノ修理ニ付キテ當該自治體ノ被リタル凡テノ費用及ヒ負擔ヲ當該自治體ニ對シテ賠償スルコトヲ要ス而シテ尙各々ノ毀害ニ對シテ五磅以下ノ過料ニ處セラルヘシ

一千八百九十年ノ暫定命令ノ摘要

第十五條 一千八百六十六年ノ法律ニ基キテ當該自治體ニヨリテ任命セラレタル埠頭長ハソノ法律ノ

第二十四條ニ規定スル指揮ノ外向左ノ目的ノ全部又ハ一部ニ對シテ指揮ヲナスコトヲ得

(A) 船内ノ魚カ即刻交付セラレ得ルノ用意アルニ非ラサレハ魚埠頭上ノ假小舎ノ前面ノ錨地ニ船舶ノ碇泊スルコトヲ禁止スルコト

(B) 魚埠頭上ノ假小舎ノ北方魚埠頭ノ岬角ニアル荷揚場ニ鯨ノ荷揚ヲ禁止スルコト

(C) 魚埠頭上ノ假小舎ノ前面ニ碇泊中荷物網又ハ魚以外ノ物ヲ船積シ又ハ荷上スルコトヲ禁スルコト

(D) 魚ノ荷上ニ必要ナル時間以上ニ魚埠頭上ノ假小舎ノ前面ニ船舶ノ停マルコトヲ禁止スルコト

第十六條 一千八百六十六年ノ法律ノ第二十七條ハ本令ニヨリテ與ヘラル、指揮ニ適用セラル、モノニシテ本令ニヨル指揮ハ宛カモ右ノ法律ニヨリテ與ヘラル、カ如シ而シテ本令ニ基ク指揮ハ右ノ法律ノ第二十八條ト稍々背馳スル所アリト雖トモ尙許容セラル、モノトス

同施行規則

第一條 漁船ハ埠頭長ノ明示ノ許可アルニ非ラサレハ埠頭長室ノ北方ニ於テ鯨ヲ荷揚スルコトヲ得ス又漁船ハ其鯨ヲ荷揚シタル時ハ直ニ假小舎ノ前面ノ荷揚場ヲ去ルヘシ埠頭長ノ可ナリト思考シタル時亦同シ

第二條 凡テ船舶ハ其船首ヲ荷揚場ニ繫留シ又埠頭長ノ命スル錨地ニ碇泊スヘシ

第三條 凡ソ埠頭ニ於テ碇泊スル船舶ハ其「ローワーヤード」ヲ上ケ右舷ヲ起シ「ランニングバウスブリット」ヲ「ジツブーム」ニ結付ケ又「フライイングジツブーム」アル時ハ之レヲ「キヤツプ」ニ緊密ニ結付ケ「メインブーム」又ハ「アウトリツツガー」ヲ取脱シテ之レヲ「タフレール」ト平ニ結付ケ「スタツチング、セール、ブーム」及ヒ「アイアン」ヲ帆桁ヨリ取離シ錨ト其「ストック」トハ之レヲ前甲板ニ置クヘシ又若シ可能ナラハ「キヤトヘッド」ヲ取脱シ「トツブセールヤード」ハ右舷ノ上ニ上ケ「ブレイス」ハ之レヲ弛ムヘシ

第四條 各種ノ荷馬車及ヒ車ハ假小舎ノ南端ヨリ又ハ假小舎ノ東側ニアル入口ノ一ヨリ假小舎ト河トノ間ニアル道路ニ入ルヘシ而シテ荷積ヲ終ハリタル時ハ假小舎ノ北端ヨリ出ツヘシ

第五條 公ノ浮貼^{ハフツ}ノ外埠頭長ハ假小舎ノ柱又ハソノ他ノ部分ニ浮貼ヲナスコトヲ禁止ス埠頭ニ於テ埠頭長ノ適法ナル命令ニ従ハサル者ハ凡テ五磅ノ過料ニ處セラルヘシ而シテ此過料ソノ後嚴重ニ之レヲ強制セラルヘシ

(依 命)

市 書 記

エツチ、エイ、ミリングトン

(ニ) ビリングスゲート魚市場

是レ世界ニ有名ナル倫敦市ノ魚市場ニシテ倫敦市ヲ貫流スルテムス河左岸倫敦橋ノ稍下流ニ在リ市有ニシテ**コオボレーション、ラフ、シチー**ノ管理ニ屬ス其面積七百五十坪許アリ世界ノ大魚市場トシテ意外ニ狹隘ナルヲ感ス當事者ノ談ニ依レハ現在ノ二倍ノ面積ヲ必要トスルモ土地狹隘ニシテ如何トモ致方無シト云フ床下ハ空箱物置、便所等ニシテ二階ノ一部ニハ監督室アリ一般ノ賣場ハ敷石(砂岩)ヲ詰メ水道口數ヶ所ニ在リテ洗濯ニ便セリ

競賣人ハ二百三十人許アリ此等ノ人ハ各一定ノ「スタンド」(賣場)ヲ市ヨリ借受ケ借貸ヲ市ニ拂ヘリ借賃ハ場所ノ善惡ト面積ノ廣狹ニヨリ差異アリ一平方呎一週間九片以下ノ定メニシテ現今ニテハ最高八片最低六片ナリト云フ二階ノ一部ニハ競賣人ノ事務所アルヲ見タレトモ多クハ空室ニシテ使用セラレ

競賣人ハ各地方漁港ノ魚市場ニ於ケル買手ヨリ直接ニ取引ヲナシ委託販賣様ノコトヲ爲サス唯「**ミルフォード**」又ハ「**フリート、ウード**」等ノ如キ新漁港ニハ未タ相當ノ買手ナキ爲メ此等ノ漁港ヨリ送リタル魚荷ハ競賣ノ後手數料ヲ差引計算スルモノアリ其手數料ハ千分ノ二十五ナリ

今年六月ノ統計ヲ見ルニ合計一萬四千六百五十四噸ノ輸入アリ一週間平均三千五百噸ヲ取扱ヒタルヲ知ル一ケ年合計ハ凡二十萬噸許ニシテ一日平均五六百噸ナルヘシト云フ此莫大ナル魚荷ノ三分ノ二ハ鐵道ニヨリテ市内各停車場ニ着シ夫レヨリ荷馬車ニヨリテ市場マテ運搬セラル此荷馬車ハ凡三噸餘積ニシテ毎朝百五十臺位市場ノ前ニ並列ス此外買手ノ運搬車アリ荷運人夫ノ往來スルアリ朝十時頃迄ハ

非常ニ雜鬧ヲ極ム魚荷ノ三分一ハ申迄モ無クテムス河ヨリ輸入セラル是レ競賣人間ニ於テ組織セル
 會社ノ所有スル「トロール」凡四百隻ノ漁獲物カ五六十隻ノ運搬船ニヨリテ輸入シ來ルモノニシテ每朝
 數隻ノ河畔ニ横ハリ特別ノ「クレーン」並ニ荷運人夫ニ依リテ搬入セラル、ヲ見ルナリ
 此等魚荷ヲ輸入スル船舶及荷車ニ對シテハ夫々一定ノ輸入料ヲ市ニ徴ス此等ノ輸入料賣場料等ヲ合計
 スレハ年々市ニ收入スル金額ハ凡二萬磅ナリト云フ

此魚市場ノ取締規則ハ市ニ於テ定メタルモノアリ（左記ノ通）

尙當市ニハ別ニ魚商會社ト稱スル團體アリ古キ歴史ヲ有シ第十三世紀ノ頃已ニ存在シタリト云フ地所
 家屋等ノ財産ヲ有シ漁業上ニ關シ種々力ヲ添ヘツ、アリ往昔國王ノ特別命令ニ依リ當魚市場ニ於テ食
 用ニ供スヘカラサル魚ノ搬入アリタルトキハ直ニ之ヲ差押ヘ特別ニ設ケタル船ニ容レ封シテ他ニ運搬
 シ肥料トシ賣捌カシムル様監督スルノ特權ヲ與ヘラレタリ故ニ爾來ハ此會社ノ役人常ニ出張シテ其義
 務ヲ盡セリ但シ此義務ニ對シテハ何等ノ報償ヲ直接ニ受タルコトナシト云フ

ピリングスゲート魚市場取締規則

信仰ノ保護者グレートブリテン及ヒアイルランド合衆王國女王ビクトーリア治世第三十九年即チ紀
 元一千八百七十六年四月二十七日ニ於テ帝國議會議員市長井リヤム、ジエームス、リツチモンド、コ
 ツン閣下及ヒ市參事會員トーマス、ク、エステッド、フ井ニス氏、井リヤムローレンス氏、從男爵トー



（側左テ向）場市魚トーゲスゲンリビ

マス、ガフリエル氏、井リヤムフ、ワーネリ、アレン氏、(帝國議會議員宮中法律顧問官記録係ラセル、ガニ閣下) ナイト爵トーマス、ホワイト氏、ナイト爵フランシス、ワイアト、ツラスコト氏、ジエームス、フー井キンス氏及ジョージ、スワン、ノテージノ諸員并ニ大多數ノ市會議員列席ノ上ロンドン市公會堂ニ於テ開會シタル市會ハ一千八百四十六年及一千八百七十一年發布ノ「ビリングスゲート、マーケット法ニ基キテビリングスゲート、マーケット取締規則ヲ制定セリ

市場税

市長 コ ツ ン

第一條 本規則ノ附屬表第一表ニ於テ指定セラル、市場税ハ之レヲ課スヘキ魚ヲ市場ニ移入スル場合ニ之レヲ課スルモノニシテソノ魚ヲ市場ニ移入スルトキハ直ニ納稅義務ヲ發生スルモノトス而シテソノ魚ヲ市場ニ移入スル者ハ請求次第右ノ市場税ヲ收入役ニ納附スヘシ

第二條 市場ニ魚ヲ移入スル各々ノ船舶ノ船長ハソノ荷揚ニ著手スルニ先チテ市場書記室ニ於テ市場書記ニ其船舶ノ噸數書ヲ呈出シ噸稅ヲ納附シ且ツ手書又ハ印刷シタル荷揚許可書ヲ得ヘキモノトス

第三條 市場ニ魚ヲ移入スル荷車荷馬車又ハ其他ノ車ノ御者若クハ其看守人ハ市場書記室ニツキテ右ノ車ニ付キテ課セラル、市場税ヲ納附スヘシ而シテ手書又ハ印刷シタル荷卸許可書ヲ得ルニ非ラサレハ其荷卸ニ著手スルコトヲ得ス

第四條 市場ニ移入シタル魚ニ付キテ市場税ヲ納付シタル者ハ其納附濟票ヲ收入役ヨリ受取ルヘシ此

票ハ後日請求次第市場ノ役員ニ呈示スヘキモノナリ

市場ニ於ケル引渡中ニ魚ヲ看守スル者ニシテ該票ノ呈示ヲ請求セラル、ニ際シ之レヲ呈示セサル者ハソノ看守スル魚ニ付キテノ市場税ヲ右ノ請求者ニ對シテ支拂フヘキ旨ノ請求ヲ受クルニ至ルヘシ

第五條 之レニ對スル市場税ヲ先ツ納附セスシテ故意ニ課税セラルヘキ魚ヲ市場ニ移入セントスル者又ハ苟クモ市場税ノ納附ヲ逋脱セントスル者ハソノ納附スヘキ市場税以外ニ尙本規則ノ侵犯ニ對シテ課セラレタル過料ニ處セラルヘシ

第六條 午前九時以前ニ滿潮トナルヘキ時ニ於テ午前九時前ニ市場ニ到着シ其翌日ニ至ル迄碇泊スル船舶ハ第一次ノ市場税ノ二分ノ一ニ等シキ第二次ノ市場税ヲ納付スヘシ

第七條 牡蠣ソノ他凡テノ貝類ハ魚ト同一ノ市場税ヲ課セラル、モノトス

第八條 市場ニ沿ヒテ繫留スルニ非ラスト雖トモ凡ソ魚ヲ積載シテ之レヲ販賣スル河上ノ船舶ハ市場面ニ於テ之レカ引渡ヲナシタルト其側ニアル階段ニ於テ之レヲ引渡シタルトヲ問ハス市場税ヲ賦課セラル、モノトス

實際ニ於テハ市場ニ魚ノ移入セラル、ニ非ラサルヘキ時ト雖トモ凡ソ市場附近ニ來ル荷馬車荷車及ヒ其他ノ車ニシテ魚ヲ積載シテ之レヲ販賣スルモノハ市場税ヲ賦課セラル、モノトス

貨臺税

第九條 市場内ニアル貨物陳列臺ノ使用ニ對シテハソノ各個ノ場合ニ於テ本規則ニ附屬スル第二表ニ

於テ指定セラル、金額以内ノ金額ヲ賦課スルモノトス

市場整理

第十條 午前五時前ニ於テハ何人モ販賣ノ爲メ市場内ニ魚ヲ陳列スルコトヲ得ス而シテ午前五時ニ於テ市場ノ鐘ヲ鳴ラスモノトス

市場ハ午後三時ニ於テ魚ノ販賣ニ對シテ之レヲ閉鎖ス但シ市場書記ノ判斷ニヨリテ其閉鎖ノ刻限ヲ延長スルヲ以テ適當ナリトスル場合ハ此限ニアラス

前項ノ規定ハ市場ノ周圍ニアル店舗ニ對シテハ之レヲ適用セス但シ十月一日ヨリ三月一日ニ至ル迄ハ午後六時ニ三月一日ヨリ十月一日ニ至ル迄ハ午後九時ニ於テ凡テ該店舗ヲ閉鎖スヘキモノトス

第十一條 人類ノ食物トシテ不都合ナルカ不健全ナルカ若クハ不適當ナル魚ハ何人モ之レヲ市場ニ於テ販賣シ又ハ販賣ノ爲メ陳列スルコトヲ得サルモノトス

第十二條 魚又ハ箱、樽、櫃、籠、桶又ハ其他ノ貨物ハソノ置場トシテ市場書記ノ指定シタル場所ヲ除ク外何人モ之レヲ市場内ニ置クコトヲ得ス

第十三條 其内容タリシ魚ノ販賣セラレ若クハ處分セラレタル以後ニ於テハ空虚ナル箱、樽、櫃、籠又ハ桶ハ何人モ之レヲ市場内ニ置キ若クハ遺スコトヲ得ス

第十四條 貝殻、腐肉、廢物又ハ汚物ハ何人モ之レヲ市場若クハ其前面ニアル河中ニ投スルコトヲ得ス

第十五條 何人モ市場内ニ於ケル瓦斯管及ヒ瓦斯燈ヲ障礙シ以テ瓦斯ヲ漏出セシメ或ハ燈火ヲ増大減

少若クハ消滅セシムルコトヲ得ス但シ市場書記又ハ右ノ目的ノ爲メニ適當ニ其認可シタル者ハ此限ニアラス

第十六條 市場ニ魚ヲ移入スル船舶、傳馬船、小船又ハソノ他ノ船ヲ指揮シ看守シ又ハ管理スル船長ソノ他ノ者ハ其船舶ノ碇泊又ハ撤去ニ關シテ市場書記又ハ適當ニ任命セラレタル其他ノ役員ノ指揮ニ從フヘシ

第十七條 市場ニ魚ヲ移入スル汽船ノ指揮ヲナス船長ソノ他ノ者ハ投錨後可及的速カニ其船貨ヲ引渡シ又之レヲ引渡シタル時ハ直ニ埠頭ヨリ其船ヲ撤去スヘシ

第十八條 市場ニ魚ヲ移入スル汽船以外ノ凡テノ船舶、傳馬船、小船ソノ他ノ船ヲ指揮シ看守シ又ハ管理スル船長ソノ他ノ者ハ其船荷ヲ引渡シタル時ハ其引渡後第一次ノ干潮ノ最初ニ其船ヲ埠頭ヨリ撤去スヘシ

第十九條 市場ニ魚ヲ移入スル船舶、傳馬船、小船ソノ他ノ船ハ必ス其繫留ノ爲メニ備ヘラル、繫留場ニ之レヲ繫留スヘシ

第二十條 市場ニ魚ヲ移入スル船舶、小船ソノ他ノ船ニシテ市場ニ於テ碇泊シタルモノハ其船頭斜桅ヲ取入レ帆扛ブームノ一端ヲ引上クヘシ

第二十一條 無帆傳馬船ニ積載シタル箱、樽、蒲籃、魚又ハソノ他ノ貨物ハ直ニ之レヲ市場ニ搬入スルコトヲ要ス之レヲ其船内ニ遺留スルコトヲ許サス

第二十二條 市場ニ又ハ市場ヨリ魚ヲ運搬スル荷馬車荷車ソノ他ノ運搬具ヲ看守シ又ハ管理スル者ハ市場ニ到着後直ニ其魚ヲ荷却シ又ハ積込ムヘシ而シテ其荷卸又ハ積載ノ後ハ直ニ其車又ハ運搬具ヲ市場ヨリ引去ルヘシ

店 舗

第二十三條 各個ノ市場借受人ハ凡テノ籠籃、箱及ヒ包ヲ其店舗又ハ臺ノ内部ニ整置スルノ責ニ任ス

第二十四條 凡ソ籠籃又ハ箱ハ其空虚ナルト否トヲ問ハス之レヲ市場ノ通路ニ置クコトヲ得ス

第二十五條 販賣セラレタル魚ハ其買主ノ持去ル迄之レヲ其賣主ノ店舗又ハ臺ニ留ムヘシ之レヲ市場ノ通路ニ置クコトヲ許サス

第二十六條 木板、魚ソノ他何物タルヲ問ハス隣舗ノ前面ノ界線ヲ越エテ突出スル如ク之レヲ置クコトヲ得ス又之レヲ各々ノ借受人ニ配付セラレタル場所以外ニ突出スル如ク置クコトヲ許サス

第二十七條 店舗又ハ臺ノ占有者ハ日々十分ニ之レヲ掃除シ之レヲ清潔ニスヘシ

第二十八條 凡ソ何人モ市場内ニ於テ人足トシテ勞働シ又ハ賃銀ヲ得ンカ爲メニ停立若クハ往來スルコトヲ得ス但シ市場管理委員會ノ適當ニ免許シタル人足ハ此限ニアラス

第二十九條 人足トシテ善良適當ナル旨ヲ十分ニ證明シタル者アル時ハ市場管理委員會ハ之レヲシテ「シリング」六「ペン」スヲ納附セシメタル上市場内ニ於テ人足トシテ勞働スヘキ免許狀ヲ之レニ附

與スルコトヲ得

各個ノ免許狀ニハソノ番號ソノ免許狀ヲ得タル者ノ姓名居所年齢并ニソノ者ニ之レヲ附與スル旨ヲ明記シ且ツ其附與ノ日附ヲ掲クヘシ各個ノ免許狀ハ其日附後第一次ノ七月一日迄有効ナルモノトス但シ當該委員會ニヨリテ其取消サレ又ハ停止セラレタル場合ハ此限ニアラス

第三十條 市場書記ハ毎年七月一日前一曆月ノ期間内ニ於テ更新ノ日ヨリ効力ヲ發生シ翌年七月一日迄有効ナル(前條但書ニ從ヒ)免許狀ヲ更ニ作成ス(無手数料ニテ)ヘキモノトス

第三十一條 各個ノ免許狀ノ記載事項ハ之レヲ市場備付ノ帳簿ニ登錄セラル、モノトス此登錄簿ハ何人モ無料ニテ自由ニ之レヲ閱覽スルコトヲ得

第三十二條 市場書記ハ免許狀ヲ與フル際尙又其受領者ニ其免許狀ニ掲クル番號ト同一ノ番號及ヒロンドン市ノ紋章アル金屬製ノ徽章ヲ附與スヘシ

第三十三條 凡ソ人足ハ其從業中若クハ賃銀ヲ得ンカ爲メニ往來スル時常ニ其附與セラレタル徽章ヲ徽章面ノ番號カ常ニ明瞭ニ認識判讀セラル、如ク左ノ上腕ノ外側ニ附スヘシ又其免許狀ハ常ニ之レヲ携帯シ請求次第之レヲ職務執行中ニアル市場ノ役員又ハ警察官ニ呈示シ以テ其檢閲ヲ受クヘシ又正當ノ理由アル時ハ何人ニ對シテモ其徽章面ノ番號ヲ示スヘシ

第三十四條 免許ヲ得タル者ソノ居所ヲ變更スル時ハソノ都度七日内ニソノ新居所ヲ明示スル書面ニ署名シテ市場書記ニ其旨ヲ届出テ且ツソノ免許狀ヲ市場書記ニ呈出スヘシ

右ノ届出及呈示アル時ハ市場書記ハ居所ノ變更ニ付キテノ事項ヲ呈示セラレタル免許狀ニ裏書シ且ツ登錄簿ニ右ノ事項ヲ登錄スヘキモノトス

第三十五條 免許ノ消滅シ取消サレ若クハ停止セラレタル時ハソノ免許ヲ有シタリシ者ハ一週間以内ニソノ免許狀并ニ之レニ關スル徽章ヲ市場書記ニ返還スヘシ

免許ノ消滅シ又ハ取消サレタル後若クハソノ停止ノ期間中ニ於テハソノ免許ヲ有シタリシ者ハ之レニ關スル徽章ヲ用ユルコトヲ得ス

第三十六條 免許狀又ハ徽章ヲ附與セラレタルモノハ他人ニ其免許狀ヲ讓渡シ又ハ貸與シ或ハ他人ニ其徽章ノ使用ヲ許容スルコトヲ得サルモノトス

第三十七條 徽章面ノ番號磨滅シ又ハ塗抹セラレ明瞭ニ之レヲ認識判讀スヘカラサルニ至ル時ハソノ都度之レヲ市場書記ニ返納スヘシ

前項ノ場合ニ於テ徽章ノ返納アリタル時ハ市場書記ハ「シリング」六「ペンス」ヲ納附セシメタル上之レト同一番號ノ徽章ヲ更ニ附與スルコトヲ得

徽章ノ磨滅若クハ塗抹セラレ明瞭ニ其番號ヲ認識判讀スヘカラサルニ至リタル時ハ何人モ之レヲ使用スルコトヲ得ス

第三十八條 市場ニ於テ賃銀ヲ得ンカ爲メニ往來スル人足ハ荷車、小手押車又ハ手車ヲ携帯スルコトヲ得ス

第三十九條 運搬ノ目的ヲ以テ荷車小手押車又ハ手車ヲ使用スル人足又ハソノ他ノ者ハ店舗ノ地面内ニ於テ之レカ荷積又ハ荷卸ヲナスヘシ市場ノ通路ニ於テ之レヲ行フコトヲ許サス

第四十條 人足ニシテ若シ市場又ハソノ真近ノ場所ニ於テ本規則ニ違反シ又ハ不正ノ行爲ヲナシ又ハ酩酊シ又ハ猥褻若クハ凌辱ノ言語ヲ使用シ脅迫ヲナシ又ハ其他ノ不法行爲アル時ハ市場管理委員會ハ直ニソノ人足ノ有スル免許ヲ取消シ之レヲ無効トシ又ハ其適當ナリトスル期間之レヲ停止スルコトヲ得

前項ノ處分ヲ受ケタル人足ハ更ニ免許ヲ得ルニ非ラサレハ人足トシテ勞働スルコトヲ得ス

第四十一條 本規則ニ於テ人足トハ若シ人足トシテ勞働スル場合ニ於テハ市場ニ於テ運送人ニ使用セラル、者及ヒ店舗ニ使用セラル、者ヲモ包含ス但シ魚ノ買受人又ハソノ繼續的ノ使用人ハ之レヲ包含セス

昇降機ノ使用

第四十二條 看守員ノ命スルヨリ以上ニ多數ノ人又ハ重量アル包荷ハ一時ニ昇降機ニヨルコトヲ得ス而シテ右ノ役員ヨリ自己又ハソノ看守スル包荷ノ撤去ヲ命セラレタル者ハ直ニ其指揮ニ従フヘシ人數又ハ包荷ノ重量ニ於テ過剩アル場合ニ於テソノ撤去セラレタルモノハ昇降機ノ次便ニ於テ第一順位ニ之レニヨルコトヲ得

市場并ニ其入路ニ於ケル不法行爲及障礙ノ防遏

第四十三條 何人モ市場ノ出入口及市場内ニ於テ荷クモ不法行爲ヲナスコトヲ得ス

第四十四條 凡テ行商人ハ市場内ニ在ルヲ許サス

第四十五條 凡テ無用ノ者ハ無帆傳馬船上又ハ市場ノ通路ニ在ルヲ許サス

第四十六條 極外側ノ二呎四吋ヨリ廣ク又ハ地面ヨリ一呎六吋ヲ超エ又ハ二輪ヨリ多クノ車輪アル荷車小手押車又ハ手車ハ市場内ニ於テ之レヲ使用スルヲ得ス

第四十七條 樽又ハ桶ハ市場内ニ於テ之レヲ轉ハスコトヲ得ス又市場内ニ於テ包荷ヲ曳クコトヲ得ス

第四十八條 市場ニ留マル荷車荷馬車及ヒ其他ノ車ハ警察委員ノ指定スル場所ニ停マルヘシ

第四十九條 何人モ魚又ハ擲射物ヲ市場内ニ投入シ又ハ市場内ニ於テ猥褻野卑若クハ凌辱ノ言語ヲ使用シ又ハ故意ニ障礙ヲ生セシメ又ハ職務執行中ニアル市場ノ書記收入役檢關係又ハソノ他ノ役員ニ對シテ暴行脅迫ヲナスコトヲ得ス

第五十條 市場ヲ使用スル者ハ市場ノ秩序ヲ維持シ及ヒ市場ニ於ケル業務ノ執行ヲ容易ナラシムルカ爲メニ市場書記ノ與フル正當ナル指揮ニ従フヘシ

過料

第五十一條 本規則ニ違反スル者ハソノ各々ノ侵犯ニ對シテ五磅以下ノ過料ニ處ス

第五十二條 市場書記ハ本規則ニ違反スル者ニ對スル過料取立ノ訴訟ヲ提起スルモノトス

食用トシテ不都合ナルカ不健全ナルカ又ハ不適當ナル魚ヲ販賣シ若クハ販賣ノ爲メニ陳列スル者ニ

對シテハロンドン魚商組合ノ任命スル魚ノ検査人又ハ市ノ下水委員會ノ認可スル魚ノ検査人ヨリ過料取立ノ訴訟ヲ提起スルモノトス

附 屬 表

第一表

魚ヲ積載スル船舶ニ對シテ賦課スル市場稅	〇、六
川魚ヲ積載スル漕舟一隻毎ニ	二、〇
五噸以下ノ船舶一隻毎ニ	四、〇
十噸以下	八、〇
二十噸以下ノ船舶一隻毎ニ	一四、〇
三十五噸以下ノ船舶一隻毎ニ	二〇、〇
五十噸以下ノ船舶一隻毎ニ	三〇、〇
七十五噸以下ノ船舶一隻毎ニ	四〇、〇
百噸以下ノ船舶一隻毎ニ	〇、六
百噸ヲ超ユル時ハ其超過シタル毎一噸及ヒ其端數毎ニ	
魚ヲ積載スル荷車荷馬車及ヒ其他ノ車ニ對スル市場稅	一、六
二輪車一臺毎ニ	

三輪車以上ノモノ一臺毎ニ

二、六

其他ノ方法ニヨリテ市場ニ移入セラル、魚ニ對スル市場稅

一「ハンドレツド、ウエイト」又ハ其端數毎ニ一「ベンス」ヲ課ス

第二表

市場ニ於テ賦課スル貨臺稅

地下室

空場ニ對シテ毎一年毎一呎ニ「シリング」六「ベンス」以下ノ割合

第一階

各々ノ貨物陳列臺ノ表面積ニ從ヒテ毎週毎一呎九「ベンス」以下ノ割合

第二階以上

各個ノ貨物陳列臺ノ表面積ニ從ヒテ毎週毎一呎ニ「ベンス」以下ノ割合

モンク ト シ

通商管理局ハ茲ニ右ノ取締規則ヲ確認ス

一千八百七十六年七月三十一日

通商管理局ノ命ニヨリテ

秘書 シー、セシル、ツレボア

追加取締規則 (一千八百八十年)

一千八百七十八年十一月二十八日開會ノロンドン市會ニ列席シタル市長市參事會員及ヒ市會議員ノ適法ニ制定シタル「ピリングスゲート、マーケット」追加取締規則
市場書記ハ盜賊又ハ無用無法ノ者又ハ無賴無法ノ者ナリト信スヘキ理由アル者ヲ市場ヨリ撤退シ又ハ之レヲ撤退セシムルノ責ニ任ス
撤退ヲ命セラレタル者ソノ撤退ヲ拒ムトキハ五磅以下ノ過料ニ處ス

モンクートン

通商管理局ハ茲ニ右ノ追加取締規則ヲ確認ス

一千八百八十年十月六日

通商管理局ノ命ニヨリテ

秘書 ヘンリ、ジカルクラフト

追加取締規則 (一千九百〇七年)

一千九百〇七年二月二十八日開會ノロンドン市會ニ列席シタル市長市參事會員及ヒ市會議員ノ適法ニ制定シタル「ピリングスゲート、マーケット」追加取締規則

一千八百七十六年四月二十七日ニ於テ當該市長市參事會員及ヒ市會議員ノ制定シ一千八百七十六年七月三十一日ニ於テ通商管理局ノ確認シタル「ピリングスゲート、マーケット」取締規則第三十條及ヒ第三十三條ハ之レヲ廢止シ之レニ代フルニ左ノ取締規則ヲ一千八百四十六年及ヒ一千八百七十一年ノ「ピリングスゲート、マーケット」法ニ基キテ制定ス

第一條 市場書記ハ毎年七月一日前一曆月ノ期間内ニ於テ各々ノ免許ニ付キテ「シリング」ヲ納附セシメタル上更新ノ日ヨリ效力ヲ發生シ翌年七月一日迄有效ナル免許狀ヲ更ニ作成スヘキモノトス
第二條 凡ソ人足ハ其從業中若クハ貸銀ヲ得ンカ爲メニ往來スル時常ニ其附與セラレタル徽章ヲ徽章面ノ番號カ常ニ明瞭ニ認識判讀セラル、如ク胸ニ着クヘシ又免許狀ハ常ニ之レヲ携帯シ請求次第之レヲ職務執行中ニアル市場ノ役員又ハ警察官ニ呈示シソノ檢閲ヲ受クヘシ又正當ノ理由アル時ハ何人ニ對シテモ其徽章面ノ番號ヲ示スヘシ

ベル

通商管理局ハ茲ニ右ノ取締規則ヲ確認ス

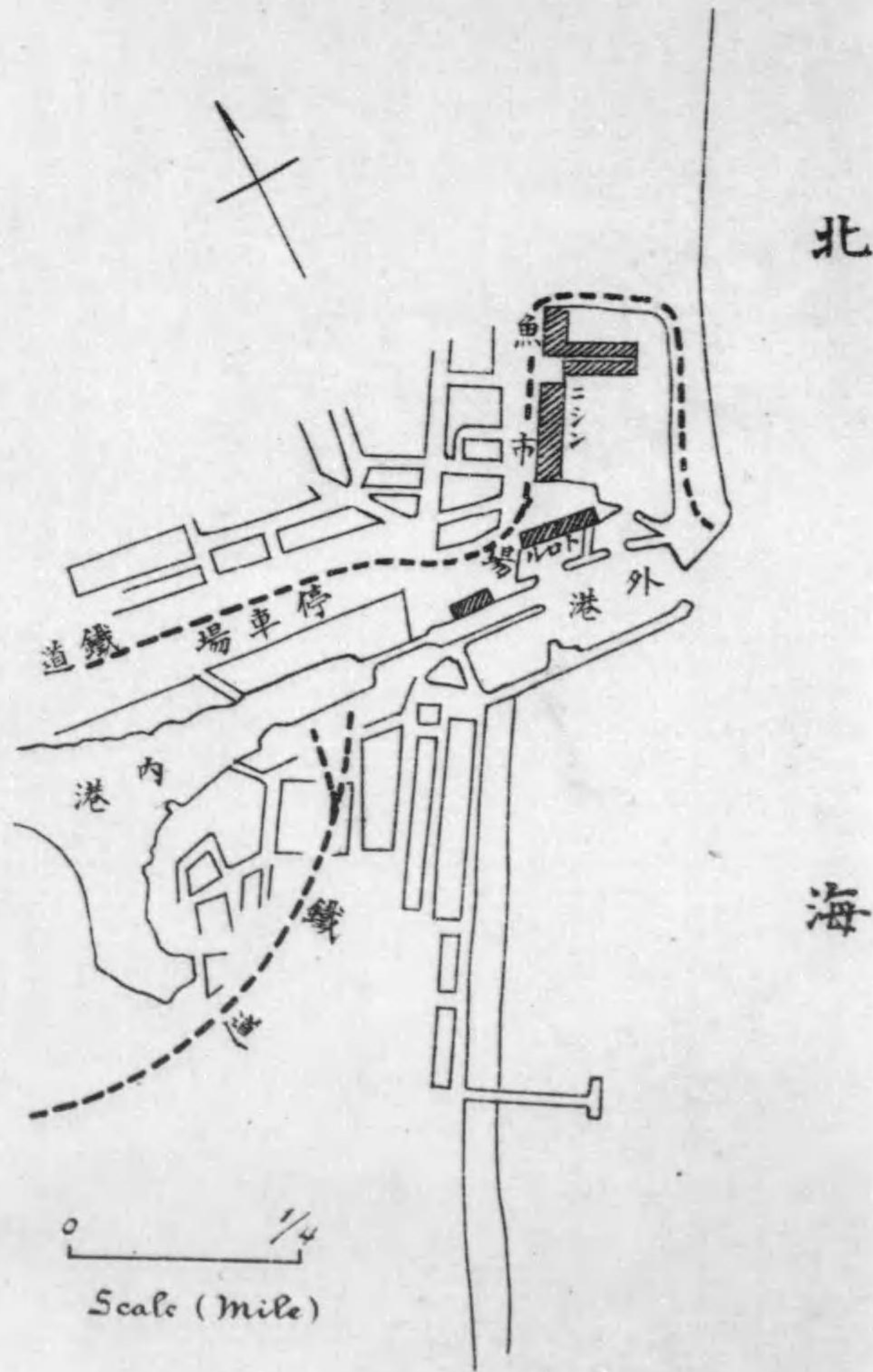
一千九百〇七年六月二十二日

秘書 チ、エイチ、ダフルユ、ベルハム

(ホ) ローウエストフト魚市場

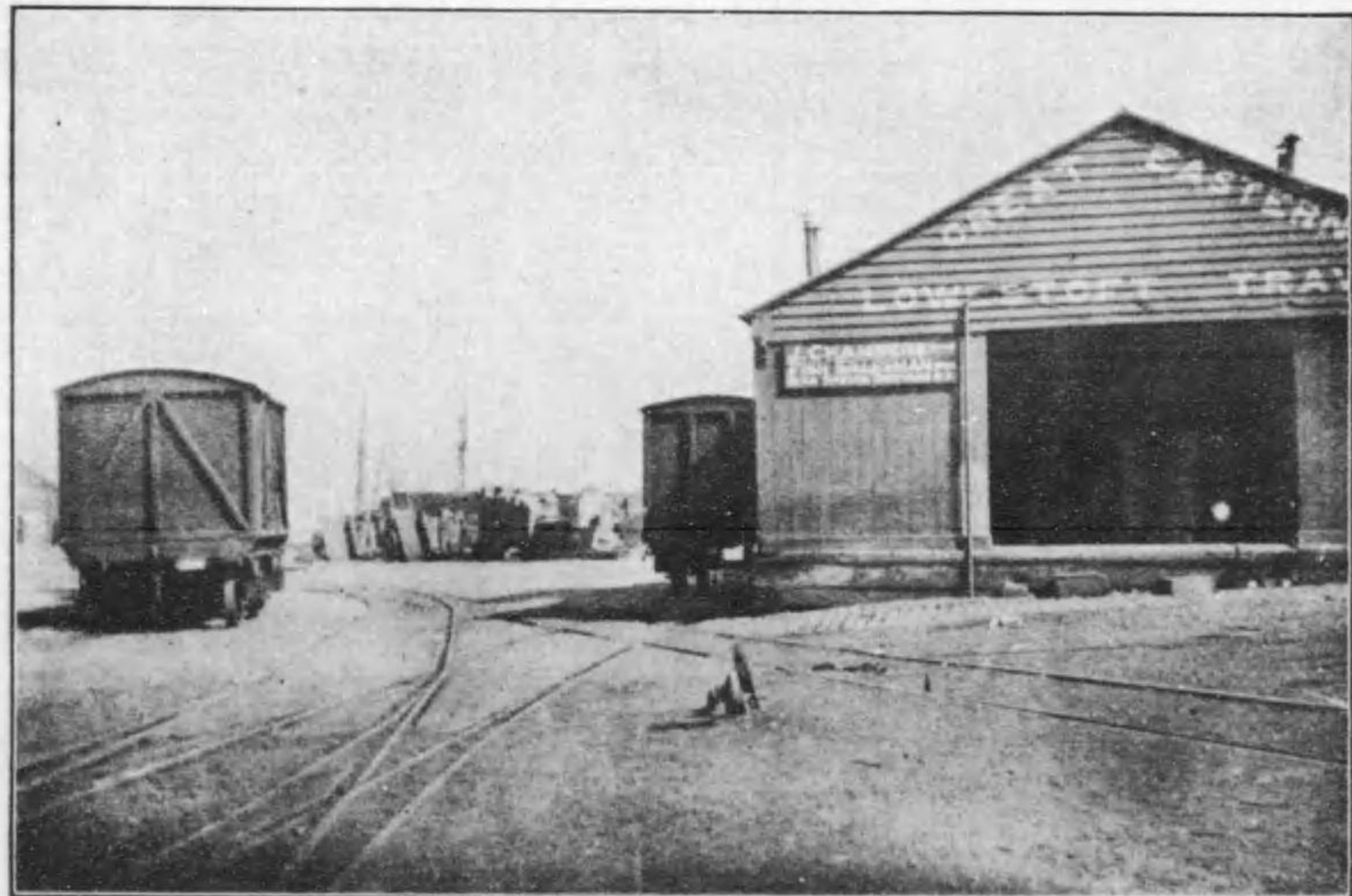
ローウエストフト町ハウエベチー河ノ河口左岸ニ位シ其漁港ハ河口及其左岸ニ在リ元來此附近ハ(ヤ
 ー)マウス港附近モ同様ナラン)沙丘ニ富ミタルカ如ク見ハ本漁港ハ此沙丘ノ内邊ニ築カレタルカ
 如シ魚市場ハ漁港ノ一邊ニ沿フテ設ケラレ其雨蓋ノ長サハ延長約六町ニ亘リ巾最廣キ所ハ十三間許ア
 リ砂岩ノ敷石ヲ布設セリ別ニ蒸汽「ポンプ」室ヨリ時々海水ヲ汲ミ上ケテ市場ヲ洗滌スルニ用ヒ又淡
 水ノ水道口諸處ニアリ漁船ニ淡水ヲ供給スルノ用ニ供セリ又鯨ノ如キハ見本ニ依リテ競賣スル爲メ競
 賣場ノ設ケアリ鐵道ノ一支線ハ市場ノ一側ニ來リ以テ魚荷ヲ搬出シ又石炭及「バラスト」ヲ運搬セリ港
 内ニハ二隻ノ浚渫船アリテ深サヲ維持スルニ努メツ、アリ
 此魚市場ハ漁港ト共ニ「グレート、イースタレ」鐵道會社ノ所有ニ屬ス(千八百六十五年ノ法律ニ依リ)
 故ニ其此處ニテ競賣スル人ハ其事務所賃借料ヲ鐵道會社ニ拂ヘリ又漁船ハ入港料及魚荷陸揚料ヲ同會
 社ニ拂ヘリ此等ノ料金ハ別冊附屬書類第五號ニ在リ而シテ競賣者ハ漁業者ヨリ手数料トシテ百分二・
 五或ハ百分ノ五或ハ百分ノ十ヲ收得ス其割合ニ一定ノ規則ナシ是レ競賣者ト漁業者トノ間ニ特別ノ關
 係アルガ爲ナリト云フ例ハ競賣者カ漁業者ニ船ヲ購求シタル際資金ヲ融通シタル場合ナトニハ割合
 ニ多クノ手数料ヲ收得シ然ラサル場合ニハ減スルカ如シ此競賣者ハ現今約五十人アリ而シテ買手ハ二
 百人以上アリト云フ

ローエストオフト漁港及魚市場略圖





場市魚トフトスエウーロ



線込引道鐵場市魚トフトスエウーロ



此市場ニテ取扱フトコロノ魚荷ハ一ケ年約八萬噸ニシテ其最モ多ク取扱ヒタル日ハ殆ント八千萬尾ノ鯧(八千萬尾ハ即チ六千「ラスト」ニシテ凡四百噸ナリ)ヲ賣捌キタルコトアリシト云フ
市場ノ内「トロール」漁獲物ヲ扱フ所ト鯧、鯖ヲ扱フ所ト區分セラレ從テ漁船ノ着ク所ニモ區分アリ此等ノ取締其他ニ關シテハ次ノ如シ

ローウエストフト漁港取締規則

凡ソ當港ヲ使用スル者ハ當港ニ關スル法律及附屬法ニシテ現ニ拘束力ヲ有スルモノ並ニ當港ニ關スル取締規則ニ注意シ能ク之ヲ遵守スヘシ

取締規則及注意事項

- 第一條 凡テ當港ニ入港スル船舶ハ晝ハ國旗ヲ斜桁ノ外端ニ揚ケ夜ハ索具ニ白燈一個ヲ點スヘシ
- 第二條 曳船用汽船ヲ要スル信號ヲ爲スニハ晝ハ國旗若クハ長旋ヲ大橋頭ニ揚ケ夜ハ前橋索ノ最モ認メ易キ部分ニ於テ上下ニ二個ノ燈火ヲ點スヘシ
- 第三條 水先案内者ヲ要スル信號ヲ爲スニハ晝ハ大英國旗ヲ「フオーア、トツブ、ガアラント、マスト、ヘツド」ニ揚ケ夜ハ船首上ニ白燈一個ヲ點スヘシ

第四條 北部防波堤ノ岬端及ヒ南部防波堤ノ岬端ニハ日沒ヨリ日出迄類似ノ赤燈各々一個ヲ點ス

第五條 内部防波堤ノ各々ノ岬端ニハ日沒ヨリ日出迄綠燈一個宛ヲ點ス入港ノ船舶上ニアル其指揮者

ハ明カニ之ヲ認ムルコトヲ得ヘシ

第六條 船舶ノ旋開橋ニ近接スルヲ禁スル際ハ晝ハ北部水閘壁上ニ赤旗ヲ揚ゲ夜ハ旋開橋ノ中央ニ赤燈ヲ點シ以テ其信號トナス

第七條 旋開橋上ニ綠燈ヲ點スル時ハ船舶ハ注意シテ當該橋ニ近接スルコトヲ得當該水閘壁上ニ明光燈ヲ點スル時ハ船舶ハ當該橋ヲ通過スルコトヲ得

第八條 港口ノ水深ハ變化激甚ナリ船長指導ノ爲メニスル信號ハ旋開橋附近ナル舊魚市場ニ於テ晝夜之レヲ旗竿頭ニ掲ク

第九條 前條ニ定ムル旗竿頭ニ晝間赤旗ヲ掲クル時ハ港口ノ水深十呎以上ナルコトヲ示シ黑球ヲ揚クル時ハソノ十呎未満ナルコトヲ示スモノトス

第十條 夜間右ノ旗竿頭ニ赤燈ヲ點スル時ハ港口ノ水深十呎以上ナルコトヲ示シ綠燈ヲ點スル時ハソノ十呎未満ナルコトヲ示スモノトス

第十一條 船長及水先案内者ハ潮風、波浪、水深及ソノ他ノ事情ヲ考察シソノ果シテ安全ニ入港スルコトヲ得ルヤ否ヤヲ判斷スヘシ

第十二條 入港ノ船舶ハ凡テソノ船頭斜桅又ハ三角帆張出材並ニ補助帆用帆扛ヲ取去リソノ低帆桁ヲ反對ノ方面ニ廻ハシ若クハ之レカ一端ヲ引上ケ且ツ其錨ヲ甲板上ニ引上クルカ又ハ鎖ニテ之レヲ錨鎖孔アル船首部ニ懸吊スヘシ

第十三條 凡テ船舶ハ航路ヲ阻塞スヘカラス

第十四條 凡テ船舶ハ防波堤ノ各岬端ノ東方三百碼以内ニ泊スルコトヲ得ス

第十五條 妨礙ヲ惹起セシメタル船舶ハ之レカ撤去並ニ附隨的總費用仕拂ノ責ニ任ス

第十六條 入港ノ際又ハ港内ニアル際船舶ノ被ルコトアリ得ヘキ損害ニ對シテハ當該會社ハ何等ノ責ニ任セス

第十七條 當該會社附屬ノ防波堤埠頭若クハ工作物ニ對スル凡テノ損害ハ當該加害船舶ノ出港前ニ賠償セラルヘキモノトス

第十八條 入港シタル船舶ハ當該見張所及港稅務所ニ對シテ直ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第十九條 凡テ魚類ハ正當ノ魚市場ニ之レヲ陸揚スヘシ特別ノ許可ヲ得ルニ非ラサレハ其他ノ場所ニ之レカ陸揚ヲナスコトヲ得ス

第二十條 日曜日ニハ出港免狀ヲ附與セス

第二十一條 當該會社又ハ港務長ノ明示ノ認諾アル場合ノ外爆發物燃燒物若クハ健康ニ害アル物ハ之レヲ輸入スルコトヲ得ス

第二十二條 凡テ船舶ハ明示ノ許可アル場合ノ外港内ニ投錨スルコトヲ得ス

第二十三條 當該會社ノ工作物上ニ於テハ銃砲ノ荷卸ヲ許サス

第二十四條 船主船長商人漁夫海員ソノ他港ヲ使用スル者ハ法律及ヒ當該港并ニ魚市場ニ關スル附屬

法ニシテ現ニ拘束力ヲ有スルモノニ對シテ特ニ注意スヘシ

第二十五條 當該港ノ支配ノ爲メ法律ニヨリテ當該會社ノ享有スル凡テノ權力ハ當該港及魚市場ニ關スル附屬法ニヨリテ之レヲ制限スルコトナシ

第二十六條 一千八百七十四年十月一日ノ選定ニカ、ル諸種ノ港税及埠頭、倉庫、魚類、曳船、船渠、造船架、脚荷并ニ金物ニ關スル賦課ノ表ヲ附加シ以テ當港使用者ノ便ニ供セントス但シ此等ノ課税ハ當該會社ノ獨斷ヲ以テ變更スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ將來ソノ増減ヲ見ルコトアリ得ヘキモノト知ルヘシ

課税表

防波堤使用料

「ローエストフト」防波堤ヲ使用スル者ハ競漕日又ハ祝祭日ヲ除クノ外其使用ノ都度各人一樣ニ一片ヲ競漕日又ハ祝祭日ニ於テハ其使用ノ都度各人一樣ニ一志以下ヲ徴收セラル

魚税

當該魚市場ソノ他當該會社構内ノ何レカノ部分ニ陸揚セラレ、魚類ハ左記ノ魚税ヲ徴收セラル
鯨 五百尾以下ナル時ハ百尾毎ニ半片五百尾ヲ超エ一千尾ヲ超エサル時ハ百尾毎ニ三片一千尾ヲ超過スル時ハ一千尾毎ニ三片ヲ課ス

小鰻 一「モウソンド」毎ニ一片ヲ課ス

鯖 百尾毎ニ二片ヲ課ス

大曳網ニテ得タル魚 長サ二十三時幅十七時半厚サ九時ヲ超エサル包荷ナル時ハ各々ノ包荷ニ對シテ一片ヲ課シ右ノ容積ヲ超過スル時ハ各々ノ包荷ニ對シテ二片ヲ課ス
鰹 二十尾毎ニ四片ヲ課ス

港税

避難船舶(帆走) 登簿噸數一噸毎ニ

二、^半〇

汽船(推進機)

二、^半〇

〃 (外輪)

三、〇

避難ノ船舶十四日以上留マル時ハ

帆 船 登簿噸數每噸每週

一、〇

汽船(推進機)

一、^半〇

〃 (外輪)

二、〇

一ヶ月間ノ港内泊料

最初ノ十四日間 每噸每週

一、〇

其後ノ期間

、^半〇

同一航海ニ於テ復避難スル船舶ニ對シテハ

帆 船 登簿噸數每噸

汽船(推進機) //

〃 (外 輪) //

ローウエストフト港ニ船籍ヲ有スル

避難船舶(帆走、推進機又ハ外輪)

水先案内船小漁船「トロール」汽船一噸毎ニ

「スチーム、ドリフター」發動機漁船一噸毎ニ

并ニ運送船ニ對シテハ一噸毎ニ

年季計算ニヨル時ハ同上船舶ニ對シテ

曳船用汽船(推進機又ハ外輪)ニ對シテハ登簿噸數一噸毎ニ二志六片ヲ課ス但シ本汽船ニ課スル港

税ノ最低額ハ十志トス

淡水料

「トロール」市場ソノ他ニ於ケル「トロール」船ニ對シテハ每噸

「スチーム、ドリフター」ニ對シテハ毎年每噸

「セーリング、ドリフター」ニ對シテハ毎年每噸

一、〇

一、^四/_四

一、^二/_二

二、^六/_六片

二、〇

二、〇

二、^二/_二片

一、^{一〇}/_{一〇}片

二、^二/_二志

二、〇〇〇志

一、〇〇〇

六月ニ從業スル漁船ハ年季淡水料ヲ仕拂フモノトス

蘇格蘭船ニシテ

中夏航行「スチーム、ドリフター」ニ對シテハ一噸毎ニ

中夏航行「セーリング、ドリフター」ニ對シテハ一噸毎ニ

秋季航行「スチーム、ドリフター」ニ對シテハ一噸毎ニ

秋季航行「セーリング、ドリフター」ニ對シテハ一噸毎ニ

右ノ淡水料ハ「スチーム、ドリフター」ノ汽罐用ニ供スル場合ヲ包含セス汽罐用淡水料ハ一噸(二百二

十四「ガロン」ニツキ一志六片ヲ課ス但シ「ブレイカー」ニ對スル最低課税ハ一片トス

魚類ニ課スル港税

現行ノ課税ヲ廢シ左ノ通り課税ス

何種ノ魚タルヲ問ハス又鹽漬、乾物、燻製等ノ保存方法ニヨルト否ト又其保存方法中ニアルト否トヲ

問ハス凡テ當港ヨリ移出若クハ輸出スル魚ニ對シテハ其之レヲ包含スル桶又ハ包ノ重量共每一噸一

志五片ヲ課ス但シ每取引一志ヲ以テ其最低課税額トナス

石炭船ニ對スル課税

石炭船ハ其石炭荷揚ノ爲メ二十八日間泊スルコトヲ得但シ右期間後ハ左ノ割合ニ從ヒテ通常ノ港内泊

料ヲ課スルモノトス

最初ノ十四日間ニ對シテハ登簿噸數毎噸每週
右期間後ハ登簿噸數毎噸每週

港 稅 (承前)

「スチーム、ドリフター」及「モートル、ドリフター」ニ對スル最低
課稅額

「セーリング、ドリフター」ニ對スル最低課稅額

漁船ニ對シテ毎噸

年季計算ニヨル同上船ニ對シテ

船舶(輕ク載荷シ又ハ脚荷ニテ又ハ幾分カ載貨シテ移出荷積込
ノ爲メ入港スル)ニ對シテ登簿噸數毎噸

船舶(輸入稅不仕拂貨物再積込ヲ爲ス)ニ對シテ登簿噸數毎噸

船舶(石炭荷揚ノ爲メ入港ノ)ニ對シテ登簿噸數毎噸

船舶(石炭以外ノ貨物荷揚ノ爲メ入港ノ)ニ對シテ登簿噸數毎噸

脚荷(ドロップニ於テ船積シタル)每一噸

脚荷(他船ニ積換ヘラレ又ハ當港ノ或他ノ部分ヨリ取ラレタル)
每一噸

一〇、
六六

二、六

一、六

一、
三

一、〇〇〇

四

四

二

四

一、〇

六

穀類及種物ニ對スル課稅

小麥、大麥、麥芽、菽、豌豆、「ヤハス」豌豆、「カネーリ」芥子、

亞麻、油菜及其他ノ種物ノ毎「クヲーター」(八ブツセル)

「カラスムギ」ノ毎「クヲーター」

麥粉 每袋(八ブツセル入)

碾割粗粉「シ、ヤープス」ノ毎「クヲーター」

「ホラード」及「ブラン」ノ毎噸

「クローバー、ツリーファイル」及其他ノ重キ種物ノ每袋

馬鈴薯、洋蔥等ノ每袋

林檎、梨等ノ毎「ブツセル」

「ホップ」ノ每袋

油糟ノ每噸

羊毛、綿等ノ每包(二百四十封度)

皮革ニ對スル課稅

鞣皮及ヒ犢皮ノ毎「ハンドレツド、ウエート」

生皮ノ每枚

一、
〇、
三

四、〇
四、〇
三、〇

、
、
一、〇
一、〇
一、〇
一、〇

一、〇

一、〇

一、〇

、
、

四、〇
四、〇

一、
〇、
三

毛皮ノ每百枚

四^片之

六八

鞣皮用樹皮末又ハ幾那皮ノ每噸

一〇〇

雜貨ニ對スル課稅

砂糖、果物、燻肉、乾酪、牛酪、豚肉、臘乾、「ダング」食鹽、鹽魚、脂、

石鹼、蠟燭其ノ他ノ重キ雜貨ニ對シテハ每噸

一〇〇^片

砂糖ニ對シテハ每噸十片「サツカリ」ニ對シテハ每噸一志「ミネラル、ウラーター」ニ對シテハ每

噸一志宛ノ輸出入稅ヲ課セラル

米ニ對シテハ每噸

一〇〇^片

茶珈琲及香料ノ每「ハンドレツド、ウエート」

一、之

「ラレンジ、レモン」等ノ每箱

一〇〇

糖蜜ノ每「バンチラン」

六〇〇

魚用鹽及農業用鹽ノ每噸

六〇〇

壘ノ每噸

六〇〇

曹達ノ每噸

一〇〇〇

「エール、ポールター、サイダー」梨酒醋及油ニ對シテハ

六〇〇

「バット」毎ニ

六〇〇

一「バンチラン」毎ニ

四^片之

一「ホツグヘツド」毎ニ

三〇〇

一「バーレル」毎ニ

二〇〇

一「キルダーキン」又ハ「ランレツト」毎ニ

一〇〇

籃入十二個毎ニ

一〇〇

水ニ對シテ一噸毎ニ

六〇〇

肥料ニ對シテハ左ノ通課稅ス

「グアノ」及ヒ人造肥料ノ每噸

一〇〇〇

「スツリット」及「ステープル」肥料并ニ「ナイトソイル」ハ無稅トス

亞麻仁油（樽入）ノ每噸

一〇〇〇

機械ハ四十立方呎ニ付キ每噸

一〇〇八^片

指物ハ每噸

一〇〇〇

「マダー」ハ各樽毎「ハンドレツド、ウエート」

一〇〇

煙管坭ハ每噸

五〇〇

酒精及葡萄酒類ハ

一「バイブ」又ハ「バット」毎ニ

六〇〇

六九

一「ホッグスヘッド」毎ニ
 一「ハーフ、ホッグスヘッド」毎ニ
 四分一「ハッグスヘッド」毎ニ
 二十「ガロン」以下ハ一「ガロン」毎ニ
 「ハンバー」入十二個毎ニ

車類ニ對シテハ

四輪車
 二輪車
 馬ハ一頭毎ニ
 牡牛ハ一頭毎ニ
 牝牛 〃
 犢ハ一頭毎ニ
 豚 〃
 羊ハ 二十頭毎ニ
 羊仔 〃

石炭其ノ他ニ對シテハ

「ローウエストフト」ニ於テ交付セラル、石炭ノ每噸（二十ハン
 ドレッドウェート）
 「コークス」劣等無燐炭「シンダース」又ハ「ブリーズ」ノ每噸（二
 十ハンドレッドウェート）

乾草及藁類

乾草「シンクファイル、クローバー」又ハ藁ノ每噸
 精製白堊ハ每噸
 耐火粘土 〃
 鐵針金 〃
 空容器ハ「ジェー、クリスプ、アンドソソ」毎ニ
 葉鐵ハ 每噸
 澤鐵鑛 〃
 「グラウンド、フラスフアル」每噸
 糞石及燐ハ每噸
 「バテント、フューエル」每噸
 紙（新）ハ每噸

三〇^七

一、〇
 〇、〇
 一、〇

二、〇六、〇
 一、〇九、〇

六、〇
 二、〇
 一、〇
 〇、〇
 六、〇
 三、〇

四、〇

四、〇

五、〇

五、〇

五、〇

五、〇

一、〇〇、〇

一、〇〇、〇

五、〇

五、〇

五、〇

四、〇

一、〇〇、〇

紙(舊) //

炕爐用「ランプ」每噸

脚荷用鐵屑ハ每噸

石油(タンク入)ハ每噸(二百五十ガロン)

石油(バーレル、ステーブス入)每樽

空樽ハ每樽

魚ノ買手ニヨリテ使用セラル、桶ト殆ト其用法ヲ同クスル箱一

個毎ニ

約二呎ノ長アル空魚櫃一個毎ニ

「エムチー、ハーフキット」一個毎ニ

網入用「バーレル」(長サ約十五幅約九)

一千八百六十五年ノ法律ニ於テ埠頭税ナル題下ニ次ノ如キ注意アリ當該會社ハ本表ニ列記若クハ參照セラレサル凡テノ貨物及物品ニ對シテ之レト其數量性質種類若クハ價值ヲ同クスル本表列記ノ貨物及物品ニ對シテ賦課シタル金額ト成ルヘク類似ノ適當ナル税額ヲ時々賦課スルコトヲ得

港 税 (承前)

材木及板類

榎、麻栗樹、榆、松、掬、樅等ノ材木ハ「カスタムハウスロード」毎ニ

板及窄板ハ每「ロード」

條板ハ每「ロード」

薪 //

桃花心木其ノ他

桃花心木、麻栗樹其ノ他ノ材ハ每「ロード」

大麻、綱絲ハ每噸

瀝青「タール」脂肪、樹脂等ハ每桶

石、石盤等

石材ハ 每噸

石盤 //

漆喰 //

明礬 //

鐵地金 //

棒鐵、棒鉛等每噸

「セメントストーン」每噸

五、〇

五、〇

五、〇

一〇、〇

六、〇

一、〇

一、〇

〇、 $\frac{1}{2}$

〇、 $\frac{1}{2}$

〇、 $\frac{1}{2}$

〇、 $\frac{1}{2}$

六、〇

六、〇

四、〇

四、〇

六、〇

六、〇

一、 $\frac{1}{2}$

一、〇、〇

六、〇

一、〇、〇

四、〇

五、〇

四、〇

五、〇

六、〇

一、〇、〇

五、〇

一〇、〇

六、〇

大理石ハ一立方呎毎ニ
 「コンクリート」用礫ハ每噸
 煉瓦、瓦土管類
 「ガター、パン、マセマチカル」及「ブレインタイルス」千個毎ニ
 煉瓦及ヒ敷用瓦千枚毎ニ
 硝子類
 硝子又ハ陶器ハ每籃
 金屬類
 鐵製瓦斯管ハ每噸
 銅、白鐵、真鍮其ノ他ノ金屬ハ每噸
 古鐵其ノ他
 古鐵、古索、襪襪等
 會社ノ軌條及「クロッスシンク」每噸
 空容器類
 空桶其ノ他ハ一個毎ニ
 雜貨

硫酸ハ每瓶
 死屍ハ一個毎ニ
 「ラルガン」ハ一個毎ニ
 「ピアノ、ハーブシヨルド、ハーブ」又ハ「バス、バイラル」ハ一個毎ニ
 「パイプ、スタフ」ハ百個毎ニ
 埠頭稅及倉庫料

種物類及穀物毎「クラーター」 石炭、材木、板類及ヒ凡テノ貨物品ニシテ右ニ列記セサルモノ毎噸 ○注意一週間未滿ハ一週間トシテ課稅ス	埠頭稅	倉庫料
	每	每
一片	二片	

船舶噸稅

繫港 船内場 ニヨ	繫港 船内場 ニヨ	四十噸未滿	四十噸以下 八十噸未滿	八十噸以上 百噸未滿	百五十噸以上 二百噸未滿	二百五十噸以上 二百噸未滿	二百噸	二百噸ナ キ超
一〇	一〇	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	入港又ハ出港 ナルトキ二十 五噸毎ニ五志 ナ附加ス

船舶ノ載貨ヲ荷卸スルタメニ繫船場ヘ又ハ繫船場ヨリ曳引セラル、解舟ハ各航ニ對シテ五志ヲ課セラル

當港ヲ使用スル漁船ニシテ其噸數四十噸以下ナル者ハ繫船場ヨリ港内ニ入ル際ハ七志港内ヨリ繫船場ニ向フ時ハ五志ヲ課セラル又其噸數四十噸ヲ超ユルモノハ繫船場ヨリ港内ニ入ル際ハ十志港内ヨリ繫船場ニ向フ際ハ七志六片ヲ課セラル、モノトス

規則

凡ソ内港又ハ外港ニ航シ而シテ荷卸スル爲メノ錨地ニ曳カル、船舶ハ曳船料ヲ仕拂フヘキモノトス
曳船料仕拂後當港ノ或部分ヨリ他ノ部分ニ其位置ヲ轉センカ爲メニ曳船用汽船ヲ求ムル船舶ハ左ノ負擔ニ任スルモノトス

二百噸(登簿噸數)以下ノ船舶ハ各々五志
二百噸()ヲ超ユル船舶ハ各々十志

破損シ障礙ヲ受ケ若クハ荒天ニ遭遇スル等艱難セル船舶ノ曳船料ハ曳船用汽船ノ長又ハ港務長ト協議ノ上定メラル

前掲ノ課稅ハ、**ローウエストフト**港ト北方ニアル**ロウライトハウス**及南方ニ位スル**クレアモント**、**バアルト**ノ間ニ適用セラル
右ノ範圍ヲ超エ而カモ北方ニ位スル**モデル**、**ヨット**、**ボンド**ト南方ニ位スル**ノース**、**ウエスト**、**ニューカム**、**アイト**ヲ連ネタル一線上ノ一點ヲ超エサル時ハ前掲課稅ノ二倍ヲ課ス
ローウエストフトト**スタンウアルド**、**ガット**トノ間又ハ**シヨール**ヲ過クル場合ニハ前掲課稅ノ三倍ヲ

課ス

漁船ニシテ若シ時間極メニテ曳カル、場合ハ每一時間一磅ヲ課ス但最底課稅額ヲ一磅トス
他ノ曳船用汽船ニヨリテ港内ニ曳カレタル後港内ノ或部分ヨリ他ノ部分ニ轉センカ爲メニ當會社ノ曳船用汽船ノ補助ヲ求ムル船舶解舟若クハ難破船ハ通常曳船料ノ半額ヲ仕拂フヘキモノトス
救難「ポンプ」ノ使用料トシテ晝間ハ毎時二磅夜間ハ毎時二磅十志ヲ課ス但水夫ノ定時外勞働時間ヲ包含ス

曳船用汽船ノ曳綱ヲ使用スル場合ハ右ニ述ヘタル課稅ニ附加シテ其使用料ヲ徴收ス
曳船料ハ港稅務所ニ仕拂フヘシ

繫船場ヨリ沖ニ又ハ沖ヨリ曳船セラレントスル船舶ハ曳船用汽船ノ長又ハ港務長ト協定スヘシ
注意 當會社ハ當港ノ便益ニ供センカ爲メ曳船用汽船ヲ備フト雖左ノ條件ノ下ニ於テノミ曳船ヲ爲スモノナリ信號ニ應シテ常ニ直ニ曳船用汽船ノ出發スルコトハ當會社ノ保證スル所ニ非ラス曳船用汽船ノ船長及水夫ハ其職務ヲ行フニ當リテ能ク其被曳船ノ爲メニ考慮スル所アルヘシ當會社ハ曳船又ハ被曳船ノ惹起シ若クハ被ルコトアルヘキ損害ニ對シテハ其如何ナル原因ニ基クトモ何等其ノ責ニ任スルコトナシ被曳船若クハ其積荷ノ所有者ソノ他ノ利害關係人ハ自カラ其損害ヲ負擔シ當會社ヲシテ其責ニ任スルコトヲ免カレシムヘシ汽船ノ入船渠及出船渠ニ當リテ課スル料金ハ船舶ノ登簿噸數ニ依ラスシテ其總噸數ニ因ル船舶ノ入船渠及出船渠(支柱綱并ニ「ポンプ」ノ使用ヲ包含ス)料金左ノ如シ

登簿噸數百五十噸未滿ノ船舶

五、〇〇、〇片

〃 百五十噸以上二百噸未滿ノ船舶

六、〇〇、〇

登簿噸數二百噸以上二百五十噸未滿ノ船舶

七、〇〇、〇

登簿噸數二百五十噸以上三百噸未滿ノ船舶

八、〇〇、〇

登簿噸數三百噸以上四百噸未滿ノ船舶

一〇、〇〇、〇

登簿噸數四百噸以上六百噸未滿ノ船舶

一四、〇〇、〇

登簿噸數六百噸以上八百噸未滿ノ船舶

一八、〇〇、〇

登簿噸數八百噸以上千噸未滿ノ船舶

二二、〇〇、〇

登簿噸數千噸以上千二百噸未滿ノ船舶

二六、〇〇、〇

登簿噸數千二百噸以上千四百噸未滿ノ船舶

三〇、〇〇、〇

毎一日ノ船渠使用料

登簿噸數百五十噸未滿ノ船舶

一六、六

〃 百五十噸以上二百噸未滿ノ船舶

一〇、〇、〇

登簿噸數二百噸以上二百五十噸未滿ノ船舶

一〇、三、六

登簿噸數二百五十噸以上三百噸未滿ノ船舶

一〇、七、〇

登簿噸數三百噸以上四百噸未滿ノ船舶

一、一四、〇

登簿噸數四百噸以上五百噸未滿ノ船舶

二、〇一、〇片

登簿噸數五百噸以上六百噸未滿ノ船舶

二、〇七、〇

登簿噸數六百噸以上七百噸未滿ノ船舶

二、一四、〇

登簿噸數七百噸以上八百噸未滿ノ船舶

三、〇一、〇

登簿噸數八百噸以上九百噸未滿ノ船舶

三、〇八、〇

登簿噸數九百噸以上千噸未滿ノ船舶

三、一五、〇

登簿噸數千噸以上千二百噸未滿ノ船舶

四、〇九、〇

登簿噸數千二百噸以上千四百噸未滿ノ船舶

五、〇三、〇

入船渠申込ノ際港稅務所ニ仕拂フ一磅ノ手數料ハ若シ當該船舶ノ入船渠セサル時ハ之レヲ沒收シ船渠使用料ヲ仕拂ヒタル時ハ之レヲ返還ス

漁 船

船渠ヲ開クニ付キテ課スル最低額

五、〇〇、〇

四隻以上八漁船(蒸氣ニヨル運搬船及ビ「トロール」船ヲ含ム)ニ

一、一〇、〇

ハ各々

許可時間ハ正一日トス

船渠規則

一、一日(二十四時間)ハ正午ニ於テ終了ス一日未滿ノ部分ハ一日トシテ課税ス

二、船舶ハ船渠従業日數タル十四日間ヨリ長ク殘留スルコトヲ得ス但特別ノ合意アル場合ハ此限ニアラス

三、船舶ノ入船渠又ハ停止ノ際傷害ヲ加ヘタル支柱ニ對シテハ各々一志乃至二志六片(傷害ニ應シテ)ヲ附加徴收ス

四、滑車及ヒ之レヲ定著スルコトハ船渠使用者ノ負擔トス滑車ノ排置其ノ當ヲ得サルカ爲メ又ハ滑車ニ付キテ不注意等アリタルカ爲メニ船舶ニ及ホスコトアルヘキ損害ニ對シテハ當會社ハ毫モ其責ニ任セス

五、船舶ノ入船渠前港務事務所ニツキテ合意ニ署名スヘシ

注意 二隻以上ノ船舶ノ同時ニ入船渠スル場合ハ入船渠料ノ三分ノ一ヲ減ス

詳細ハ港務長ニツキテ承合スヘシ

漁船及水先案内船ノ造船架使用料ヲ一磅十志トス餘分ノ日數ニ對シテハ凡テ一日十二志ヲ課ス

船舶ノ造船架使用料

登簿噸數五十噸未滿

二〇〇〇、〇〇片

登簿噸數五十噸以上百噸未滿

二、一〇〇、〇〇片

百噸以上二百噸迄ハ每噸

六

船舶ハ五十噸ヲ超過スル脚荷積込ノマ、造船架ニ上ルコトヲ得ス

船舶ハ港務事務所ノ定ムル順番ニ造船架ノ使用ヲナスヘキモノトス但不慮ノ災厄事變等ノ爲メ大修繕ヲ要スル漁船ハ港務長ノ見込ニヨリテ其順番ニ拘ラス直ニ其使用ヲ許サルヘシ

乾燥船渠使用料

四隻ヨリ少ナキ漁船ノ同時ニ入渠スル場合ハ各々一磅十志ヲ徴收セラル入渠順番ニ編入セラル、際港務所ニ對シテ漁船ノ仕拂ヒタル五志ノ手數料ハ若シ當該船ノ入渠セサル時ハ之レヲ沒收ス其船渠使用料ヲ仕拂ヒタル時ハ之レヲ返還ス

賣却税

當荷揚場ニ繫船セル漁船ノ賣却及當市場ニ於テスル漁網及「ジャー」ノ賣却ニ對シテハ各々ノ賣買ニ付キテ一磅一志ヲ課税ス

日税

登簿噸數五十噸以上百噸未滿ハ每噸

二片

百噸以上二百噸迄ハ每噸

一志

注意 日曜日「クリスマスデー」及「グッド、フライデー」ニハ課税セス

「ハアドウエイ」税

- 一、留マル事ヲ許サレタル漁船ハ三十六時間ニ對シテ
- 二、其後ハ每潮

一〇、〇片

五、〇

- 三、漁業ニ従事セサル船舶ハ左ノ割合ニヨル「ゼ、ハアド」ニ泊スル帆船ニ對シテハ三十六時間ニ對シテ登簿噸數每噸

二

其後ハ每潮

一〇、〇

- 四、船舶ハ「ゼ、ハアド」ニ於テハ掃除スルコトヲ得ルノミニシテ如何ナル事情アルモソノ修繕ヲナスヲ得ス

- 五、船舶ハ凡テ港稅務所備附ノ順番簿ニ記入ヲナシ其記入順ニ交代スヘシ

- 六、課稅ハ遲滞ナク仕拂フヘシ

- 七、凡テ爭議ハ之レヲ港務長ニ訴フヘシ港務長ハ又「ハアド」ノ仕事ヲ管理ス

注意 日曜日「クリスマスデー」及「グッドフライデー」ニハ課稅セス

凡テノ貨物ニ對シテ課スル扛重機使用料ハ一噸毎ニ六片トス(外國噸ニヨル)

一八八五年一月リバープール、スツリートステーションニ於テ

貨物係

ダフルユ、ガードナー

ローウエストフト魚市場取締規則

第一條 ソノ甲板ノ有無ヲ問ハス凡テ販賣センカ爲メニ港内ニ魚ヲ移入スル船舶ハ以下ノ規定ニ從ヒテ正當ノ魚市場附近ニ碇泊若クハ繫留スルコトヲ要ス港務長ノ許可アル場合ノ外當港内ノ他ノ場所ニ於テ碇泊若クハ繫留スルコトヲ許サス

第二條 大曳網又ハ絲ニヨリテ獲タル魚ハ「トロール」市場ニ於テノミ陸上及販賣スルコトヲ得其他ノ魚ハ第四條ノ場合ヲ除クノ外該市場ニ於テ陸上又ハ販賣ヲナスコトヲ得ス

第三條 鯨ハ鯨及鯖市場ニ於テノミ之レヲ陸上及販賣スルコトヲ得但第四條ノ場合ハ此限ニアラス 鯖以外ノ其他ノ魚ハ當該市場ニ於テ之レカ陸上又ハ販賣ヲナスコトヲ得ス

第四條 鯖ハ之レヲ「トロール」市場若クハ鯨及鯖市場ニ於テ陸上及販賣スルコトヲ得 非常ナル漁獲ノ爲メニ販賣ノ目的ヲ以テ魚ヲ移入スル船舶ヨリ合理的の敏活ヲ以テ荷卸セントスルモ正當ノ魚市場ニ餘地ナキ場合ハ港務長ハ船長ノ申請ニヨリテ市場若クハ公ノ荷揚又ハ私ノ埠頭トナレル當會社構内ノ他ノ便利ナル場所ニ於テ魚ノ荷卸ヲナスコトノ許可ヲ書面ニヨリテナスコトヲ得 但港務長カ必要ナル同意書ヲ得且之レヲ市場書記ニ交付シタル場合ニ限ル

第五條 販賣ノ目的ヲ以テ當港内ニ魚ヲ移入スル各船舶ハ直ニ其荷上ヲ爲シ且ッ荷上ノ爲ニ必要ナル時間ヨリ長ク荷上場ニ留マルヘカラス

第六條 鯨及鯖市場ニ於テ荷上ヲナス各船舶ハ必ス其船首ヲ碇繫スヘシ

第七條 「トロール」市場ニ於テ荷上ヲナス各船舶ハ必ス横附ケニ碇繫スヘシ

第八條 船舶ハ先ツ其網ヲ除去シタル後ニ非ラサレハ魚市場ノ傍又ハ其附近ニ來ルコトヲ得ス

第九條 船舶ハ前掲ノ諸市場ノ何レカニ向ヒテ進ミ又ハ之レヨリ出行キ又ハ此ニ荷上シ又ハ其他ノ方法ニヨリテ之レヲ使用スル他ノ船舶ヲ不合理ニ妨碍スヘキ地位ニ於テ碇泊シ若クハ繫留スルコトヲ得ス

第十條 何レカノ市場ニ於テ魚ヲ荷上シタル船舶ハ内部南防波堤ノ北側又ハ内部北防波堤ノ南側ニ碇泊又ハ繫留スヘカラス

第十一條 前掲諸市場ノ何レカニ向ヒテ進行シ又ハ之レヨリ出行キ又ハ其附近ニ泊スル船舶ニ對シテハ何人モ故意ニ妨碍ヲナスヘカラス

第十二條 船舶ハ何レカノ魚市場ヨリ又ハ此ニ於テ脚荷、網ソノ他ノ需用品ヲ積込若クハ荷卸スヘカラス

第十三條 前掲諸市場ノ何レカニ於テ魚ヲ陸上シタル者ハ其陸上後十二時間以内ニ於テ當該市場ヨリ之レヲ撤去シ又ハ撤去セシムヘシ

第十四條 前掲諸市場ノ何レカニ於テ又ハ之レニ通スル當會社附屬ノ道路若クハ入路ニ於テ腐肉又ハ有害物ヲ隨時床下ニ遺留スルコトハ何人モ之レヲ爲スヘカラス又何人モ當市場ニ於テハ販賣ノ爲メ

ニ魚ヲ清潔ニシ或ハ之レヲ小賣スヘカラス

第十五條 何人モ前掲魚市場ノ何レカニ於ケル柱「ランブ」柱「ボンブ」又ハ建物ニ貼紙等ヲナシ若クハ爲サシメ或ハ其外觀ヲ傷ケ若クハ傷ケシムヘカラス又何人モ當會社ノ命ニヨリテ設ケタル廣告板ヲ毀損シ或ハ當會社ノ命ニヨリテナシタル告示ヲ破壊又ハ塗抹スヘカラス

第十六條 當市場ノ何レカニ於テ又ハ之レニ通スル當會社附屬ノ道路、馬車道若クハ入路ニ於テハ凡テノ種類ノ空容器又ハ包ヲ遺留シ又ハ凡テノ種類ノ桶仕事ヲ爲スヘカラス

第十七條 鹽漬ニセントシ又ハ鹽漬中ニアル鯨ソノ他ノ魚ヲ包含スル樽又ハ包ハソノ種類ヲ問ハス凡テソノ魚ヲ詰始メ又ハ包始メタル時ヨリ十二時間以内ニ之レヲ當魚市場ヨリ搬出スヘシ

第十八條 此規則ノ第十三條第十四條第十六條又ハ第十七條ニ違反スル場合ハ當會社ノ使用人ハ適法ニ市場又ハ當會社構内ヨリ魚、空容器、包及ヒ樽ヲ或便宜ノ場所ニ移スコトヲ得

第十九條 當市場ニ於テハ魚以外ノ貨物ヲ發賣スヘカラス當會社ノ使用人ハ斯ノ貨物ノ販賣人ニ對シテ禁止ヲ命シ又必要ノ場合ニ於テハ之レヲ撤退セシムルコトヲ得

第二十條 此規則ニ背反スル者ハ五磅ノ過料ニ處セラルヘシ但右ノ過料取立ノ訴ヲ受ケタル判事ハ其全額又ハ一部ノ仕拂ヲ命スルコトヲ得

第二十一條 此規則ニ於テ「港務長」トハ一八四七年ノ港灣、船渠及防波堤法第二條ニ於テ定メタル意義ノ港務長ヲ云フ

此規則ニ於テ市場書記トハ港務長ノ補助者ヲ云フ
此規則ニ於テ船舶ト云ヒ「長」ト云フハ前掲法律第三條ニ定メタル「船舶」又ハ「長」ニ同シ
「トロール」市場トハ一八六五年ノ大東鐵道(資本等)法第十四條ニ於テ規定スル魚市場ノ一ニシテ北部
防波堤ニ在ルモノヲ云フ

鯨及鯖市場トハ前掲諸魚市場以外ノモノヲ云フ

一八八四年十一月十九日倫敦リバプール「ステーション」ニ於テ秘書シー、エー、ハドフ井ールドノ面
前ニ於テ茲ニ大東鐵道會社ノ公印ヲ鈐ス

一八八五年一月九日「カウンティ、オブ、サツフアルク」ノ爲メイブス井クニ開設シタル「ゼネラル
カウト、オブ、クワイター、セツション、オブ、ピース」ハ法律ニ從ヒテ右ローウエストフト魚市
場取締規則ヲ認可ス

大東鐵道會社(資本等)法 (一八六五年)

ローウエストフト港取締規則

第一條 當港ニ入港スル船舶ハ凡テ其船頭斜桅又ハ三角帆張出材及補助帆用杠ヲ除去シ其低帆桁ヲ反
對ノ方向ニ廻ハシ若クハ之レカ一端ヲ引上ケ且其錨ヲ甲板上ニ引上クルカ又ハ之レヲ船首ニ懸吊ス

ヘシ

第二條 外港又ハ内港ニアル船舶ハ港務長ノ許可アルニ非ラサレハ碇泊スヘカラス

第三條 凡テ船舶ハ外部防波堤ノ岬端ノ東方、北部又ハ南部防波堤ノ何レノ部分ヨリスルモ三百碼以
内ノ場所ニ碇泊若クハ在留スルコトヲ得ス

凡テ船舶ハ前掲ノ外港ニ他ノ船舶ノ出入スルノ妨トナル如クニ碇泊若クハ在留スヘカラス

第四條 凡テ船舶ハ内港ヘノ航路ヲ妨ケ又ハ内港ニ出入シ若クハ出入セントスル他ノ船舶ヲ妨クル地
位ニ碇泊又ハ在留スヘカラス

第五條 當港内ニアル船舶ハ必ス港務長ノ命スル場所ニ碇泊又ハ在留スヘシ

第六條 直ニ魚ノ陸上ヲ爲サントスル漁船外ノ船舶ハ外港ノ何レノ場所ニ於テモ碇泊又ハ在留スヘカ
ラス但港務長ノ許可アル時ハ此限ニアラス

第七條 外港又ハ内港ニ出入セントスル船舶ハ晝ハ國旗ヲ橋頭ニ揚ケ夜ハ最モ認メ易キ場所ニ白燈一
個ヲ點スヘシ

第八條 入港シタル船舶ハ直ニ水閘ノ南側ニアル見張所及港稅務所ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第九條 出帆免狀ヲ得ントスル船舶ハ午前九時ヨリ午後六時迄ノ間ニ其稅關證書、積荷目錄及ヒ船荷
證券ヲ港稅務所ニ提出スヘシ

日曜日ニ於テハ船舶ハ出帆免狀ヲ得サルヘシ

第十條 凡テ船舶ハ其出港前出帆免狀ヲ受ケ且航海券ヲ見張所ニ交付スヘシ

第十一條 船舶ハ港務長ノ許可スル場所ヲ除クノ外掃除、修繕、販賣又ハ其他ノ目的ヲ以テ港内ノ海ニ寄ルヘカラス但漁船ハ從前ノ通其掃除ノ爲メニ外港ヲ使用スルコトヲ得

第十二條 漁船外ノ船舶ハ脚荷「ドロップ」外ノ場所ニ於テハ港内ニ於テ脚荷ヲ積込ムヘカラス但港務長ノ承認アル時ハ此限ニアラス

第十三條 「バラストドロップ、ハテントスリツブ、ハアド、ヅライドツク、コール、ホイスト、クレーン」船頭、倉庫、市場ソノ他當會社ノ供給スル便利品ノ使用カ船舶ニ對シテ要求セラル、場合又ハ船舶カ或錨地ニ於テ荷積若クハ荷卸スル爲ニ其使用ヲ欲スル場合ニ於テ當該船舶ハ港務長ノ命スル順番ニヨラサルヘカラス

船舶ノ荷卸時期ヲ詐リテ報告スル票證書又ハ覺書ニシテ其署名シタルモノヲ船長ニ交付シ又ハ交付セントスル計手并ニ情ヲ知リテ右ノ票、證書又ハ覺書ヲ當會社ノ役員又ハ使用人ニ交付シ又ハ交付セントスル船長ハ此規則違反ノ責アルモノト看做サル

第十四條 港内ニアル船舶ノ位置ヲ轉スルノ必要アルモ其目的ノ爲メニ要スル水夫ノ乗組ナキ場合ニ於テ港務長ハ該船移轉ノ爲メニ要スル人員ヲ使用シ且ソノ費用ヲ船長ニ課スルノ權ヲ有ス

第十五條 港務長又ハ其適當ニ授權シタル者以外ノ者ハ防波堤港内ノ或場所當會社ノ構内又ハ港内ニアル船舶ヨリ喚呼ソノ他ノ方法ニヨリテ或ル船舶（ソノ港内ニアルト港外ニアルトヲ問ハス）航海

若クハ取扱ヲ管理シ支配シ若クハ變更スヘキ命令指揮ヲ與ヘ又ハ與ヘントシ或ハ或方法ヲ以テ其航海若クハ取扱ヲ管理シ支配シ若クハ變更セントスルコトヲ得ス

第十六條 港務長ノ許可アルニ非サレハ何人モ南部防波堤ニ上陸シ又ハ此ヨリ乗船スルコトヲ得ス何人モ港務長ノ命令ニ反シテ港内ノ或場所ニ上陸シ又ハ此ヨリ乗船スルコトヲ得ス但詐欺ノ意思ナクシテ生命又ハ財産ヲ救済スル爲メ緊急ナル場合ハ此限ニアラス

第十七條 其如何ナル目的タルヲトハス何人モ規定ノ課税ヲ仕拂フコトナクシテ南部防波堤ノ使用ヲナスコトヲ得ス但詐欺ノ意思ナクシテ生命又ハ財産ヲ救済スル爲メ緊急ナル場合ハ此限ニアラス

第十八條 當會社又ハ港務長ノ定ムル時間内ヲ除クノ外何人モ南部防波堤ヲ步行シ使用シ又ハ此ニ在留スルコトヲ得ス

第十九條 港務長ノ許可アルニ非ラサレハ當會社ノ使用人又ハ官吏外ノ者ハ現ニ柵ヲ繞ラシ又ハ遮斷シ或ハ時々柵ヲ繞ラシ又ハ遮斷スルコトアルヘキ北部防波堤ノ極所ヲ步行シ又ハ之ニ在留シ又ハ幾分ニテモ之レニ立入り又ハ之レヲ使用スルコトヲ得ス

第二十條 難破物ハ其種類ヲ問ハス凡テ之ヲ内港又ハ外港ノ海岸ニ置クコトヲ得ス但港務長ノ認可アル場合ハ此限ニアラス

第二十一條 當會社又ハ港務長ガ前以テ書面ニヨリテ爲シタル認可アル場合ノ外爆發物若クハ燃燒物或ハ健康ニ害アル物或ハ港内ニ障害ヲ生セシムル物若クハ生セシムルノ虞アル物ハ之レヲ當港ニ輸

入シ又ハ當港ヨリ輸出シ又ハ當港ニ移入シ又ハ之レヲ當會社ノ防波堤荷上場、工作物若クハ構内ニ持來ルコトヲ得ス

爆發物又ハ燃燒物或ハ健康ニ害アル物或ハ障害ヲ生セシムル物又ハ其虞アル物ヲ乘込メル船舶ノ長若クハ管理者ハ當港内ニ碇泊後二時間以内ニ於テ其物品ノ明細書ヲ港務長ニ呈出スヘシ港務長又ハ其補助者ハ其見込ニヨリテ斯カル船舶ニ對シテハ其命スルコトヲ得ヘキ港内ノ或場所ニ碇繫スヘキコトヲ命スルコトヲ得又ハ其港外ニ出ツヘキコトヲ命スルコトヲ得此命令ニ違反スル時ハ港務長ハ適法ニ該船舶ヲ港外ニ撤去セシメ又ハ該爆發物若クハ燃燒物ヲ安全ナル場所ニ貯藏シ及該不健康物ヲ撤去シ障碍ヲ除去スルコトヲ得

右ノ事情ニヨリテ港務長ノ蒙リタル費用ハ當該船舶ノ長之レヲ仕拂フヘキモノニシテ同一方法ニヨリ且ツ此規則違反ニ對スル過料取立ト同様ノ方法ニテ該船長ニ對シ及該船舶ニ對シテ之レヲ取立ツルモノトス

第二十二條 當會社ノ防波堤荷上場工作物又ハ構内ニ於テハ何人モ火若クハ點火セル蠟燭ヲ所持シ若クハ所持セシムルコトヲ得ス但當會社又ハ港務長ノ許可スル時及方法ニ於テスル時ハ此限ニアラス

第二十三條 何人モ故意又ハ惡意ヲ以テ港内ニ船舶ヲ碇泊又ハ繫留セシムル爲メノ綱又ハ其他ノ物ヲ切斷シ又ハ毀損スルコトヲ得ス港務長ノ同意ヲ得テ船舶ノ碇泊シタル時ハ港務長ノ明示ノ許可アル場合ノ外何人モ之レヲ變更シ若クハ撤去シ或ハ變更若クハ撤去セントスルコトヲ得ス

第二十四條 何人モ港内ノ或場所ニ繫留シ又ハ碇泊スル船舶ヲ漂流セシメ若クハ不法ニ解放スヘカラス

右ノ行爲ヲナシ又ハ爲サントシタル者ハ此規則違反者トシテ後ニ掲クル過料ニ處セラルヘシ

第二十五條 當港ニ於テ船舶ノ運用ニ與ル船長、機關士、水夫又ハ其他ノ者ニシテ其從業中酩酊セル者及當港ニ於テ荷クモ從業シ又ハ雇傭セラル、者ニシテ職務執行中ニアル港務長又ハ當會社ノ他ノ使用人ニ對シテ誹謗侮辱ノ言ヲ弄スル者ハ此規則違反者ト看做シテ後ニ掲クル過料ニ處セラルヘシ

第二十六條 何人モ脚荷、灰、石又ハ其他ノモノヲ港ニ投棄スヘカラス

第二十七條 何人モ當港ノ或部分ヨリ岩、砂利、石、礫、土、砂又ハ其他ノ物ヲ採取シ若クハ採取セシメ以テ脚荷又ハ其他ノ用ニ供スルコトヲ得ス但港務長ノ決定シ指定スル時、場所及方法ニヨル時ハ此限ニアラス

何人モ荷上場、堤防又ハ曳船路又ハ當會社ノ港用工作物ヨリ粘土、石ソノ他ノ物ヲ取去ルヘカラス

第二十八條 港務長カ其除去ヲ命シタル後荷上場、防波堤又ハ當會社ノ構内ニ物品ノ殘留スルコトヲ許サス

第二十九條 何人モ内港又ハ外港ヨリ出入スル船舶ヲ故意ニ妨ケ又ハ妨ケントスルコトヲ得ス

第三十條 何人モ當會社構内ニ於テ無禮無作法ノ行動ヲナシ又ハ淫猥、脅迫、侮辱又ハ招怒ノ言語若クハ舉動ヲ爲スヘカラス

何人モ港内又ハ當會社構内ニ於テ洗浴シ又ハ無作法ナル露出ヲナスヘカラス

第三十一條 何人モ防波堤ソノ他當會社構内ニアル柱、「ランブ」柱、柵、垣、壁、建物又ハ當港内ニアル船舶、杙又ハ浮標ニ樂書スヘカラス

何人モ當港内又ハ當會社構内ニ於テ貼紙等ヲ爲シ又ハ爲サシムヘカテス

第三十二條 何人モ當會社ノ設置シタル課稅表、告示板又ハ手書若クハ印刷シタル告示ヲ毀損スヘカラス

第三十三條 何人モ防波堤水閘壁又ハ荷上場又ハ當會社構内ニ於テ佇立若クハ彷徨シ以テ事務ノ執行ヲ妨ケ若クハ當會社使用人ノ職務ノ執行ヲ妨ケヘカラス

第三十四條 入港又ハ出港ノ禁止ノ信號中ハ凡テ船舶ハ内港ヨリ出入シ又ハ旋開橋ノ側面ヲ去ル百碼以内ニ近寄ルヘカラス

右ノ信號ハ晝ハ北部水閘壁上ニ赤旗ヲ掲ケ夜ハ旋開橋ノ中央ニ赤燈一個ヲ點シテ之レヲ爲ス

第三十五條 夜間旋開橋ノ中央ニ綠燈一個ヲ點スル時ハ船舶ハ内港ニ入ル爲メニ近寄ルコトヲ得但北部水閘壁上ニ明光燈一個ヲ點スル迄ハ旋開橋ヨリ百碼以内ニ來ルコトヲ得ス

第三十六條 船舶ハ港務長ノ指揮ニ反シテ外港ニ出入シ又ハ出入セントシ或ハ内港ニ出入シ又ハ出入セントスルコトヲ得ス各々ノ船舶ハ港務長ノ定ムル順序ニ於テノミ出入スルコトヲ得

第三十七條 旋開橋ノ開カル、時又ハ其閉閉ノ途中ニアル時又ハ船舶ニ對シテ通過信號ヲナシタル後

ハ當會社使用人ニ非ラサル者ハ旋開橋上ニ在留シ又ハ水閘ノ何レカノ側ニ在ル公道ヲ横キリテ設ケラレタル障碍物内ニ立入ルベカラズ斯ノ障碍物ハ晝ハ鎖ヲ以テシ夜ハ木板ヲ以テス

第二十八條 旋開橋ヲ横切ラントスル歩行者ハ其右側ヲ通行スヘシ而シテ之レヲ横切ル爲メニ合理的ニ必要ナルヘキ時間ニ限り其上ニ在留スルコトヲ得

第二十九條 何人モ決シテ旋開橋上ニアル通行者ニ妨碍ヲナシ不便ヲ生セシメ又ハ遲延ヲ生セシムヘカラス

第四十條 車又ハ動物ノ看守者ハ港務長ノ定メタル順序ニ反シテ旋開橋ヲ通過シ又ハ通過セントスヘカラス

第四十一條 車、櫓又ハ動物又ハ樽、桶、籠類又ハ貨物ヲ看守スル者ハ旋開橋通過ノ爲メニ合理的ニ必要ナルヘキ時間ヨリ長ク其上ニ此等ノモノヲ在留セシムヘカラス

第四十二條 何人モ旋開橋又ハ水閘又ハ之レニ通スル入路上ニ於テ無禮、無作法ノ舉動ヲナシ又ハ脅迫、侮辱等ノ言ヲ弄スルコトヲ得ス

第四十三條 木材、板又ハ其他ノ物ハ前以テ港務長ノ許可アル場合ノ外港内ニ於テ之レヲ浮流セシムヘカラス又右ノ物ハ港務長ノ時々定ムル場所ニ於テ及注意及結締ヲ以テスルニ非ラサル浮流セシムルコトヲ得ス

第四十四條 船舶ノ長又ハ其管理者ハ第一條乃至第十四條第二十一條乃至第二十三條及第三十六條乃

至第三十八條ノ規定ニ違反スル其水夫ノ行爲ニ對シテ責ニ任ス而シテ之レカ爲ニ呼出ヲ受ケ及刑ノ言渡ヲ受クルコトアルヘシ尙犯罪者ニ課セラレタル罰金又ハ科料ヲ仕拂フノ責ニ任ス

第四十五條 市場ニ荷上場又ハ當會社構内ノ其他ノ部分ニ於テ日曜日ニ陸上セラレタル貨物商品魚(鱈及「トロール」魚ヲ除ク)又ハ其他ノ物品ハ港務長ノ許可アルニ非サレハ翌日迄取去ルコトヲ得サルモノトス

第四十六條 「ニューザンス」ノ検査役ノ意見ニヨリテ有害又ハ「ニューザンス」ナリトスル魚又ハ物品ノ所有者若クハ管理人ニ對シテ港務長カ其除去スヘキ旨ヲ通知シタル時ハ何人モ之レヲ荷上場、市場又ハ當會社構内ノ他ノ場所ニ留ムルコトヲ得ス

右ノ通知後三時間以内ニ於テ完全ニ其履行セラレサル時ハ港務長ハ適法ニ右ノ魚又ハ物品ヲ撤去シ且之レヲ破棄シ若クハ賣却スルコトヲ得之レヲ賣却シタル時ハ其賣上高及凡テノ費用ヲ該所有者ニ歸セシム

本條ノ規定ハ前掲ノ検査役ニヨリテ有害ナリトセラレ又ハ「ニューザンス」ト認めラレタル魚ノ全體ノ堆積一山一籃又ハ一包ニ之レヲ適用ス而シテ有害又ハ「ニューザンス」タラシムル魚ヲ區別スルヲ要セス其全部ノ堆積一山一籃又ハ一包カ前述ノ如ク廢棄セラレ又ハ賣却セラル、ニ至ルモノトス

第四十七條 船舶ハ港務長ノ許可アルニ非ラサレハ十四日間ヨリ長ク造船架上ニ又三十六時間ヨリ長ク「ハアド」ニ留マルコトヲ得ス

第四十八條 船舶カ規定ノ期間以上ニ造船架又ハ「ハアド」上ニ留マル時ハ當會社ハ適法ニ其船舶ヲ撤去スルコトヲ得而シテ該船ノ船長ハ當會社ニ對シテ其撤去費用ヲ凡テ賠償スルノ責ニ任スルモノトス

當會社ニ對シテ適當ニ仕拂ハルヘキ右ノ費用ノ完済ニ至ル迄當會社ハ右ノ船舶ヲ港内ニ抑留スルノ權ヲ有ス

第四十九條 港務長トハ一八四七年ノ港灣船渠及防波堤法ニ於テ之レニ對シテ與ヘタル意義ノモノヲ云フ而シテ港務長ヲ補助スル爲メ又ハ其不在中(不在ノ原因如何ヲ問ハス)ソノ義務ヲ盡スタメニ當會社ニヨリテ授權セラレタル者ヲ包含ス又此規則ノ目的ノ爲メニハ(前掲法律ニ「所謂補助者」中ニ入ル他ノ者ノ外)代理港務長、南部防波堤稅收入役、魚市場検査役及ヒ旋開橋監督ハ之レヲ港務長ノ補助者ト看做ス

第五十條 船舶トハ前掲法律ニヨリテ之レニ與ヘタル意味ヲ有スルモノニシテ漁業ニ使用セラル、ト否トヲ問ハス無甲板船ヲ包含ス

第五十一條 港トハ外港及内港ヲ意味ス但文脈上ソノ一ヲ示ス時ハ只其一ヲ意味ス

第五十二條 外港トハ旋開橋ニ至ル範圍ノ港ヲ云フ旋開橋ヲ含マス

第五十三條 内港トハ前條ニ含マレサル港ノ範圍ヲ云フ現在又ハ過去ノ「ローシング」湖ノ場所ヲ包含ス

第五十四條 會社トハ大東鐵道會社ヲ云フ「書面ニヨリ」トハ全部又ハ一部印刷又ハ手書セラレタル文
書ヲ包含ス「人」ハ集合又ハ單一ノ法人ヲ含ム文章ノ構造ニ差支ナキ限り其單數ハ複數ヲ含ム

第五十五條 此規則ニ違反スル者ハ其何レノ違反ニ對シテモ五磅以下ノ過料ニ處セラルル加之港務長又
ハ港務長カ其目的ノ爲メニ授權シ得ル人ニヨリテ直ニ會社ノ構内ヨリ撤退セシメラル

右ノ過料ハ之レニ關スル法令又ハ權力ニヨリ並ニ一八六五年ノ大東鐵道(資本等)法及之レト合併シ
タル法律ニヨリテ取立テラレ強制セラレ及適用セララル

第五十六條 此規則ハ「ローウエストフト」魚市場取締規則ヲ廢シ又ハ之レニ影響ヲ與フルモノニ非ラス
但明ニ其相容レサル限度ニ於テハ此限ニアラス右ノ魚市場取締規則ハ(前述ノ場合ヲ除ク)有效ニシ
テ拘束力アルモノナリ

秘書シ、エー、ハツドフ井ールドノ面前ニ於テ茲ニ大東鐵道會社ノ印ヲ鈐ス

右ノ取締規則ヲ認可ス

一八七四年二月十三日

シー、イー、ホロツク

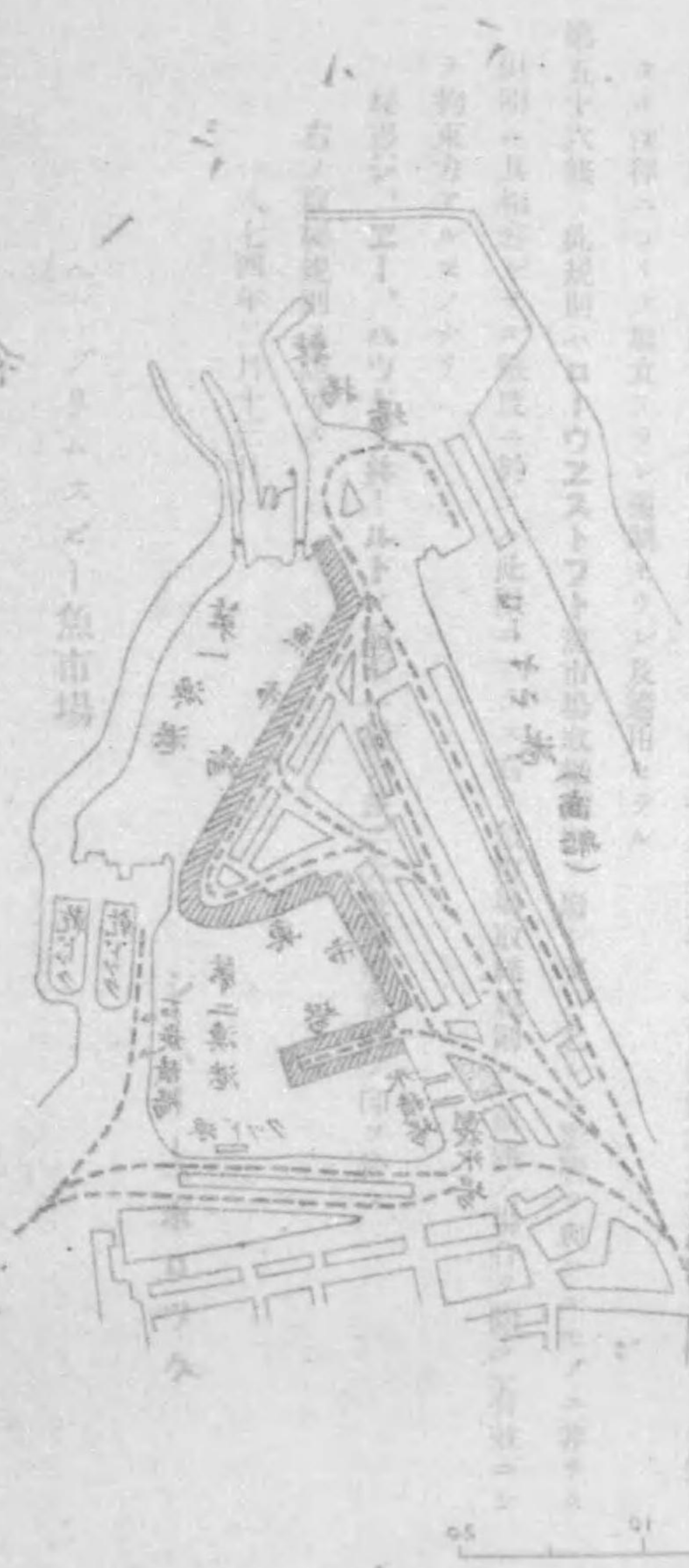
へ グリムスビー魚市場

グリムスビーハ英國否世界中最大ナル汽船「トロール」漁業ノ根據地ナリ是レ其漁港トシテ設備ノ完成

グリムスビー漁港及魚市場畧圖



ノリスノトノ魚市場及魚市場の図



第五十五條 此市場は、一九一五年、大東鐵道（東京、大宮、浦和、上野、池袋、有馬、大塚、池袋、武蔵野線）の沿線に設けられた。市場の面積は、約一ヘクタールに達する。市場の構造は、大東鐵道の支線（浦和、大塚、池袋、武蔵野線）に沿って、南北に伸びている。市場の中心には、大東鐵道の駅（浦和、大塚、池袋、武蔵野線）があり、市場の主要な交通手段となっている。市場の周囲には、倉庫、事務所、住宅などの建物が密集している。市場の歴史は、長く、魚市場としての機能を果たしている。市場の運営は、大東鐵道の管理下にある。市場の収入は、大東鐵道の収入の一部となっている。市場の発展は、大東鐵道の発展と密接に関連している。市場の将来は、大東鐵道の将来と密接に関連している。

セルカ故ナルヘシ漁港ニハ水門ヲ設ケテ満潮時ニアラサレハ入港スルコト能ハスト雖其面積合計二十九「エークル」(十二町歩許)深サ十五呎以上アリテ其西側ニハ延長九町許ニ亘ル魚市場ノ設ケアリ市場ニ沿ヒテ鐵道支線來ルアリ市場ニ近ク大製氷場アリ日々三百噸ノ氷ヲ供給スルヲ得ハシ東側ニ當リテハ乾「ドック」アリ浮「ドック」アリ石炭積卸機アリ設備夫レ斯クノ如ク完備セルカ故ニ當港ニ船籍無キ汽船モ好ンテ此處ニ群集スルモノ多シト云フ

此漁港及魚市場ノ其附近一面ノ地面家屋ト共ニ「グレントントラル」鐵道會社ノ所有ニ屬ス(千八百四十九年ノ法律ニ依リ)故ニ漁船ノ入港スルトキハ夫々入港料魚荷陸揚料等一定ノ料金ヲ鐵道會社ニ支拂フナリ其料金表ハ別記ノ如シ此市場ニ於ケル競賣者ハ獨立ニ營業スルモノニアラス多數漁船ヲ有スル各會社ノ雇員ナリ小會社ニシテ専任ノ競賣者ヲ有セサルモノハ別ニ競賣員ヲ提供スル團體アリテ之レヨリ競賣者ヲ一時聘用スルナリ此場合ニハ聘用シタル會社ハ團體ニ對シテ賣上高ノ百分五ノ手数料ヲ支拂フノ外監督員及書記等ノ給料トシテ幾分ヲ支拂フト云フ

買手即魚商ハ倫敦「マンチエスター」等ノ市場ノ魚商ト直接ニ電信電話等ニテ相場ヲ定メテ後魚荷ヲ發送スルノ習慣ニシテ手数料ヲ以テ計算スルカ如キ委託販賣法ヲ行フモノナシト云フ

漁港、魚市場其他附近ノ地圖並ニ會社ニテ定メタル諸取締規則及諸料金等ハ別記ノ如シ

「グレート、グリムスビー」築港ニ於テ「グレート、セントラル」
鐵道會社ニ支拂フヘキ港稅及貨物取扱料ニ關スル規則細則
並ニ目錄

注 意

一八九八年七月一日以後グレート、グリムスビーニ於ケル「グレート、セントラル」鐵道會社ノ埠頭ニ於テ陸揚シ又ハ積ミ込ミメル一切ノ商品其他ノ貨物及其上ニ於ケル一切ノ勞働其他倉庫ノ出入ハ次ノ表ニ掲ケタル率ニ依リ以下ニ掲ケル規則ニ從ヒテ課稅ス

一八九八年七月一日以後グレート、グリムスビー港ニ於ケル積荷ノ噸稅率及「グレート、セントラル」鐵道ノ所有ニ係ル船渠ヲ使用スル船舶ニ課スル稅率ハ次ニ舉ケタル等級ニ從フ
從來規定セラレタル規則、稅率ニシテ本規則ニ牴觸スルモノハ將來其効力ヲ失フ

取締役ノ命ニ依リ

總支配人 ウ井アム、ホリツト

(一八九八年十月倫敦ロード停車場ニ於テ)

附 則

一八四九年ノ制定ニ係ル「マンチエスター、シェフィールド、リンカンシャイア」鐵道條例及一八四七

年ノ港灣、船渠及埠頭ニ關スル條例ノ規定ニ基キ制定セラレタル附則左ノ如シ

第一條 **グリムスビー**築港又ハ其「ベースン」(港ノ入口ノ廣場ヲ云フ)地圖參照)水口及入口ニ碇泊スル船舶ヲ支配又ハ轄理スル船長、運轉士、水先案内者若クハ其ノ人ニシテ前記船舶ヨリ鎖杭、防衝材、小屋ノ柱、小屋ノ屋根又ハ築港其他ノ工作物ニ屬スル埠頭ノ上ニ在ル扛重機ニ各種ノ綱、鎖、索ヲ縛カシメ又ハ縛クコトヲ禁セサル者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ料料ニ處ス

第二條 前條ニ掲ケタル築港又ハ其「ベースン」水口及入口ニ碇泊中ノ船舶ヲ支配又ハ管理スル船長、運轉士、水先案内者若クハ其他ノ人ニシテ船舶ノ外部ヲ修繕スル場合ニ伐リ屑、木片其他ノ物カ築港「ベースン」水口又ハ入口ニ落下スルヲ防ク爲該船舶ノ舷側ニ附着セシメテ幕布其ノ他ノ防禦物ヲ張ラサル者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ料料ニ處ス

第三條 第一條ニ掲ケタル築港又ハ其「ベースン」、水口及入口又ハ埠頭ニ近ク碇泊スル船舶ヲ支配又ハ管理スル船長、運轉士、水先案内者其他ノ人ニシテ脚荷、石炭、骸炭、肥料、石灰、敷石、人造石、煉瓦、瓦又ハ塵芥ヲ船舶ニ積ミ込ミ又ハ船舶ヨリ投ケ捨テ又ハ陸揚スル場合ニ此等ノ貨物カ前記築港及「ベースン」水口又ハ入口ニ落下スルヲ充分ニ防ク爲船側ニ釘付ケニシタル幕布其他ノ防禦物ハ張リ置カサル者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ料料ニ處ス

第四條 第一條ニ掲ケタル築港其「ベースン」水口、入口又ハ埠頭ニ近ク碇泊中ノ船舶ヲ支配又ハ管理スル船長、運轉士、水先案内者其他ノ人ニシテ該船舶ヨリ陸揚シタル又ハ積ミ込ミマントスル脚荷、

石灰、骸炭、肥料、砂利、砂、石灰、敷石、人造石、煉瓦、瓦又ハ塵芥ヲ港務署長又ハ事務官ノ命令ニ從ハスシテ之ヲ投ケ捨テ又ハ積ミ重ネ置ク者又ハ前記築港其他ノ場所ニ積ミ置キタル前記貨物ヲ取除クヘキ旨港務署長又ハ事務官ヨリ命令アリタル場合ニ直チニ之ニ從ハサル者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ科料ニ處ス

第五條 第一條ニ掲ケタル築港又ハ其「ベースン」水口及入口ニ碇泊セル船舶ニシテ陸揚スヘキ木材ヲ搭載セルモノヲ支配又ハ管理スル船長、運轉士、水先案内者、其他ノ者木材ノ所有者荷受人又ハ其代理人ハ其木材ヲ陸揚シタル時又ハ前記築港、「ベースン」水口又ハ入口ノ水中ニ入レ置キタル時ヨリ四十八時間以内ニ前記ノ場所ヨリ取り除クヘシ之ニ違反シタル者ハ四十八時間經過後一時間ニ付五志以下ノ科料ニ處ス

第一條ニ掲ケタル港、又ハ其「ベースン」水口及入口ニ木材ヲ荷卸シタル時ヨリ四十八時間ヲ經過スルモ未タ其木材ヲ取り除カサル場合ニ於テハ港務署長ハ木材ヲ荷卸シタル船舶ノ船長、運轉士、水先案内者其他ノ人又ハ該木材ノ所有者、荷受人若クハ其代理人カ既ニ科料ニ處セラレタルト否トニ拘ラス該木材ヲ安全ノ場所ニ移シ其移轉及保存ニ要シタル費用ヲ支拂フマテ之ヲ留置スルコトヲ得、若シ其費用ヲ船長所有者、荷受人、代理人其他ノ者ニ於テ三日以内ニ支拂ハサルヘキ又ハ船長、所有者、荷受人、代理人其他ノ者カ不明ナルトキハ會社ノ命令ノ下ニ前記木材ノ全部又ハ一部ヲ賣却シ其代金ヲ以テ移轉、保管、及賣却ニ要シタル費用ニ充ツルコトヲ得

築港、「ベースン」、水口、入口、墻壁又ハ埠頭ニ必要ナル貨物及前記「ベースン」、水口等ノ修繕ニ必要ナル貨物以外ノ物品ハ總テ現存ノ、又ハ將來建造スヘキ埠頭ノ上又ハ其附近ノ通路ニ四十八時間以上之ヲ置クコトヲ禁ス又會社ノ許可ナクシテ會社ニ屬スル廣地ニ時間ノ長短ヲ問ハス一切前記貨物之ヲ置クコトヲ禁ス若前記貨物ニシテ右ノ場所ニ在ルトキハ港務署長其他會社ヨリ正當ノ委任ヲ受ケタル者ニ之ヲ他ノ便宜ナル場所ニ移シ之カ移轉及保管ニ要シタル費用ノ支拂ヲ受クルマテ之ヲ留メ置クコトヲ得若命セラレタル日ヨリ五日以内ニ所有主カ支拂ヲ爲サ、ルトキ又ハ所有主ノ不明ナルトキハ該貨物ノ全部若クハ一部ヲ會社ノ命令ノ下ニ賣却シ其代金ヲ以テ移轉、保管及賣却ニ要シタル費用ニ充ツルコトヲ得

第六條 第一條ニ掲ケタル築港内ニ在ル船舶ハ築港ノ建造、修繕、變更、浚泥又ハ改善ノ際必要ナル燈火セル蠟燭又ハ洋燈ノ外午前五時ヨリ午後八時マテノ間ニ於テ蠟燭及洋燈ヲ使用スルコトヲ得關稅吏員及内國稅務吏ハ港内又ハ其「ベースン」内ニ碇泊セル船舶ノ上ニ居ル間何時ニテモ提燈ニ入レタル點火セル蠟燭ヲ用フルコトヲ得但此場合ニ於テハ英國關稅徵收官及内國稅徵收官其他ノ稅務官及鐵道會社頭取カ何時ニテモ適當ト是認スル如キ方法ヲ以テ火災ニ對スル防禦設備ヲ該蠟燭ニ施スヲ要ス

前記船舶内ニ在ル運搬シ得ヘキ竈又ハ爐ノ中ニテ燃火スルコトヲ得ルハ火災ヲ防ク爲其周圍ノ三面ニ鐵板ヲ張り付ケタル場合ニ限ル、但右竈中蠟燭又ハ洋燈ニ燃火スルコトヲ得ルハ燃火中始メヨリ

終マテ船内ニ一人若クハ數人ノ成年者居ル場合ニ限ル

第七條 第一條ニ掲ケタル港ニ屬スル埠頭ノ上ニ火災ノ豫防設備アル提燈ニ入レサル、點火セル蠟燭又ハ洋燈ヲ持チ持タシメ、持ツコトヲ許シ又ハ之ヲ禁セサル者ハ何人ヲ問ハス各場合ニ於テ五磅以下ノ科料ニ處ス又前記埠頭ノ上ニ火災豫防ノ爲周圍ノ三面ヲ鐵板ヲ以テ充分ニ圍マサル可動竈及爐中ニ火ヲ燃シ、燃サシメ、燃スコトヲ許シ又ハ之ヲ禁セサル者亦同シ、但會社ノ固定洋燈ノ使用ハ此限ニ非ス

第八條 第一條ニ掲ケタル築港内ニ碇泊セル船舶ニシテ修繕ヲ要スルモノ又ハ竈爐、蠟燭、洋燈ノ使用ヲ禁セラレタル時間中貨物ノ陸揚又ハ積込ヲ英國稅務吏ヨリ許可セラレタル船舶ノ船長ハ該船舶ノ修繕中又ハ貨物ノ積卸中本規則ニ依リ點火ヲ許サレサル時間ニ對シテハ港務署長ニ對シ船内ニ於テ點火スルノ許可ヲ願フヘシ、此場合ニハ港務署長ハ之ヲ許可シ右爐火、蠟燭又ハ洋燈ノ點火中火災ヲ豫防スル爲終始見張人ヲ附スヘシ此場合ニ於テハ船長ハ出港ノ許可アル以前ニ於テ見張人ノ報酬トシテ二志六片ヲ港務署長ニ對シ支拂フコトヲ要ス、但右ハ見張人カ二時間以内就役シタル場合ニ限ル二時間以上就役シタル場合ニ於テハ船長ハ最初ノ二時間ニ對シ二志六片、其後一時間ヲ増ス毎ニ六片ノ割合ヲ以テ港務署長ニ支拂フヘシ、港務署長ハ必要ト認ムルトキハ時々、前ニ自ラ任命シタル見張人ヲ廢シ他人ヲシテ之ニ代ラシムルコトヲ得此場合ニ於テハ其報酬ハ當初ヨリ同一人タリシモノト看做シ之ヲ給與ス

前項ノ規定ハ前記港内ニ在ル蒸汽舟艇又ハ蒸汽船ニシテ之カ進航ニ必要ナル汽罐ヲ熱スル爲用フル燃火ニ關シテハ之ヲ適用セス

第九條 蒸汽舟艇又ハ蒸汽船ニ於テ機關ヲ熱スル爲ニ用フル火及火爐ノ火ハ港ニ入りタル時ヨリ一時間半以内ニ總テ之ヲ消火スヘシ、但港内ニ在ル各種ノ蒸汽舟艇ハ提燈又ハ硝子器ニ入レタル蠟燭ハ右時間以外ト雖之ヲ使用スルコトヲ得但出港前三時間以上燃火スルコトヲ得ス、又船舶カ出港ノ目的ヲ以テ蒸汽ヲ焚ク場合ハ出發前三時間以内ニ限ル

蒸汽船ニシテ入港後其潮ノ引カサル間ニ直チニ出港セントスルトキハ船長又ハ船舶所有者ハ入港ノ際直チニ其旨ヲ書面ヲ以テ豫メ港務署長ニ通知スヘシ、此場合ニ於テハ船長又ハ船舶所有者ハ船中ノ火ヲ總テ消スノ必要ナク只港務署長又ハ事務官ノ命スル所ニ從ヒ火勢ヲ弱ムルノ義務アリ而シテ斯ル船舶ノ入港中ハ火災ヲ豫防スル爲港務署長ノ命スル見張人ヲ置クコトヲ要ス此場合ニハ船長ハ出港ノ許可アル以前ニ於テ見張人ノ報酬ヲ港務署長ニ支拂フヘク右ノ報酬ハ二時間以内ノ場合ハ二志六片トシ二時間以上ノ場合ハ最初ノ二時間ニ對シテハ二志六片トシ一時間ヲ増ス毎ニ六片ノ割合トス、港務署長ハ時々前ニ自ラ命シタル見張人ヲ廢シ他人ヲシテ之ニ代ラシムルコトヲ得、但其報酬ハ初ヨリ同一人タリシ場合ト同様トス、港内ニ在ル總テノ蒸汽船ハ常ニ消火器ヲ備ヘ付ケ何時ニテモ直チニ之ヲ使用スルコトヲ得ル様ナシ置クヘシ、而シテ港務署長又ハ其事務代理ノ請求アルトキハ時何ニテモ之ヲ檢閲セシムヘシ、若シ檢閲ノ結果消火器ニ損所アルコトヲ發見シタルトキハ港務

署長又ハ其代理カ適當ト認ムル消火機ヲ備ヘ付クルマテハ該船舶内ニ於テ火ヲ使用スルコトヲ禁ス
第十條 港内及其「ベースン」水口又ハ入口ニ碇泊スル船舶内ノ船室及船首甲板以外ノ場所ニ於テ煙草
葉卷煙草其他類似ノモノヲ喫煙シタル者ハ何人ヲ問ハス各場合ニ於テ五磅以下ノ科料ニ處ス、會社
ニ屬スル埠頭ノ上又ハ倉庫内ニ於テ喫煙スル者亦同シ

第十一條 築港、「ベースン」、其他ノ建設物ニ備ヘ付ケタル會社ノ發動機、馬車、荷車、扛重機、計重機
其他ノ設備ヲ故意ニ破壊シタル者又ハ前記建設物ニ備ヘ付ケタル洋燈ノ火ヲ故意ニ消シタル者其他
車輛又ハ機械ヲ運轉セシメタル者ハ何人ト雖各場合ニ於テ其損害ヲ賠償セシメタル上更ニ四十志以
下ノ科料ニ處ス

第十二條 當會社又ハ他ノ會社ノ雇人タル(關稅吏ヲ省ク)車力、人足、荷車ノ御者、其他貨物ヲ港及其
埠頭ニ運搬シ又ハ積ミ置ク者ニシテ各種ノ荷車ヲ港ノ小屋又ハ其埠頭ノ上ニ置キ又ハ鐵道ノ自由使
用ノ防害トナル場所ニ置ク者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ科料ニ處ス、但荷物ヲ積ミ込又ハ荷卸ス
ル場合ハ此限ニ非ス

第十三條 第一條ニ掲ケタル港内又ハ其「ベースン」水口、入口及其ノ埠頭ニ近ク碇泊スル船舶ヲ支配
又ハ轄理スル船長、運轉士、水先案内者其他ノ人ニシテ該船舶ヨリ塵芥、灰其他ノ廢棄物ヲ會社ノ
之カ爲備ヘ付ケタル塵芥溜ニ投入セシメサル者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ科料ニ處ス

第十四條 船舶ノ如何ヲ問ハス之カ指揮監督ノ任ニアル船長、運轉士其他ノ人ニシテ築港、「ベースン」
水口又ハ入口ノ出入ニ關シ港務署長又ハ事務官ノ命令ニ違反スル者ハ五磅以下ノ科料ニ處ス、港口
ノ水門ノ開閉ヲ妨害スル者亦同シ

第十五條 第一條ニ掲ケタル築港内又ハ其「ベースン」水口、入口若クハ埠頭ニ近ク碇泊スル船舶ヲ指
揮又ハ轄理スル船長、運轉士、水先案内者其他ノ人ニシテ港務署長又ハ其事務官ノ命令ニ反シ船舶ヨ
リ會社ノ埠頭又ハ陸揚場所ニ貨物乗客ヲ卸シ又ハ前記埠頭又ハ陸揚場ヨリ貨物乗客ヲ船舶ニ搭載スル
者ハ各場合ニ於テ四十志以下ノ科料ニ處ス

第十六條 船舶ノ指揮管理ノ任ニアル船長、運轉士、水先案内者其他ノ者ハ船舶ヲ入港又ハ出港セシ
ムル場合又ハ港内ニ於テ位置ヲ變更スル場合、又ハ單ニ港内ニ在ル場合ニ於テハ出來得ル限リ帆桁
ヲ縦ニ上ヲ向ケ、横帆ノ帆桁ヲ前ト後ニ向ケ、船首棒ヲ船首ヨリ三吋以内ニ引キ込マシムヘシ

船舶カ入港シタル場合ニハ之カ指揮ノ任ニアル船長、運轉士、水先案内者其他ノ者ハ二十四時間以内
ニ錨ヲ船首甲板ニ引キ上ケ横帆、下桁帆桁ヨリ取り外スヘシ右ニ違反シタル者ハ五磅以下ノ科料ニ
處ス

一八五二年十月十五日「マンチエスター、シエフイールド、リンカンシアア」鐵道會社ハ茲ニ捺
印ス

エドワード、ロツス

リンカン州リンドセー郡ラウス町(前記築港所在地ニ最モ接近セル町)ニ於テ一八五三年四月十二日

(火曜日)ニ開カレタル年四回ノ治安裁判所ニ於テ上記ノ附則ハ認可セラレ同判事ニ依リテ確認セラレ
タリ

一〇六

年四回治安裁判所判事長

ジー、エム、アリングトン

一八七五年爆發物條例ノ附則

右ハ「クレート、セントラル」鐵道會社(以下ニハ單ニ會社ト記ス)ノ「グリムスビー」築港ニ於ケル爆發物
使用ニ關スル附則ニシテ一八七五年ノ爆發物條例(ビクトリア女王即位第三十八年法律第十七號)及同
會社ニ與ヘラレタル總テノ權力ニ基キ商務局ノ認可ヲ經テ制定シタルモノナリ

(イ)本附則ニ使用シタル文字ハ題目又ハ全文ノ意味ト抵觸セサル限り一八七五年ノ爆發條例及同條例第百
六條ニ基キテ一八七五年八月五日公布セラレタル勅令ニ於ケルト全然同一ノ意味ヲ有ス

(ロ)爆發物ナル語ハ前記條例第三條及前記勅令ニ記載セル、及條例ニ基キ將來發セラルヘキ勅令中ニ記
載セラルヘキ總テノ爆發性ノ物質ヲ意味ス

前記條例ニ基キ「クレート、セントラル」鐵道會社ハ「クレート、グリムスビー」ニ於ケル築港、倉庫、物置
小屋其他ノ建設物内ニ火藥(ガンパウダー)、硝酸「グリセン」、「ダイナマイト」綿火藥(ガンコットン)、
火藥(プラスチック、パウダー)、雷酸水銀(ファルミネート)、オズ、マーキュリー)、藍燈(カラード、ファ

イア)其他ノ物質ニシテ此等ニ類似ノモノタルト否トニ拘ラス實際爆發ノ結果ヲ生セシムルノ目的又
ハ花火ノ目的ヲ以テ使用又ハ製造セラレタル物質ヲ持テ込ムコトヲ禁ス花火(ファイヤ、ワークス)導
火線(フューズ)狼煙(ロケット)擊發信管(デトネーター)彈藥筒(カートリッジ)其他各種ノ彈
藥亦同シ但船舶用具トシテ用フル狼煙(ロケット)及信號燈(シグナルライツ)前記條例第百八節ニ揭
ケタル安全彈藥筒(セーフチー、カートリッジ)雷管(パーカッション、キャップ)ニシテ同條例ノ
規定スル所ニ從ヒ包裝及記號ヲ施シタルモノハ港務署長又ハ會社ノ當該官吏ヨリ認可狀ヲ得タル後特
別ノ規則ニ從ヒ築港内ニ入ル、コトヲ得ヘシ

築港及其構内ニ、前項ニ記載シタル禁止貨物ヲ持テ來リ、持テ來ラシメ、持テ來ルコトヲ許シ、又ハ
之ヲ默許シタル者ハ何人ヲ問ハス各場合ニ於テ二十磅以下ノ科料ニ處シ同一犯罪ノ繼續スル間一日ニ
付各十磅ヲ科ス

前記構内ニ在ル船舶、舟艇及馬車内ニ發見セラレタル禁止貨物ハ凡テ之ヲ沒收シ會社ノ所有ニ歸ス

「マンチニスター、シニフィールド、リンカンシャイア」鐵道會社ハ茲ニ捺印シ一八七六年十月二十
七日之ヲ公布ス

エドワード、ロツス

商務局ハ本附則ヲ認可ス

一八七六年十月三十日商務局ノ命ニ依リ茲ニ記名ス

一〇七

商務局長代理

ヘンリー、ジー、カルクラフト

グレートセントラル鐵道會社

細則

本細則ハ一八四七年ノ港灣及埠頭條例並ニ一八四九年ノ「マンチエスター、シェフィールド、リンカンシャー」鐵道接續條例ニ基キテ當會社ノ制定シタルモノニシテ、一八八七年(ビクトリア)女王即位五十年及五十一年法律第十七號)ノ「マンチエスターシェフィールド、リンカンシャー」鐵道條例第七條ニ依リ築港外五百「ヤード」以内ニ於テ効力ヲ有ス

第一、會社ハ築港ニ附屬スル埠頭陸揚ケ場其他會社ノ構内ニ置カレタル商品其他ノ貨物ニ對シテハ一切保管ノ責ニ任セス、又商品其他ノ貨物ノ消失及破損ニ對シ賠償ノ責ニ任セス、各種ノ船舶其他ノ財産ノ火災、難破、内亂又ハ外患ニ因リ受ケタル損害ニ對シテ亦同シ

第二、會社ハ會社ノ倉庫ニ寄託セラレタル貨物ノ漏洩、重量ノ減損、容積ノ減損、蟲害又ハ自然ノ損壞若クハ盜難ニ對シ其責ニ任セス、入庫ノ際會社ノ人夫若クハ英國官吏カ重量、容積ヲ計ラサル場合及會社ノ傭人ニ非サル者カ箱結トナシ又ハ見本トナシタル場合、並ニ會社員ノ監督ヲ受ケスシテ箱結トナシ又ハ見本トナシタル場合亦同シ

會社ハ又貨物取扱ノ際、樽又ハ包裝ノ不完全ナル爲生シタル損害ニ對シ其責ニ任セス、但包裝ヲ修繕スヘキ旨會社ノ人夫ニ書面ヲ以テ前以テ命シタルトキハ此限ニ非ス會社ハ又船舶、筏、汽車、荷車上ニ於テ會社ノ雇人ニ非サル者ノ取扱不注意ノ爲生シタル貨物ノ損害ニ對シ其責ニ任セス、其他如何ナル種類ノ損害ニ對シテモ會社ハ其責ヲ負ハス、但貨物カ會社ノ構内ヲ去ラサル以前ニ於テ蒙リタル損害ナルコトヲ證明シ之ヲ港務署長ニ通知シタル場合ハ此限ニ非ス

第三、會社ノ埠頭其他構内ニ於ケル貨物取扱ニ關スル各種ノ命令ハ取扱ノ都度各別ニ爲スヲ要シ、賃銀ハ貨物取扱ノ終リタル後ニ於テ之ヲ支拂ヒ若クハ帳簿ニ記入スヘシ

第四、倉敷料並ニ貨物取扱料ノ支拂ハ入庫貨物證書及出庫命令書ノ振出ヲ(貨物所有者カ爲ス振出ヲ)名宛人カ承諾スル以前又ハ貨物取扱ノ完了以前ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五、船舶ヨリ會社ノ倉庫、廣場又ハ池ニ寄託スル貨物ノ倉敷料ハ該貨物ノ一部ヲ寄託シタル最初ノ日ヨリ之ヲ課ス、日數ノ計算ハ總テ週ニヨリ之ヲナシ端數アルトキハ三日以上ノモノニ對シテハ一週間トシテ之ヲ計算シ貨物ノ寄託一週間以内ナルトキト雖一週間ノ倉敷料ヲ課ス、

第六、會社ノ手ヲ以テ陸揚シタル貨物ニシテ陸揚ケ場ヨリ直チニ荷受人ニ渡シタルモノニ對シテハ手敷料ヲ課セス

第七、會社ハ埠頭使用料、倉敷料及貨物取扱料ニ對シ倉庫内其他會社ノ構内ニ寄託セラレタル當該貨物ノ上ニ留置權ヲ有スルノミナラス、既ニ陸揚ケ、讓渡又ハ他ニ運搬セラレタル他ノ貨物ノ埠頭使用

料、倉敷料及取扱料ニ對シテモ亦所有者又ハ其代理人ヲ同フスル現在寄託貨物ノ同量ノ上ニ留置權ヲ有ス

第八、重量ヲ以テ課税スヘキ貨物ハ其總量ニ對シテ課税ス、別紙目錄「B」中ニ記載セラレサル貨物ニ對シテハ該目錄中之ニ最モ類似セル貨物ト同率ヲ課ス

第九、輸入貨物ニシテ築港ノ埠頭ニ陸揚シタルモノ及輸出貨物ニシテ荷車ヲ以テ埠頭ニ運搬シタルモノニ對シテハ七日間埠頭使用料ヲ免ス、但會社ハ此等ノ貨物ニ對シ該期間中何等ノ責ヲ負ハス、七日ヲ經過シタル後ハ別紙目錄「B」ニ從ヒ料金ヲ課ス

第十、輸出ノ目的ヲ以テ船積ミノ爲鐵道ヲ以テ運搬シ來リタル貨物ニシテ三ヶ月以内會社ノ倉庫ニ寄託セラレタル場合ハ規定ノ倉敷料ノ半額ヲ課ス、三ヶ月以上ニ涉ルトキハ其全額ヲ課ス

第十一、埠頭又ハ物置場ニ陸揚シタル貨物ニシテ其性質盜難ニ罹リ易キモノ殊ニ魚類、果物、酒類、銅貨錠其他之ニ類似ノ貨物ニ對シテハ其所有者各自ニ於テ見張人ヲ付スルカ若クハ會社ノ倉庫ニ寄託スヘシ

第十二、心棒、汽鐘、鉛網其他之ニ類似スル大ナル重量ヲ有シ容易ニ動カスコトヲ得サル物ハ港務署長ノ許可ヲ得テ埠頭ノ上ニ留メ置クコトヲ得ヘシ

第十三、別表目錄「B」ニ掲ケタル木材ハ陸揚ノ最後ノ日ヨリ十四日以上埠頭ノ上ニ置クコトヲ禁ス、但港務署長ノ許可アリタルトキハ此限ニ非ス、埠頭使用料ハ十四日以後ニ對シテ之ヲ課ス

第十四、埠頭ニ隣接セル土地使用權ハ其埠頭ヲ使用スルノ權ヲ含ム、然レトモ右埠頭使用權ハ絶對ニ非スシテ會社ハ自由ニ木材其他ヲ搭載セル船舶カ入港シタルトキハ埠頭中如何ナル場所ト雖現ニ空キ居ル部分ニ之ヲ縛カシムルノ權ヲ留保ス、然レトモ木材置場借地人タル荷受人ニシテ其前面ニアル埠頭ニ陸揚ノ目的ヲ以テ相當期間内ニ入港スヘキ船舶ヲ有スルトキハ會社ハ該借地人ノ便利ヲ圖ル爲出來得ル限リ其前面ノ埠頭又ハ其土地ニ隣接セル埠頭ヲ使用セシムル様取計ヲウヘシ

第十五、埠頭上ノ鐵道線路ト築港ノ塀トノ間ニ木材ヲ置クコトヲ禁ス、鐵道線路及築港ノ道路ハ常ニ清潔ニナシ置クヘク、如何ナル貨物ト雖鐵道線路及港ノ道路ノ四呎以内及起重機ノ周圍三十呎以内ニ之ヲ置クコトヲ禁ス

筏ニ組ミタル若クハ散亂セル木材ハ港務署長ノ許可アル場合ノ外港内ニ浮遊シ置クコトヲ得ス、港務署長ノ許可ヲ得テ之ヲ浮遊シ置キタル場合ト雖會社ハ自由ニ之ヲ他ノ場所ニ移スコトヲ得ヘク、此場合ニ於テハ地代ノ外之ニ要シタル費用ヲ徵收ス

第十六、船舶内又ハ埠頭上ニ於ケル貨物取扱其他一切ノ勞務ハ總テ協定セラレタル料金ノ下ニ會社ニ於テ之ヲ行フカ若クハ港務署長ノ指定セル商人ノ名ニ於テ之ヲ行フヘキモノトス

第十七、荷物又ハ聯輪機(ギア)ノ積卸ノ爲會社ノ起重機ヲ使用セントスル船舶ハ總テ之ヲ使用スル前損害補償契約書ニ調印スルヲ要ス、右契約書ノ書式ハ港務署ニ就テ知得スヘシ

第十八、船舶ニ積ミ込ム爲鐵道ニ依リ運ヒ來リタル貨物ハ一週間無料ニテ荷物置場ニ入レ置クコトヲ

得

第十九、港務署長ハ港内ニ於ケル商人及仲買人ノ業務ヲ敏活ナラシムル爲諸般ノ報告ヲナシ諸種ノ方法手續ヲ教示スヘシ

第二十、會社ハ埠頭ノ上ニ在ル貨物ノ盜難、火災、損壞其他如何ナル原因ニ因ル損害ト雖其責任ニ任セス會社ハ又前記貨物ヲ、之ヲ置キタル時ヨリ四十八時間以後ニ於テ其全部又ハ一部ヲ他ニ移スコトアルヘシ

第二十一、港内ニ於テ甲船舶ヨリ乙船舶ニ載貨ノ積換ヲ爲ス場合ニハ豫メ港務署長ト打合セヲナシ港務署長ノ命シタル條件ニ從ヒ之ヲ行フヘキモノトス打合セヲ爲サ、ル場合ハ別紙目錄ニ掲ケタル料金ノ全部ヲ徴ス

第二十二、港内ニ在ル船舶ノ飲料水ハ築港稅務署ニ申込次第會社ノ飲料水運搬船ヲ以テ之ヲ供給ス

第二十三、會社ハ必要ト認メタルトキハ時々本規則ヲ改正變更スルコトアルヘシ

入庫貨物證書、船荷證書及讓渡證書ニ關スル規則

第二十四、港務署長ニ對シ請求アリタルトキハ會社ハ其倉庫ニ入ルヘキ貨物其他會社ノ監督ノ下ニ置カルヘキ貨物ニ對シ入庫貨物證書ヲ發ス、初ノ入庫貨物證書ニ對シテハ印紙稅ヲ除ク外總テ無料タルヘシ

第二十五、前條ニ掲ケタル請求ヲ爲シタル後船荷證書、小包證書其他貨物ニ對スル所有權ヲ證明スヘキ證書ヲ港務署長ニ差出スヘシ而シテ前記各種ノ證書ハ貨物ノ受取人ノ何人ナルカヲ一日シテ明瞭ナラシメンカ爲ニ其裏書ハ船積人ヨリ證書受取人ニ對シ完全ニ且明確ニ爲スヲ要ス

第二十六、會社ハ輸入者及其正當ナル代理人ノ依頼ニ從ヒテ貨物ヲ區分シ各區分ニ對シ各別ノ入庫貨物證書ヲ作製ス、貨物ヲ區分セサル場合ニ於テハ輸入者ニ便利ナル分量(貨物ノ)ニ對シテ入庫貨物證書ヲ作製スヘシ

第二十七、入庫貨物證書所有者ハ引渡ヲナス又重量ヲ計ラシテ入庫貨物ノ一部ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ヘシ此場合ニ於テハ適當ナル裏書ヲナシ入庫貨物分割ノ方法及新入庫貨物證書ヲ受取ルヘキ者ノ姓名ヲ記載シタル原證書ヲ差出ストキハ新入庫貨物證書ヲ交付スヘシ

第二十八、入庫貨物證書ハ其所有者ノ希望ニ依リ在庫貨物ノ讓渡ナクシテ交換又ハ分割スルコトヲ得ヘシ、但新入庫貨物證書ニ對シテハ凡テ印紙稅ヲ含ミ各一志ヲ徴ス

第二十九、入庫貨物證書ヲ紛失シタル場合ニハ在マンチエスタ―當會社貨物係長ニ願出ツルトキハ新證書ヲ交附スヘシ此場合ニ於テハ新入庫貨物證書ヲ交附スルマテハ該貨物ハ其儘保管シ置クヘシ、紛失シタル舊證書ヲ新證書交附後ニ於テ發見シタルトキハ舊證書ハ無効トス

第三十、船長、船舶ノ所有者又ハ備船者ハ會社ノ倉庫ニ預ケ入レタル貨物ヲ入庫貨物證書其他貨物ノ移轉ニ必要ナル證書ノ交附又ハ發行以前ニ於テ之カ引渡ヲ中止シ其儘倉庫ニ留メ置クコトヲ得ヘシ

重量證明書、陸揚證書、及引渡證書ニ關スル規則

第三十一、港務署長ハ願出アリタルトキハ重量證書、仲買人分配證書、陸揚證書、引渡證書、及再重量證書ヲ次ニ掲ゲタル手數料ヲ以テ交附ス

重量證明書

一通ニ付

二片

仲買人分配證書

重量二十磅ニ付

二片

陸揚證書、引渡證書、再重量證明書一通ニ付二片商人ノ便宜ニ從ヒ重量ヲ計リタル重荷運輸

證書

荷車一臺ニ付

一志

石炭積込許可證

一通ニ付

二志六片

會社ノ帳簿ノ抜書ヲ要スル證書ニシテ以上列舉以外ノモノハ港務署長ト協定ノ上特別ノ手數料ヲ納付スヘシ會社ハ願出アリタル日ニ於テ證書ヲ交付セス、但事務ノ終了後二十四時間以内ニ之ヲ交附スヘシ

貨物所有者又ハ其代理人ハ自ら會社ニ至リ帳簿ノ抜書ヲナスコトヲ得ヘク此場合ニ於テハ手數料ヲ徵セス

料金支拂ニ關スル規則

第三十二、商人ハ會社ニ支拂ヲ爲スニ當リ其旨出願シ港務署長ノ許可アリタルトキハ支拂ヲ各別ニ爲

サスシテ次ノ月ノ終ニ於テ一ヶ月分ノ支拂ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ於テハ次ノ月ノ月末終以前ニ會社ニ於テ支拂ヲ要求スル場合ノ外割引ヲナサス

埠頭使用料ニ關スル規則

第三十三、埠頭使用料ハ築港内又ハ「ベイスン」内ニ碇泊スル船舶ヨリ埠頭ニ現ニ陸揚シタル貨物及前記船舶ニ積込ノ爲埠頭ヲ通過シタル貨物ニ對シテノミ別表目錄「B」ニ從ヒテ之ヲ課ス
一度ヒ埠頭使用料ヲ課セラレタル貨物ニ對シテハ原狀原形ヲ變更セサル限り再ヒ之ヲ課セス但右貨物ニシテ一度ヒ港ヲ離レ若クハ再輸出又ハ再輸入セラレタル場合ハ此限ニ非ス

ローヤル築港及アレキサンドラ築港内石炭陸揚場ニ關スル規則

石炭積込ノ爲グリムスピー築港ニ入港スル船舶及石炭軸吊

距(コール、ドロツプス)使用ニ關スル規則

第三十四、出來得ル限り軸吊距ノ使用ヲ先着順ニナス爲「順番帳」ト稱スル帳簿ヲ石炭監督所ニ備付ケ軸吊距ヲ使用スヘキ船舶ハ總テ順次ニ之ニ記入シ(此帳簿記入ハ船長、運轉士、仲買人、石炭積込人又ハ其代理人中何人ニテモ之ヲ爲スコトヲ得)次ノ規則ニ從ヒテ其順序ヲ定ム

(イ)石炭積込ノミノ目的ヲ以テ入港スル船舶ハローヤル築港ノ「ベイスン」(港ノ入口ノ廣キ所)ニ入り來

- タル後ニ非サレハ順番帳ニ記入スルコトヲ得ス
- (ロ) 載貨ヲ陸揚シタル後石炭ヲ積ミ込ムヘキ船舶ハ貨物ヲ總テ陸揚シタル以後ニ非サレハ順番帳ニ記入スルコトヲ得ス
- ハ順序ヲ變更スルコトヲ得ルハ次ノ場合ニ限ル
- (ニ) 石炭積込中糧食給水等ノ缺亡ノ爲積込ヲ繼續スルコトヲ得サル場合若クハ他ノ理由ニヨリ軸吊距ヲ去ラサルヘカラサル場合ハ直チニ軸吊距ヲ去ルヘシ但右ノ原因ニシテ除去セラレタルトキハ第一ニ空キタル場所ヲ使用スルコトヲ得
- ホ) 汽船ハ帆船ニ先タツ但前ニ入港セル帆船カ備船期限經過後ニシテ後ニ入港セル汽船カ備船期限内ニアル場合ハ此限ニ非ス
- (ヘ) 定期ニ入港シ貿易スル船舶ニシテ出帆ノ日ヲ公告スルモノハ出發ニ間ニ合ハシメンカ爲他ノ船舶ニ先タツ
- 第三十五、石炭ヲ積込マントスル者ハ自身又ハ代理人ニ於テ船舶カ軸吊距ニ來ル以前ニ於テ積込ムヘキ石炭ノ分量及種類ヲ書面ヲ以テ會社ニ通知スヘシ
- 注意會社ハ本規則ヲ侵シ又ハ之ヲ遵守セサルヨリ生スル結果ニ對シ及之ヲ遵守セシムル爲會社カ爲ス行爲ニ對シ何等ノ責ニ任セス

漁船港(フイツシ、ドツク)ニ關スル規則

- 第三十六、魚類ヲ陸揚スルハ魚類陸揚埠頭ニ限ル但港務署長ノ許可アル場合ハ此限ニ非ス
- 第三十七、船長ハ魚船ヲ魚類陸揚埠頭ニ縛ク以前ニ網ヲ洗フヘク魚類ヲ陸揚シタル後直チニ埠頭ヲ去ルヘシ
- 第三十八、魚類ハ成ル可ク陸揚ヲ爲シタル日埠頭ヨリ他ノ場所ニ移スヘシ若陸揚ヲ爲シタル日他ニ移スコト能ハサル場合ニハ翌朝八時マテニ之ヲ移スヘシ
- 第三十九、船長ハ如何ナル場合ニ於テモ船底水ヲ汲ミ出シ又ハ灰、底荷若クハ廢棄物ヲ港内ニ捨ツヘカラス
- 第四十、漁船港ノ使用ハ漁船ノ外之ヲ禁ス但港務署長ノ特別ノ許可アル場合ハ此限ニ非ス
- 第四十一、ローヤル築港ノ埠頭上ノ鮮揚場及置場ヲ使用スル船舶ハ漁船港ヲ使用スルモノト同一ノ料金ヲ支拂ヒ且本規則ニ從フヘキモノトス
- 第四十二、漁船港内ニ在ル現ニ使用セサル船舶ニシテ他ノ船舶ニ危險ヲ與ヘ又ハ港ノ使用ノ邪魔トナルモノト會社ニ於テ思惟スルトキハ之ヲ移轉セシムルコトアルヘシ右移轉ノ命令アリタル後相當期間ノ經過後該船舶ノ所有者ニシテ之ヲ他ニ移スコトヲ怠リタル場合ニハ會社ハ自ラ之ヲ他ニ移轉スヘシ但之ニ要シタル費用ハ所有主ノ負擔タルヘク又移轉ノ爲破損等ヨリ生スル損害ニ對シテハ會社

ハ一切其責ニ任セス

第四十三、多數ノ漁業汽船カ同時ニ「ベースン」ノ入口ヲ通過スル場合ハ入口ノ埠頭ニ最近キ船舶ハ水門(築港ノ入口)ニ先着スルノ權ヲ有ス他ノ汽船ハ之ヲ追ヒ越スコトヲ得ス汽船カ入港ノ際「ベースン」内ニ於テ座礁シタル場合ニハ他ノ入港船舶カ其處ヲ通過シ終ルマテ其場所ニ止マルヘシ但港務署長又ハ其代理ハ之ニ異ル規定ヲ設クルコトヲ得ヘシ

第四十四、本規則ノ施行中「スマツク」船ノ管理者ハ通路ヲ妨害シ又ハ航海術ノ一般ノ注意ヲ怠ルコトヲ得ス

ローヤル築港第一號船渠ニ關スル規則

長 サ

四百呎

船臺ノ長サ

三百五十呎

入口ノ幅

七十呎

船臺上ノ平均水深

二十呎

第四十五、船渠ノ使用ヲ出來得ル限リ先着順ト爲ス爲港務署長ハ船渠ヲ使用セントスル總テノ船舶ノ名ヲ帳簿ニ記入セシメ記入ノ際各一磅ヲ徴ス此金ハ船渠使用料中ニ算入ス但右ハ使用料請求後十日以前ニ支拂ヲナシタル場合ニ限ル然ラサル場合ニハ之ヲ沒收ス船渠使用ノ順序ノ來リタル際之ヲ使用セサル時亦同シ

用セサル時亦同シ

第四十六、船舶カ不意ノ損害ヲ蒙リタル場合ノ外船渠使用ノ順序ヲ變更セス此場合ニハ港務署長ハ自己ノ裁量ヲ以テ其船舶カ外國航路タルト内國航路タルトヲ問ハヌ等シク前條記載ノ金子ヲ免除スルコトヲ得

第四十七、如何ナル船舶ニテモ七日以上船渠ニ止マリタル場合ニハ會社ハ順序ニ當ル他ノ船舶ノ出入ノ爲門ヲ開クヘシ此場合ニ於テハ支柱ノ掛ケ換ハ自費ヲ以テスヘシ

第四十八、如何ナル船舶ト雖十四日以上船渠ニ止マルコトヲ得ス但港務署長ノ特別ノ許可アル場合ハ此限ニ非ス

第四十九、如何ナル船舶ト雖船渠内ニ於テ船體ヲ取崩スコトヲ得ス但會社ノ取締役ノ許可アル場合ニハ會社員ノ監督ノ下ニ一時之ヲ取毀スコトヲ得ヘシ

第五十、船臺及水平支柱ハ總テ會社ニ於テ之ヲ供給ス若船臺又ハ水平支柱ヲ海中ニ浮遊セシメ之ヲ紛失シ若クハ故意又ハ過失ニヨリ破損シタル場合ニハ之ヲ爲シタル船舶ノ所有者ニ於テ之カ損害ヲ賠償スヘシ船舶ニシテ必要ニヨリ支柱ヲ移轉シ又ハ取り外ツシタルトキハ之ヲ原ノ地位ニ直シ置クヘシ支柱ヲ取り外ツス爲船渠内ノ水ヲ汲ミ出スノ必要アルトキハ唧筒使用料トシテ更ニ五磅ヲ支拂フヘシ

第五十一、日曜ハ船渠内ニ於テ如何ナル仕事ト雖之ヲ爲スコトヲ禁ス但止ムヲ得サル場合ニハ港務署

長ヨリ書面ヲ以テスル特別ノ許可アルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第五十二、火藥ヲ搭載セル船舶ハ船渠ニ入ルコトヲ得ス

第五十三、船渠ハ現ニ之ヲ使用セル船舶カ自己ノ費用ヲ以テ毎日之ヲ掃除シ港務署長ノ検査ヲ經ヘシ船渠使用料ハ別表「C」ニ掲クル處ニ依ル

漁船船渠ニ關スル規則

漁船船渠使用料ハ別表「D」ニ依ル

第五十四、漁船船渠ハ同時ニ四隻以上ニ非サレハ之カ使用ヲ許サス但第四番目ノ漁船カ或原因ノ爲入渠スルコト能ハサル場合ニ限り三隻ト雖之カ使用ヲ許可スヘシ此場合ニ於テハ第四番目ノ漁船ハ入渠券及其順序ニ對スル權利ヲ失フ

第五十五、入渠シタル日ノ船渠使用料ハ入渠ノ際港務署長ニ對シ支拂フヘシ

第五十六、第一號船渠ニ關スル現行規則ハ漁船船渠ニ之ヲ適用ス

假船渠（ハード）使用ニ關スル規則

第五十七、假船渠ヲ使用セントスル漁船其他ノ船舶ノ船長又ハ所有者ハ必ス港務署ヨリ使用券ヲ受ケタル上船舶ヲ假船渠ニ入ル、以前之ヲ港務署長ニ差出スヘシ

第五十八、水平支柱又ハ其他ノ支柱ハ會社ヨリ之ヲ供給ス若支柱ヲ海中ニ浮遊セシメ之ヲ紛失シ若クハ故意又ハ過失ニヨリ之ヲ毀損シタルトキハ之ヲ爲シタル船舶ノ所有者ニ於テ之カ損害ヲ賠償スヘシ

第五十九、會社ハ支柱ノ組ミ立ヲ爲サス又支柱組立ノ不完全又ハ其他ノ原因ニ基ク船舶ノ損害ニ對シ其責ニ任セス

第六十、日曜ハ如何ナル仕事ト雖之ヲ爲スコトヲ禁ス但止ムヲ得サル場合ニハ港務署長ヨリ書面ヲ以テスル特別ノ許可アルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第六十一、假船渠使用料ハ別表「E」ニ依リ之ヲ徴ス

アレキサンドラ築港上ノ旋開橋（スウィング、ブリッジ）ニ關スル規則

アレキサンドラ築港ニ架シタル旋開橋ハ次ニ掲ケタル時間ニ於テ之ヲ開ク（船舶ノ通行ニ便スル爲）

午前四時
同 五時十五分
同 七時三十分
同 九時三十分

四月一日ヨリ十月一日マテ 同 十一時

午後一時三十分
同 三時
同 四時三十分
同 六時十五分
午前六時
同 七時三十分
同 九時三十分
同 十一時三十分
午後一時四十五分
同 三時
同 五時

十一月一日ヨリ四月一日マテ

開橋期間ハ毎回二十分ヲ以テ限トス

以上列記ノ時間以外ニ通過スルノ必要アル船舶ハ港務署ニ書面ヲ以テ其旨願出ツヘシ但願出ノ際七志六片ヲ支拂フコトヲ要ス

アレキサンドラ築港信號規則

晝間信號

築港ノ水深カ満潮時ニ水門臺上八呎ニ達シタルトキヨリ干潮時ニ九呎マテ下リタル時マテ水門(ロツク)ノ西側ニ在ル旗竿ノ上ニ赤色旗ヲ揚ク但港内ト港外ノ水カ水平ナルトキハ總テノ門ヲ開キ綠色旗ヲ以テ之ニ代フ

水門臺上十二呎ノ水深アルトキハ一個ノ球ヲ舉クヘク十六呎ノ水深アルトキハ二個十八呎ノトキハ三個ノ球ヲ舉クヘシ

水口(アウト、フオール)ヲ開キタル場合又ハ障害物其他ノ原因ノ爲水口又ハ築港内ニ船舶ノ入ルコトヲ許サ、ル場合ニハ青色旗ヲ揚クヘク此間ハ如何ナル事情アルモ船舶ノ入港ヲ禁ス

夜間信號

築港ノ水深カ満潮時ニ水門臺上八呎ニ達シタル時ヨリ干潮時ニ九呎マテ下リタル時マテ旗竿ノ上ニ一個ノ赤色燈ヲ揚ケ港内ト港外ノ水カ水平ナルトキハ總テノ門ヲ開キ綠色燈ヲ以テ之ニ代フ
水門臺上水深十二呎ノトキハ旗竿ノ上ニ一個十六呎ノトキハ二個十八呎ノトキハ三個ノ明燈ヲ豎ニ並ヘテ掲クヘシ

アレキサンドラ築港開門時間

四月一日ヨリ十月一日マテハ午前五時ヨリ午後七時マテ
十月一日ヨリ四月一日マテハ午前七時ヨリ午後五時マテ

グレート、グリムスビーノローヤル築港晝夜信號規則

築港信號

ローヤル築港ニ入ルヘキ船舶ハ各其國旗ヲ旗竿ノ中間ニ掲クヘシ

晝間満潮信號

築港ノ水深カ満潮時ニ七十呎ノ水門臺上十二呎ニ達シタル時ヨリ干潮時ニ十二呎以下ニ下ル時マテ水門ノ西側ノ旗竿ノ上ニ赤色旗ヲ掲クヘシ

七十呎ノ水門臺上次ニ列擧スル水深ヲ有スルトキハ西ノ旗竿ノ上ニ次ニ掲クル數ノ球ヲ掲クヘシ

十六呎 球一個 二十二呎 球四個

十八呎 // 二個 二十四呎 // 五個

二十呎 // 三個 二十六呎以上 // 六個

以上ノ信號ハ十二呎以下ニ降ルマテ干満兩潮時ヲ通シテ之ヲ掲ク

晝間信號

大水門(港口)

第一、外門ヲ開キタルトキハ水門(港口)ノ西側ナル旗竿ノ上ニ一個ノ綠色旗ヲ掲クヘシ

第二、港内ノ水ト港外ノ水ト水平ニシテ内外ノ水門ヲ開キタルトキハ港口ノ西側ナル旗竿ノ上ニ二個

ノ綠色旗ヲ掲揚スヘシ

小水門

第一、外門ヲ開キタルトキハ水門ノ東側ナル旗竿上ノ赤色旗ノ下ニ壹個ノ綠色旗ヲ掲揚スヘシ

第二、港内ノ水ト港外ノ水ト水平ニシテ内外ノ水門ヲ開キタルトキハ水門ノ東側ナル旗竿上ノ赤色旗ノ下ニ二個ノ綠色旗ヲ掲揚スヘシ

大小兩水門ニ共通ナル信號

大小兩水門ノ閉鎖中ハ港口ノ東側ニ在ル赤色旗ヲ下スヘシ障害若クハ其他ノ原因ニ因リ船舶ノ入港ヲ許サ、ルトキハ大水門ノ西側ニ在ル旗竿ノ頂上ニ一個ノ球ヲ掲ク

夜間信號

ローヤル築港ニ入ルヘキ船舶ハ商務局ニ於テ規定シタル普通ノ橋頭燈及船側燈ノ外後橋ノ頂上ニ一個ノ明燈ヲ掲クヘシ

夜間干満潮信號

築港ノ水深カ満潮時ニ七十呎ノ水門臺上十二呎ノ水深ニ達シタルトキヨリ干潮時ニ十二呎以下ニ降リタルトキマテ水門ノ東側ニ在ル旗竿ノ上ニ一個ノ赤色燈ヲ掲ク

干満信號ハ次ノ規定ニ從ヒ大水門ノ西側ニ在ル旗竿上ニ掲ク

十六呎 明燈一個 二十二呎 明燈四個

十八呎	同 二個	二十四呎	同 五個
二十呎	同 三個	二十六呎以上	同 六個

以上ノ信號ハ十二呎以下ニ降ルマテ干満兩潮時ヲ通シテ之ヲ掲ク

大 水 門

第一、水門閉鎖中ハ水門ノ西側及中央埠頭上ニ各一個ツ、ノ明燈ヲ掲ク
 第二、外門ヲ開キタルトキハ西側ノ明燈ヲ撤シ綠色燈ヲ以テ之ニ換フ
 第三、港内ノ水ト港外ノ水ト水平ニシテ内外ノ水門ヲ開キタルトキハ水門ノ西側及中央埠頭上ニ在ル二個ノ明燈ヲ撤シ各々綠色燈ヲ以テ之ニ代フ

小 水 門

第一、水門閉鎖中ハ水門ノ東側及中央埠頭上ニ各一個ツ、ノ明燈ヲ掲ク
 第二、外門ヲ開キタルトキハ東側ノ明燈ヲ撤シ綠色燈ヲ以テ之ニ換フ
 第三、港内ノ水ト港外ノ水ト水平ナルトキハ内外ノ水門ヲ開キ港口ノ東側及中央埠頭上ニ在ル二個ノ明燈ヲ撤シ各々綠色燈ヲ以テ之ニ換フ

兩水門ニ共通ナル信號

港内ノ水ト港外ノ水ト水平ナルトキハ大小水門各其内外ノ兩門ヲ開キ大水門ノ西側中央埠頭上及小水門ノ東側ニ在ル各一個ノ燈火ヲ撤シ綠色燈ヲ以テ之ニ代フ

大小兩水門閉鎖中ハ水門ノ東側ニ在ル旗竿上ノ赤色燈ヲ消火スヘシ障害其他ノ原因ニ因リ船舶ノ入港ヲ許サ、ル場合ハ大水門ノ西側ニ在ル旗竿ノ頂上ニ一個ノ赤色燈ヲ掲クヘシ

漁船港ニ於ケル信號

晝 間 信 號

「ベースン」内ニ船舶ノ入港ヲ許ス場合ニハ築港ノ入口ニ在ル旗竿ノ上ニ一個ノ球ヲ掲ケ障害其他如何ナル原因ヲ問ハス「ベースン」内ニ船舶ノ入港ヲ許サ、ル場合ニハ二個ノ球ヲ掲クヘシ若シ漁船港内滿船ニシテ他ノ船舶ヲ容ル、ノ餘地ナキ場合ニハ旗竿ノ横木ニ各三個ツ、ノ球ヲ掲クヘシ

夜 間 信 號

「ベースン」内ニ船舶ノ入港ヲ許ス場合ニハ築港ノ入口ニ在ル旗竿ノ上ニ一個ノ赤色燈ヲ掲ケ障害其他如何ナル原因ヲ問ハス船舶カ「ベースン」内ニ入ルコト能ハサル場合ニハ二個ノ赤色燈ヲ掲クヘシ漁船港カ滿船ニシテ他ノ船舶ヲ容ル、ノ餘地ナキ場合ニハ三個ノ赤色燈ヲ橋上ニ掲ク如何ナル原因ヲ問ハス一モ燈火ナキトキハ船舶ハ入港スルコトヲ得ス

信號機ニ關スル規則

港口ノ中間ニ在ル小島ノ内側ニ倚リタル所ニシテ兩水門ノ中間ニ位スル所ニ信號機ヲ設ケ港内ノ船舶ノ移動ニ便ス

晝間信號

船舶カ出港ノ爲港口(水門)ニ向フコトヲ得ヘキトキハ信號機ノ手ヲ下ク即チ小水門ニ對シテハ右側ノ手大水門ニ對シテハ左側手ヲ下降スヘシ若兩手共ニ上レルトキハ如何ナル船舶モ港口ニ近ツクコトヲ得ス

夜間信號

船舶カ出港ノ爲港口ニ向フコトヲ得ヘキトキハ小水門ニ對シテハ赤色燈大水門ニ對シテハ綠色燈ヲ信號機上ニ掲クヘシ兩燈消火ノ際ハ如何ナル船舶ト雖港口ニ近ツクコトヲ得ス

家畜ニ關スル規則

グリムスビー築港ニ於テ搭載又ハ陸揚スヘキ馬匹、家畜其他ノ動物ニ對シ埠頭使用料ノ外更ニ次ノ料金ヲ徵ス

二十四時間家畜舍使用料

馬	一頭ニ付	一志六片
牛	一頭ニ付	六片
犢	一頭ニ付	三片
豚	一頭ニ付	二片

羊

一頭ニ付

一片

二十四時間以上ハ更ニ二十四時間ヲ増ス毎ニ同様ノ料金ヲ増加ス
以上ノ料金ハ量秣及世話料ヲ含マス

乗客

乗客ニ對スル料金ハ次ノ規定ニ依ル

ハンバー、トレント又ハアウスヲ發スヘキ又ハ之ニ歸航シタル船舶ニ乗リ込ミ又ハ之ヨリ上陸スル者ニ對シテハ一人ニ付一片

大不列顛又ハ愛蘭ニ於ケル前記以外ノ港ヲ發スヘキ船舶ニ乗リ込ミ又ハ右ノ港ニ歸着シタル船舶ヨリ上陸スル者ニ對シテハ一人ニ付四片

英國領英國殖民地又ハ外國ノ港ヲ發スヘキ船舶ニ乗リ込ミ又ハ之ニ歸航シタル船舶ヨリ上陸スル者ニ對シテハ一人ニ付一志

運動又ハ氣晴ラシノ爲埠頭ヲ使用スル者ニ對シテハ一人ニ付一片

船舶救助

港内ニ於テ會社所有ニ屬スル小舟ヲ以テスル船舶救助料ハ次ノ如シ

第一號艇

普通ノ浸水汲出料

第一號艇カ出發シタルトキヨリ原地位ニ歸還スルマテノ間通常ノ浸水汲出料ハ艇具使用料及水夫ノ報酬ヲ含ミ一時間三十志トス

附添一時間ニ付十五志トス

救助料ハ一回ニ付二磅ヲ以テ最少限トス即チ以上ニ掲ケタル割合ヲ以テシテ二磅未滿ナルトキト雖ニ二磅ヲ徵ス

第二號艇

救助料ハ一時間ニ付四志六片トス

一回ノ救助料ノ最少限ヲ一磅トス

●注意 港外又ハ河川中ニ於ケル救助料及其他特異ノ場合ニ於ケル救助料ハ其都度別ニ港務署長ト協定スヘシ

グレート、セントラル鐵道會社

(上來「マンチエスター、シエフィールド、リンカンシャイア」鐵道會社ト稱シ以下モ亦同様ニ稱ス)

グリムスビー築港魚市場

附則

右ハグリムスビー築港内ノ魚市場ノ整理、支配及監督ノ目的ヲ以テ制定シタルモノナリ

「マンチエスター、シエフィールド、リンカンシャイア」鐵道會社ハ一八九六年ノ「マンチエスター、シエフィールド、リンカンシャイア」鐵道條例ニ依リリンカン州グレート、グリムスビーニ於ケル同會社ハ所有ノ築港ニ設ケタル魚市場ノ支配、監督及維持ノ爲附則ヲ制定スル權ヲ有ス
「マンチエスター、シエフィールド、リンカンシャイア」鐵道會社ニ附與セラレタル權利ニ基キ茲ニ次ノ附則ヲ制定ス

用語ノ意義

第一條 本附則ニ所謂「會社」トハ「マンチエスター、シエフィールド、リンカンシャイア」鐵道會社ヲ意味シ「市場」トハグリムスビー築港ニ於テ現在行ハル、及將來行ハルヘキ魚類、氷及之ニ類似セル貨物ノ販賣及運搬ヲ爲ス市場ヲ意味シ更ニ之ニ關聯シテ使用セラル、屋上ノ店舗及之ニ使用セラル、又ハ之ト關係ヲ有スル船棧橋、建築物、側線、道路及廣場ヲモ包含ス「人」トハ男女ヲ意味ス

施行期日

第二條 本附則ハ一八九七年九月一日ヨリ之ヲ實施ス

市日

第三條 魚市場ハ日曜及「クリスマス」ノ日ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク但會社ノ重役會議ノ決議ニ於テ特定ノ日ニ之ヲ閉ツルコトアルヘシ但此場合ニ於テハ滿七日前ニ其旨市場ニ公告スヘシ

市場開閉時間

第四條 市場ハ午前五時之ヲ開キ市場ノ都合ヨキ時間ヲ計リ之ヲ閉ツ但港務署長ハ必要ト認ムルトキハ午前五時以前ニ市場ヲ開クコトヲ得

自己ノ場所以外ノ使用

第五條 市場内ニ於テ當該官吏ノ割當テタル場所以外ノ所ニ販賣ノ目的ヲ以テ魚類其他ノ物品ヲ置キタル者ハ何人ヲ問ハス五磅以下ノ科料ニ處ス

有害魚類ノ露展

第六條 市場内ニ於テ條例ノ規定ニ依リ販賣ヲ許サル魚類有毒ナル魚類食用ニ適セサル魚類又ハ期節外ノ魚類ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ陳列スル者ハ何人ヲ問ハス四十志以下ノ科料ニ處ス

魚類ヲ洗フコト及汚物ノ處分

第七條 市場内ノ自己ニ割當テラレ又ハ借入レタル場所以外ニ於テ魚類ノ魚腸ヲ取出シ又ハ魚類ヲ洗ヒ若クハ廢肉、屑其他ノ汚物ヲ適當ノ容器以外ニ入レ置キ又ハ其爲會社ヨリ與ヘタル場所以外ニ捨テ置ク者ハ何人ヲ問ハス四十志以下ノ科料ニ處ス

不適當ナル容器ニ魚類ヲ入ル、場合

第八條 食用ニ供スヘキ魚類ヲ會社ノ當該官吏カ見テ以テ斯ル魚類ヲ容ル、ニ不適當ナリト思惟スルカ如キ樽、桶、靴又ハ箱ニ結メ込ミ又ハ單ニ容レ置ク者ハ何人ヲ問ハス四十志以下ノ科料ニ處ス
許可ナキ場所ニ於テ魚類ヲ詰メ又ハ其箱ヲ置クヘカラサルコト

第九條 市場内ノ自己ニ割當テラレタル場所又ハ其爲貸與サレタル場所以外ニ於テ魚類ヲ箱詰メトナシ又ハ魚類箱、樽、靴、桶其他ノ物品ヲ置ク者及市場閉鎖後空箱又ハ魚類ヲ詰メタル箱ヲ市場内ニ積ミ置キ又ハ市場内ニ立チ入り又ハ市場内ニ箱其他營業ニ必要ナル道具ヲ遺シ置キ又ハ放棄シ置ク者ハ何人ヲ問ハス四十志以下ノ科料ニ處ス

樽等ノ製造

第十條 市場内ノ自己ニ割當テラレタル場所若クハ其爲貸與セラレタル場所以外ニ於テ各種ノ樽、桶、箱等ヲ製造シ又ハ之ヲ修繕シタル者ハ何人ヲ問ハス四十志以下ノ科料ニ處ス

市場ノ防害及賭博

第十一條 市場内ニ立チ又ハ徘徊シテ市場ノ營業ヲ妨クル者又ハ賭博ノ爲ニ市場ヲ使用スル者ハ五磅以下ノ科料ニ處ス

飛道具使用、猥褻ナル言語ノ發聲及會社ノ官吏ニ對スル抵抗

第十二條 市場内ニ於テ飛道具ヲ投ケ又ハ猥褻ナル言語其他惡口ヲ發スル者又ハ會社ノ官吏ノ勤務中ニ之ヲ毆打シ又ハ之ニ抵抗シタル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス

魚市場監督官吏ノ命令違反

第十三條 市場内ニ於テ營業ヲ營ム者其他市場内ニ在ル者ニシテ魚類ノ運搬貯藏其他市場ノ營業ニ關シ會社ノ當該官吏ノ命令ニ從ハサル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス市場内ノ秩序ヲ維持シ及營業ヲ敏

活ナラシメンカ爲會社ノ當該官吏カ發スル命令ニ從ハサル者亦同シ

荷車ニ關スル監督官吏ノ命令違反

第十四條、市場内ニ於テ各種ノ荷車(ワゴン、ボン、カート、トラック、バロー等)ヲ使用スル者ニシテ市場ニ通スル道路及市場内ノ道路ノ交通整理ニ關シ及前記荷車其他市場内ニ於テ魚類賣買ニ要スル道具ノ大サ及適否ニ關シ及貨物ノ揚卸中又ハ揚卸ヲ待ツ間前記荷車ヲ置クヘキ位置ニ關シ會社ノ當該官吏ノ發スル命令ニ服從セサル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス

飲食物ノ販賣

第十五條、市場内ニ於テ飲食物又ハ市場内ニテ販賣セサル物品ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ陳列スル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス但會社ヨリ許可ヲ得タル者ハ此限ニ非ス

喫煙、大小便等

第十六條、會社ノ當該官吏ヨリ注意セラレタル後市場内ニ於テ喫煙シ又ハ大小便ヲナシ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又ハ市場内ニ犬ヲ連レ來リタル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス

燈火、廣告ニ關シ

第十七條、何人ヲ問ハス信號燈ヲ故意ニ毀損シ又ハ之ニ惡戯ヲ施シ又ハ防火設備ナキ裸體燈ヲ使用シ又ハ市場内ノ店舗其他市場内如何ナル場所ヲ問ハス廣告其他ノ紙ヲ貼付ケ又ハ會社ノ命ニ依リ又ハ其許可ヲ得テ揭示シタル廣告ヲ塗抹シ他ヘ移シ又ハ毀損シタル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス

會合ニ關シ

第十八條、政事上其他ノ目的ヲ以テ運動又ハ會合ノ爲市場ヲ使用スル者ハ四十志以下ノ科料ニ處ス但會社ノ許可狀ヲ有スル者ハ此限ニ非ス

「マンチエスター、シェフィールド、リンカンシャー」鐵道會社ハ大臣オー、エス、ホールトノ面前ニ於テ捺印ス

一八九六年ノ「マンチエスター、シェフィールド、リンカンシャー」鐵道條例第四十五條ニ依リ賦與セラレタル權限ニ基キ商務局ハ以上ノ附則ヲ認可ス

一八九七年三月一日

局長代理

デー、エイチ、ダブリュー、ベルハム

グレート、セントラル鐵道會社

グリムスビー築港内魚市場

細則

本細則ハ一八九七年三月一日會社カ發シタル附則ヲ施行スル爲制定シタルモノニシテ來ル九月一日ヨリ効力ヲ有ス

附則第四條ノ適用

午前五時以前ニ魚類ヲ市場ニ陸揚スルコトヲ禁ス

附則第五條ノ適用

各人ニ割當ツヘキ場所ハ漁獲高ニ依リテ之ヲ定ム割當區域ニ關スル苦情ハ魚市場監督官ニ申出ツヘシ

附則第七條ノ適用

魚腸ヲ容レタル桶ハ陸揚ノ際市場ヨリ他ニ移スヘシ又見本ヲ作ル爲其他ノ目的ヲ以テ市場内ニ於テ魚類ノ頭尾ヲ切ルコトヲ禁ス

魚腸又ハ腐肉ヲ入ルヘキ又ハ容レタル樽ヲ貯藏ノ目的又ハ車力ノ便宜ノ爲市場内ノ一方ヨリ他方ニ移スコトヲ禁ス

汚物ヲ容レタル樽ハ毎日正午前及午後六時前ノ二回之ヲ市場ヨリ他ニ移スヘシ

市場ニ於テ輸出ノ爲鱈其他ノ魚類ヲ切り又ハ餌ヲ作ル爲魚類頭尾ヲ切り取ルコトハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ禁ス

入港シタル漁船ヨリ氷ヲ市場ニ陸揚スルコトヲ禁ス

階上店舗ヲ使用スル者ハ之ニ通スル小徑ニ屑ヲ捨ツヘカラス廢棄物ハ總テ市場ニ附屬スル道路ノ適當ノ地位ニ設置シアル塵溜ニ棄ツヘシ

附則第九條ノ適用

空桶、荷車、卓、箱其他營業ニ必要ナル道具ヲ營業時間後市場ニ置クコトヲ禁ス

船舶所有者ニ屬スル空箱、空桶其他營業ニ使用スル道具ハ午前五時ノ汽笛ノ鳴ルマテハ之ヲ市場ニ置クコトヲ禁ス

市場監督官ハ營業者ニ必要ナル荷造リ場ヲ各自ニ割當テ貸與スヘシ而シテ之ニ關スル爭ハ總テ港務署長ニ於テ之ヲ判決ス

鹽積人ノ用ユル桶ハ魚類ヲ買入レタル後ニ非サレハ市場ニ持テ込ムコトヲ得ス魚類ヲ買入レタル後ト雖其魚類ノ在ル場所以外ニ持テ出スコトヲ得ス詰メ込ミタル後ハ直チニ市場外ニ持出スヘシ

停車場ヨリ空箱、空桶ヲ市場内ニ運フハ午前八時以前ニ於テスヘシ八時以後ニ於テハ市場裏ノ車道ノミニヨリ運搬シ空箱所有者ノ營業場ニ最近キ陸揚場ノミニ置クヘシ

附則第十三條ノ適用

賣却シタル魚類ハ直チニ他ニ移シ他ノ魚類ノ陸揚ニ便スヘシ

大陸輸所向ノ魚類ハ翌日マテ市場ニ留メ置カスシテローヤル築港ノ西側ニ在ル貯藏所ニ移スヘシ

新着魚類ヲ翌朝市場ニ陳列スル充分ノ場所ヲ設クル必要及市場ノ床板ヲ清潔ナラシムル必要アルヲ以テ國內賣捌ノ魚類未タ賣却セサルモノ其他市場ニ一夜留メ置クノ必要アル魚類ハ市場監督官ノ命令ニ從ヒ之ヲ貯藏スヘシ

重量五十六磅以下ノ小包ニシテ鐵道ニ依リテ送ルヘキモノハ市場ノ小包貯藏所ニ預クヘシ

鐵道ニテ送ル爲市場ニ持チ來リタル魚類及氷ハ直チニ積込場ニ移スヘシ
 帆船ハ午前八時ヨリ同十時マテノ間及午後二時以後ハ市場ヨリ石炭ヲ積ミ込ムコトヲ得ス而シテ積込
 ハ解船ニ依リ又ハ第一號漁船港ノ東側ノ棧橋ヨリ直接ニナスヘシ
 「トロール」船ノ船渠ヲ市場ニ陸揚シ又ハ市場ヨリ船舶ニ移スコトヲ禁ス又「トロール」網ヲ市場監督官
 ノ許可ナクシテ午前五時ヨリ午後六時マテノ間ニ陸揚スルコトヲ得ス
 市場内ノ店舗使用者ハ毎日營業終了後邪魔物ヲ總テ取り除キ梯子ヲ揚ケ置クヘシ
 市場入口ノ物置ヲ倉庫ノ用ニ供スヘカラス荷物ノ所有者ハ毎週土曜日ノ午後四時マテニ各自ノ區域ヲ
 掃除スヘシ空箱、空桶ノ運搬ハ總テ大門口ノミニヨルヘシ
 午後一時以後ハ積込埠頭ノ上ニ於テ荷造及販賣ヲ禁ス

附則第十四條ノ適用

空桶、空箱其他營業ニ必要ナル道具ハ之ヲ使用スルトキノ外市場内ニ置クコトヲ禁ス又市場監督官ノ
 許可ナクシテ卓、箱(ビン)氷箱ヲ市場ニ持チ來ルコトヲ得ス卓ハ長サ四呎幅三呎ヲ超ユルモノ及取外
 ツシ自由ナル支柱ヲ有セサルモノハ之カ使用ヲ許サス支柱ハ營業終了後之ヲ取り外ツスヘシ
 市場内ニテ魚類ノ運搬ニ使用スル各種ノ荷車ハ其幅二呎六吋ヲ超ユヘラス又車輪ハ三輪ヲ以テ限ト
 ス桶、箱其他市場内ニ於テ使用スル道具ハ其幅又ハ直徑二呎六吋ヲ超ユヘカラス
 鐵道用荷車ニ積ムヘキ荷物ヲ受取ル爲及小路ノ通行ノ防害ヲ豫防スル爲午後一時以後各商人ハ小路ノ

下七呎タケ空ケ置クヘシ

二輪荷車ノ積荷場ニ氷、氷箱、空箱其他ノ邪魔物ヲ置クコトヲ禁ス

市場内ニ於テハ車ハ總テ右側ヲ通行スヘシ

附則第十七條ノ適用

階上店舗及屋根部屋ノ借家人ハ家屋内ニ於テ携帶シ得ヘキ洋燈ニシテ防火設備ナキモノヲ使用スルコ
 トヲ得ス燈火用具及火ヲ用ユル勝手道具ハ保險會社及會社ノ技師ノ認可ヲ經サレハ之ヲ使用スルコト
 ヲ得ス

其筋ノ命ニ依リ

一八九七年八月一日

總支配人

ウイリアム、ボリツト

(ト) ノースシールズ魚市場

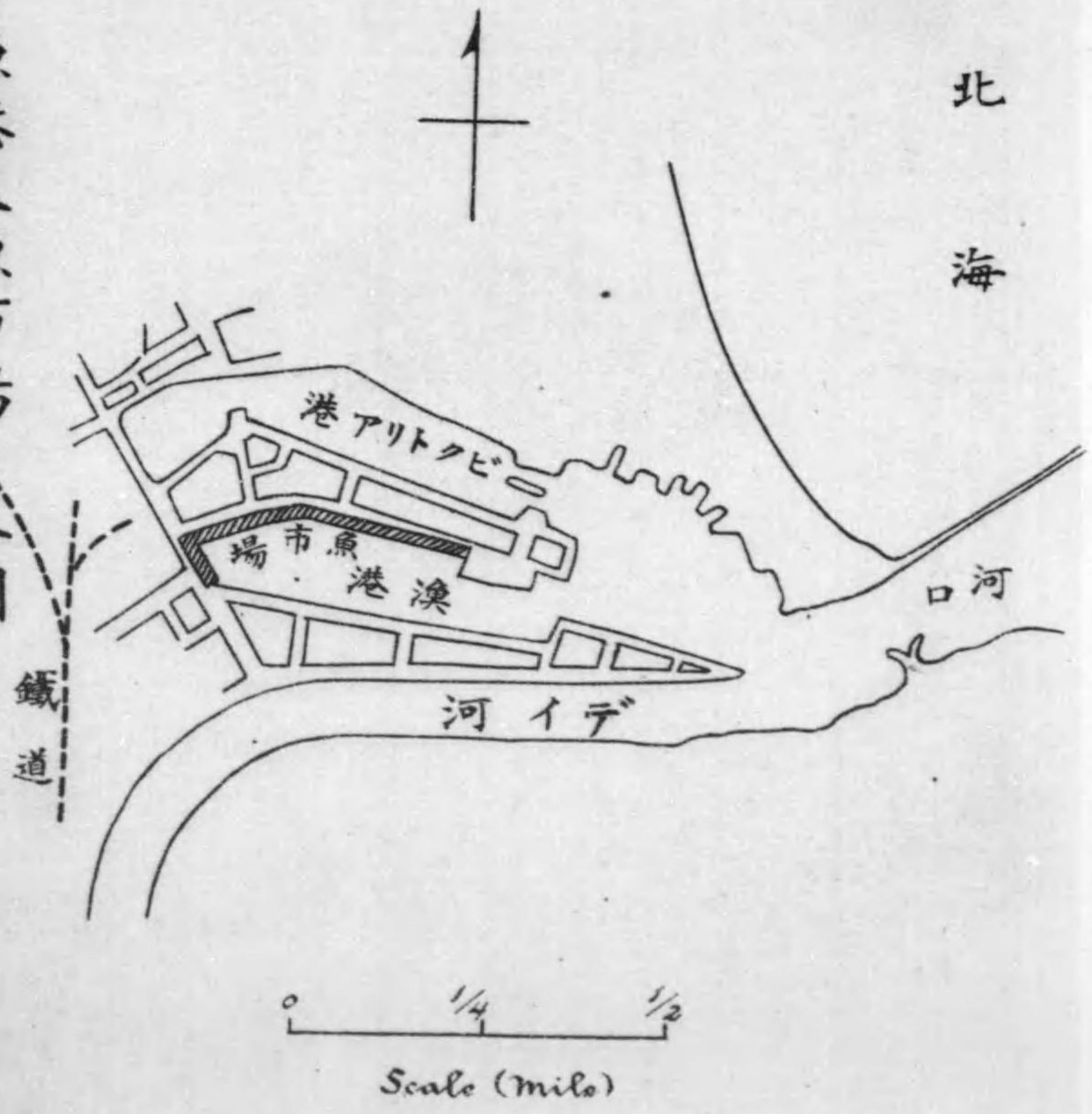
漁港ハタイン河口内ノ左岸ニ設ケラレ魚市場ハ其陸揚場ニ沿ヘリタイン河ハ深クシテ數哩上流ニ位ス
 ルニユカスル市マテ北海ヲ航海スル千噸以上ノ汽船ノ航行スルヲ得ル程ナルヲ以テ本漁港ハ唯河岸ニ
 小サキ陸上場兼防波堤ヲ築キタルニ過キス市場ノ雨蓋ハ延長五十間ニ亘リ床ハ木片ヲ敷詰タルコト當
 地方ニ見ル普通ノ街路ノ如シ故ニ掃除十分ニ行届カサルノ憾アリ市場ニ連續シテ荷造場鮮魚處理場ア

リ少シ離レテ魚商ノ事務所アリ鐵道ノ停車場マテハ四五町アリテ小坂路ヲナス支線ヲ此市場迄築ク計
 畫アリシモ實行セラレズ**タイン**河口ノ防波堤ニテハ已ニ支線ノ設ケアルモ殆ント使用セラサルカ如シ
 本漁港及魚市場ハ**タイン**マウス區ノ所有ニ屬セリ故ニ漁船ノ入港料魚荷陸揚料ハ此區ニ收納スルナリ
イングランドノ北部ニテハ最大ナル漁港魚市場ニシテ昨年ノ取扱高ハ約四十萬磅(金貨)ニ達シタリ競
 賣ノ方法等ハ**グリムスビート**大同小異ナリ即チ競賣者ハ概ネ會社ノ社員ニシテ自己ノ屬スル會社ノ漁
 船カ漁獲シタル魚荷ヲ競賣スルモノナリ尤モ斯ク競賣ニ附スル場合ニ於テモ賣上高ノ百分五ヲ手數料
 トシテ差引キ計算スルヲ例トス如何トナレハ船長及一等運轉士ハ皆歩合極メナルカ故ナリ即チ船長以
 下歩合極メノモノ、配當ハ此競賣手數料ト石炭、雜用品費、入港料、陸揚料ヲ差引キタル上ニテ殘リ
 ノ何割トナルナリ

(チ) アバーゲン魚市場

アバーゲン漁港ハ**デー**河口ニ近ク其左岸ニ位シ魚市場ハ漁港ノ北及西邊ニ設ケラル市場ノ兩蓋ハ延長
 三百二十間ニ亘リ幅八間許ナリ床ハ「タ、キ」ニシテ淡水ノ水道口諸處ニ在リ内ニハ大ナル水道口モ有
 リ漁船ニ水ヲ給スルノ用ヲナス鐵道ノ支線ハ市場ノ一側ニ來ルモ殆ンド使用セラレサルカ如シ魚荷、
 石炭、氷等ノ運搬ハ皆馬車ニ依ルヲ見ル石炭庫、製氷會社(四アリ)共ニ附近ニ在リ製氷會社ノ製氷力
 ハ合計六百噸(一日)ナルモ現今日々三百噸位製造スト云フ

アバーゲン漁港及魚市場 畧圖





場市魚ンザ-バア

アムステルダム魚市場及魚中場略圖

本魚市場は、アムステルダム市の北東部にあり、その中心は、魚中場である。魚中場は、魚市場の中心であり、魚の卸売と買入が行われる。魚市場は、魚中場の周囲にあり、魚の卸売と買入が行われる。魚市場は、魚中場の周囲にあり、魚の卸売と買入が行われる。

アムステルダム川

魚市場

魚中場

100m

本市場ハ漁港ト共ニ町有ニ屬ス(管理スル部局ヲ異ニスルモ)此處ニ入港スル汽船ハ入港料、燈臺料、信號料、魚荷陸揚料等ヲ町ニ收納スルナリ

本漁港ニ船籍ヲ有スル漁船ヲ有スル會社ハ四十許アリテ各會社ハ概ネ競賣者ヲ社員トシテ雇聘セルコト前記魚市場ノ如シ而シテ其手數料百分ノ五ヲ差引クコトモ亦前記魚市場ノ如シ小會社ニシテ自ラ競賣者ヲ有セサルモノハ他會社ノ競賣者ヲ頼ミテ競賣ス此場合ニハ各會社競争ノ結果トシテ其手數料ハ百分ノ三許ナリト云フ

買手即チ魚商ハ内地其他各地ノ魚商ト直接ニ電話又ハ電信ヲ以テ相場ヲ定メ取引ヲナス手數料ヲ以テ計算スル委託販賣様ノコトヲ爲サス但シ賣レ残り又ハ製造残り等ノ手許ニ在リテ處理ニ困難シタル場合ハ止ムヲ得ス委託販賣ニ附スルコトアリト云フ

本魚市場ニテ取扱フ魚荷ハ日々平均四百噸許ニシテ最大ナル日ニハ八百噸ニ達スルコトアリト云フ
本市場取締規則ハ左記ノ如シ

アバーチン港稅

「トロール」船 每噸六志

定期汽船 // 四志

スチーム、ヅリブター // 四志又ハ六月十二日ヨリ九月三十日迄ノ一季ニ對シテハ四十志

鯨漁船(帆走) // 三志又ハ六月十二日ヨリ九月三十日迄ノ一季ニ對シテハ三十志

凡テノ船舶ハ毎噸(總噸數)四片ヲ燈、旗、信號料トシテ課税

魚ニ對スル港税 毎噸一志八片

凡テノ港税ハ百分ノ二十ノ割ニテ割引セラル

魚ニ對スル市場税 毎噸一志八片(無割引)

アバーヂン魚市場取締規則

此規則ハアバーヂン魚市場取締ノ爲メ一八九一年ノアバーヂン自治體法ニ包含セラル、權力ニ基キテ「ザロード、プロボスト、マジスツレイト、タウン、カウンシル、ヲブ、ザ、シチー」及ヒ「ローヤル、バアグ、ヲブ、アバーヂン」ニヨリテ制定セラル

第一條 此規則ニ於テ左記ノ語ハ夫々茲ニ指定スル意味ヲ有ス

「市場」 トハ「ザ、ロード、プロボスト、マジスツレイト」及「タウン、カウンシル、ヲブ、ザ、シチー」及

「ローヤル、バアグ、ヲブ、アバーヂン」ニ屬スル「コムマーシヤル、ロード」ニ在ル魚市場ヲ云フ

「監督」 トハ市場ノ監督及其ノ補助者ヲ云フ

「收入役」 トハ右ニ掲ケタル「ザ、ロード、プロボストマジスツレイト」及「タウン、カウンシル」ニ

ヨリテ魚市場ニ關シテ仕拂ハルヘキ課税收入ノ權ヲ有スル者ヲ云フ

「マジスツレイト」「ザ、ロード、プロボスト」及「マジスツレイト、ヲブ、ザ、シチー、アンド、ロ

ーヤル、バアグ、ヲブ、アバーヂン」ヲ云フ

「人足」 トハ運送人ノ使役スル者及市場ヲ使用スル者ニヨリテ使役セラル、者(人夫トシテ勞働セ

ハ)ヲ云フ魚ノ買主又ハ其繼續的ニ使役スル者ヲ含マス

第二條 市場ハ每適法日午前六時ヨリ午後六時迄開放ス但監督ノ意見ニヨリテ一層早ク之レヲ開キ又ハ一層遅ク之レヲ閉ツルヲ便宜ナリトスル時ハ此限ニアラス

第三條 何人モ午前八時前市場ニ於テ競買其他ノ方法ヲ以テ魚ヲ賣却シ又ハ發賣スルコトヲ得ヌ又何人モ右ノ時刻前市場ヨリ魚ヲ移出スルコトヲ得ヌ

第四條 何人モ市場ニ於テ見本ニヨリテ魚(何種タルヲ問ハス)ヲ賣却又ハ發賣スルコトヲ得ヌ但其見本ノ代表スル魚ノ總體ニ對シテ課セラルヘキ市場税ヲ前以テ收入役ニ仕拂ヒタル場合ハ此限ニアラス

第五條 何人モ時ニ合ハス健康ニ害アリ又ハ食用ニ適セサル魚ヲ市場ニ於テ賣却又ハ發賣スヘカラス其ノ賣却セラレ若クハ發賣セラレタル魚ハ監督ニヨリテ直ニ搬出セラレ廢棄セラルヘシ

第六條 苟クモ市場ニ於テハ何人モ魚箱、樽、櫃、籠、桶其ノ他ノ物ヲ遺棄スヘカラス但監督カ右ノ目的ノ爲ニ時々指定スルコトアルヘキ場所ハ此限ニアラス

第七條 何人モ腐肉、廢物貝殻又ハ汚物ヲ市場ニ拋棄シ或ハ市場ノ前面ノ港ニ投棄スヘカラス

第八條 魚腸ヲ取出シ又ハ魚ヲ清潔ニスル場合ノ外何人モ市場ノ井泉ヨリ汲水スヘカラス

第九條 何人モ市場ニ接スル荷上場市街又ハ道路若クハ市場前面ノ港ニ於テ魚腸ヲ取出シ又ハ魚ヲ清潔ニスルコトヲ得ス

漁夫又ハ市内行商ノ魚商人ハ監督ノ指揮ノ下ニ市場ノ井泉ニヨリテ魚腸ヲ取出シ又ハ魚ヲ清潔ニスルコトヲ得其ノ之レヲ終ハリタル時ハ監督ノ指摘スル場所ニ廢物ヲ委付スヘシ

第十條 市場ノ井泉ニヨリテ魚ヲ清潔ニシ又ハ魚腸ヲ取出タス者ハ水ヲ濫用スヘカラス右ノ目的ニ供スル桶ニ十分ナル量ヲ汲取タル時ハ直ニ水ノ供給ヲ罷ムヘシ

第十一條 極外側ノ尺度三呎ヲ超ユル幅ヲ有シ地面ヨリ欄杆ノ頂點迄三呎ヲ超ユルノ高サノ車又ハ四輪以上ヲ有スル車ハ其如何ナル種類タルヲ問ハス市場ニ於テ之レヲ使用スルコトヲ得ス

第十二條 何人モ市場ノ入路ニ於テ又ハ店舗ノ前面ノ線ヨリ突出セシメ又ハ監督ノ配付シタル範圍ヲ超エテ魚籃又ハ箱ヲ置クコトヲ得ス

第十三條 市場ニ於テ店舗又ハ貨物臺ヲ占有スル者ハ監督ノ満足スル程度ニ日々能ク其店舗又ハ貨物臺ヲ洗滌シ掃除シ清潔ニスヘシ右ノ店舗又ハ貨物臺ニ對シテ其占有者ノ加ヘタル損害ハ其費用ヲ以テ之レヲ償フヘシ

第十四條 何人モ市場ニ於テ樽又ハ桶ヲ轉ハシ箱、籠又ハ包等ヲ曳クヘカラス

第十五條 市場ニ待合ハス荷馬車荷車其ノ他ノ車ヲ看守スル者ハ監督ノ指定スル場所ニ之レヲ停ムヘシ

第十六條 市場ヨリ又ハ市場ヘ魚ヲ運搬スル荷馬車荷車ソノ他ノ車ノ看守人ハ其市場ニ到着スル時ハ直ニ魚ノ荷積又ハ荷卸ヲナシ之レヲ終ハリタルトキハ又直ニ其看守スル荷馬車荷車ソノ他ノ車ヲ引去ルヘシ

第十七條 何人モ市場ニアル瓦斯管又ハ瓦斯燈ニ觸レ以テ瓦斯ヲ漏出セシメ燈火ヲ強大ニシ又ハ之レヲ弱小ナラシメ若クハ消滅セシムヘカラス

第十八條 何人モ市場内又ハ其入口ニ於テ「ニユーザンス」ヲナスヘカラス

第十九條 何人モ市場内ニ於テ彷徨シ又ハ故意ニ妨碍ヲナスヘカラス

第二十條 何人モ其所有又ハ其管理スル犬ヲシテ市場ニ入ラシメ又ハ此ニ留マラシムヘカラス

第二十一條 何人モ市場ニ於テ魚又ハ擲射物ヲ投棄シ或ハ無禮無作法ノ言ヲ弄シ或ハ職務執行中ニアル市場ノ役員ニ對シテ脅迫ヲナシ抵抗ヲナシ又ハ妨碍ヲナスヘカラス

第二十二條 市場使用者ハ何人モ秩序ヲ保持シ事務ノ敏活ヲ計ルカ爲メニスル監督ノ命令ニ從フヘシ

第二十三條 何人モ市場ノ外觀ヲ毀損シ又ハ之レニ貼札若クハ告示ヲナシ又ハ爲サシムヘカラス但監督ノ定ムヘキ料金を仕拂フトキハ何人モ市場内部ノ告示板ニ告示ヲナシ貼札場ニ貼札ヲナスコトヲ得

第二十四條、「マジスツレイト」ニヨリテ適當ニ免許ヲ得ル場合ノ外何人モ市場内ニ於テ人足トシテ勞

働シ或ハ賃金ヲ得ンカ爲ニ往來スヘカラス

右ノ免許料ハ一志六片ニシテ免許ノ效力ハ免許狀ノ日附ヨリ五月十五日迄繼續ス但シ取消サレ又ハ停止セラレタル時ハ此限ニアラス

第二十五條、人夫ハ監督ヨリ金屬製徽章ヲ受ケ徽章面ノ番號カ常ニ明瞭ナル様之レヲ其左腕ノ上部ノ外側ニ顯著ニ附著シ尙免許狀ヲ携帯シ監督又ハ警察官ノ求メニ應ジテ檢閲ノ爲ニ之レヲ呈示スヘシ又何人ニ對シテモ其徽章番號ヲ示スヘシ

第二十六條、免許ノ消滅シ取消サレ又ハ停止セラレタル時ハ之レヲ有シタリシ者ハ直ニ右ノ免許狀及徽章ヲ監督ニ返還スヘシ

嘗テ免許ヲ有シタリシ者ハ其免許ノ取消又ハ消滅後若クハ其停止中ニ於テハ右ノ徽章ヲ佩用スヘカラス

第二十七條、免許狀又ハ徽章ノ交付ヲ受ケタル者ハ其免許狀ヲ他人ニ讓與シ又ハ貸與スルコトヲ得ス又他人ヲシテ其徽章ヲ使用シ若クハ佩用セシムルコトヲ得ス

第二十八條、若シ適當ナリト認ムル時ハ「マジスツレイト」ハ其適當ト認ムル期間或人足ノ免許ヲ取消シ又ハ無效トナシ又ハ停止スルコトヲ得此場合ニ於テハ右ノ人足ハ更ニ免許狀ノ發行セラレ改造セラル、迄人足トシテ勞働スルコトヲ得ス

第二十九條、此規則ニ違反スル者ハ各々ノ違反ニ對シテ四十志以下ノ過料ニ處セラルヘシ但右ノ過料

取立ノ訴ヲ受ケタル「マジスツレイト」ハ其全部又ハ一部ノ仕拂ヲ命シ又ハ全然之レヲ免除スルコトヲ得

一八九三年八月七日

タビツド、スチユワート

ロード、プロホスト

茲ニ右取締規則ヲ認可ス

一八九三年十月一日

チエー、ガスリー、スミス、シエリツフ

(リ) プリマス、サットン魚市場

プリマスハデボン州ニ在リ英國軍港ノ所在地ニシテ人ノ普ク知ル所ナリ軍港ハ市ノ西邊ニ、商港ハ中央部ニ而シテ漁港タルスットン港ハ東邊ニ位ス有台ナルメー、フラワーノ千六百二十年ニ出帆シタル所ニシテ往昔ハ當市ノ中心タリシ所ナリ魚市場ハ此漁港ノ西岸ニ在リ漁港ト共ニスットン港改良會社ノ所有ニ屬ス斯ク此會社カ所有スルコト、ナリシハ千八百八十九年公布セラレタル法律スットン港法ニ基クモノナリ左記港法ヲ參照セラレタシ即チ此法律ハ該會社ニ對シ一面ニ於テハ漁港及ヒ之ニ連帶スル諸設備ヲ改善シ他面ニ於テハ入港スル船舶及陸揚スル貨物ニ對シ相當ノ料金ヲ課スルコトヲ得ル

ノ養務及特權ヲ與ヘタルモノニシテ將來我日本帝國ニ於テ地方公共團體ナトカ漁港ヲ計營スル場合ニハ多少參考トナルヘキモノアルヘシ

今魚市場ニ就テ前記法律ニ定ムル所及ヒ同市場ニ就キ取調ヘタル所ヲ綜合シテ記サンニ漁業者ハ魚荷陸揚料トシテ其賣上高一磅ニ付一片及市場ノ使用料トシテ同上ニ付二片ヲ改良會社ニ支拂フコト、ナレリ而シテ競賣人ハ賣上高一磅ニ對シ手数料トシテ漁業者ヨリ一志ヲ收得スルモノナリ故ニ結局漁業者ハ賣上高一磅ニ對シ十八志九片ヲ收納スル割合トナルナリ漁業者ハ尙此外ニ入港料トシテ夫々會社ニ支拂ハサルヘカラス其割合ハ別表ニ示スカ如シ

競賣人ハ現今十四人アリ何レモ土地ノ信用アル人ナリ内ニハ自ラ漁船ヲ有スルモノアリ自己ノ漁船ノ漁獲物ハ無論其競賣人タルヘク漁船ヲ有セサルモノモ特約ヲ以テ(漁業主トノ)某々漁船漁獲物ノ競賣人トナルモノアリ特約ヲ爲サスシテ臨機競賣人タルモノモアリ他地方ヨリ數多ノ「トロール」人來ルトキハ其地方ヨリ競賣人入り來リテ此處ニ競賣ヲナスモノアリ買手ハ大抵土地ノ人ニシテ其買入タル魚荷ハ大抵市内又ハ附近ニテ賣捌クモノナリ但シ大漁アリタル場合ニハ金持チノ買人ハ魚荷ヲ倫敦市場ニモ輸送スト云フ

當魚市場ニハ取締規則アリ別記ノ如シ

魚市場ノ敷地ハ凡二百八十坪アリ其雨蓋ノ面積ハ百坪許アリ此外此番地ニ聯續シテ幅十五呎長三百呎許ノ陸揚場アリ凡テ「セメント」敷ニシテ水道口數ヶ所ニ在リ洗除ニ便ス鐵道ハ當市場ニ連接セス最近

「プリマス」スットン」港及魚市場略圖

